

〈全調査〉

いまこそ明かすこの驚くべき事実

赤軍事件の真相

目を蔽う殺し合いと既に始まった連鎖反応

週刊サンケイ臨時増刊4・10 特価150円

●独占情報●早くも再建！新赤軍全陣容

●カラー長編劇画●女将軍・永島みよこ

— その掟とセツクス —



昭和七年十月廿九日発行

連合赤軍 総括地獄



● 人民裁判 / イラスト・生頼範義

信頼でえられる、この事実も大きな魅力です。

お気軽にサービスステーションにお電話下さい。



Precisa

166

三和 **プレジダ** 株式会社

本社・東京都千代田区五番町4の2 TEL03-261-0184代

支店・営業所

札幌	011-561-3101	浜松	0534-52-1615
仙台	0222-23-5076	岐阜	0582-62-1432
東京	03-261-0181	京都	075-361-8894
名古屋	052-935-5425	和歌山	0734-31-8813
大阪	06-251-2172	宇部	0836-31-0121
広島	0822-43-8311	岡山	0862-23-4542
福岡	092-78-2337	熊本	0963-66-0807
八戸	0178-24-3425	高松	0878-31-5152
盛岡	0196-51-6912	台湾	台北-715942
山形	0236-22-9918		
新潟	0252-44-5832		
郡山	0249-44-1419		
水戸	0292-21-5669		
上田	02682-3-2878		
高崎	0273-23-3529		
赤羽	03-901-7240		
浦田	03-732-8874		
船橋	0474-22-4428		
浜田	042-311-5661		
静岡	0542-53-8108		

サービスステーション

釧路	0154-23-4663
旭川	0166-51-9530
帯広	01552-4-5526
函館	0138-42-3589
札幌	011-861-0002
札幌	0134-2-6216
青森	0177-34-6477
秋田	0188-34-0930
鶴岡	0235-23-1434



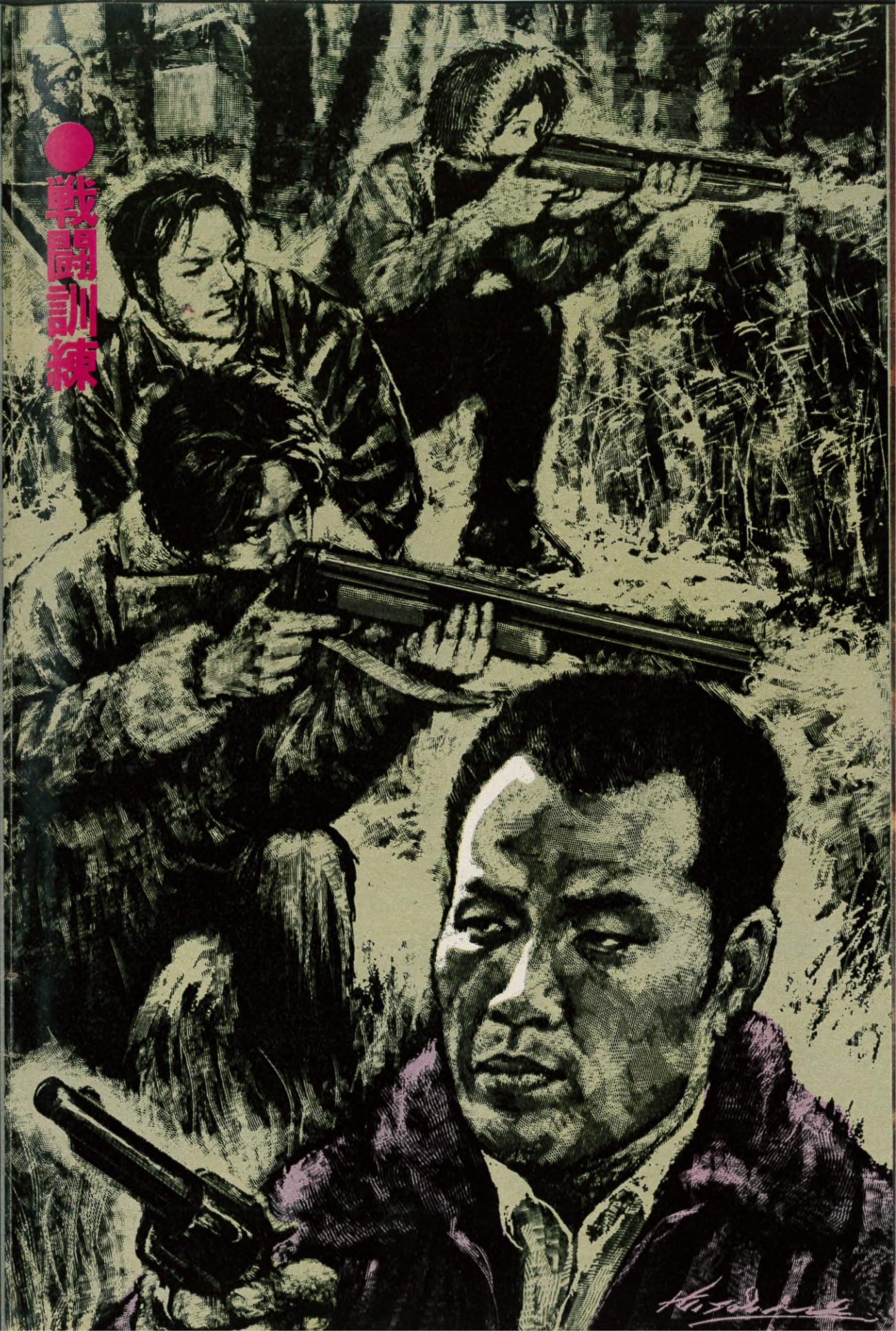
GS-12-P

いわき	0246-92-3000	一の宮	0586-62-7011
会津	02422-2-8051	松阪	05982-3-0649
三条	02563-2-8950	四日市	0593-65-6738
長岡	0258-33-5347	福知山	0773-22-9381
宇都宮	0286-61-2363	奈良	0745-52-7334
桐生	0277-44-0238	北大阪	0726-26-0613
熊谷	0485-23-1375	西大阪	06-329-1011
埼玉	0488-31-0216	西宮	0798-66-0774
千葉	0472-31-0088	明石	078-918-1201
多摩	0423-83-7423	福山	0849-53-3056
八王子	0426-61-1295	米取	08592-3-5229
川崎	044-91-4047	鳥取	0857-23-6884
平塚	0463-22-2299	新居浜	0897-44-7636
金沢	0762-61-8436	北九州	093-93-3124
福井	0776-22-4506	佐賀	09522-4-8389
松本	02634-2-9879	長崎	0958-45-7438
上田	02682-2-8107	大分	09752-7-6889
甲府	0552-53-7029	宮崎	0985-24-5087
沼津	0559-75-4743	鹿児島	0992-22-2451
岡崎	0564-31-3769		
東美濃	0568-31-3845		

●アジト逃亡
イラスト・滝瀬弘



●戦闘訓練



● 死の総括

イラスト・生頼範義





連合赤軍 女兵士の非情な青春



父は会社員、母は小学校の副校長という金子みちよ（24）は横浜国大教育学部に進学、社会を専攻して卒業後は教員になるつもりだった。声がよくコーラス部にはいったが、そこに吉野雅邦がいて、二人の交際がはじまった（○印）

100
PAGE

●墓穴掘り / イラスト・上西康介



「革命のなかで、あるものは勝利し、あるものは死んでいった。多くの同志たちが、戦いの半ばで倒れていった」と書いたキューバ革命の指揮者ゲバラは、戦いの半ばで倒れていっても、満足であり、本望でもあったろう。

ゲバラのことばだけでは足りないだろうが、武装ほう起による日本の革命を信じた連合赤軍の女兵士たちに待ち構えていた運命は――。

軍の団結を守るための「規律」は、恋人、夫婦関係も分断し、蹂躪した。妊娠八か月。胎内の子の父親吉野雅邦にまでリンチを加えられて死んだ金子みちよ。



鶴見高校の金子、卒業記念アルバムから、上は仲良しの友人グループと（前列右端）。下は当日欠席して左上に三人いる中央

アジト内でそつと愛情をみせてくれた優しい夫山本順一の「総括」に加わらなければ、自分も赤ちゃんも危なかった山本保子。独身者も組織のため「結婚」する男女を指定された。

そのあげくがリンチ。リンチは犠牲者ばかりでなく強制されたほうも、心に、受けた傷あとは、生涯消すことができないだろう。戦い半ばで脱走し、逮捕された女兵士たちが獄中で考えることは、革命の理想とは余りにもかけ離れたこの現実。二度とはこないたただ一度の青春を「悪夢のような青春」にしてしまった、限りない自責の念だけだった。

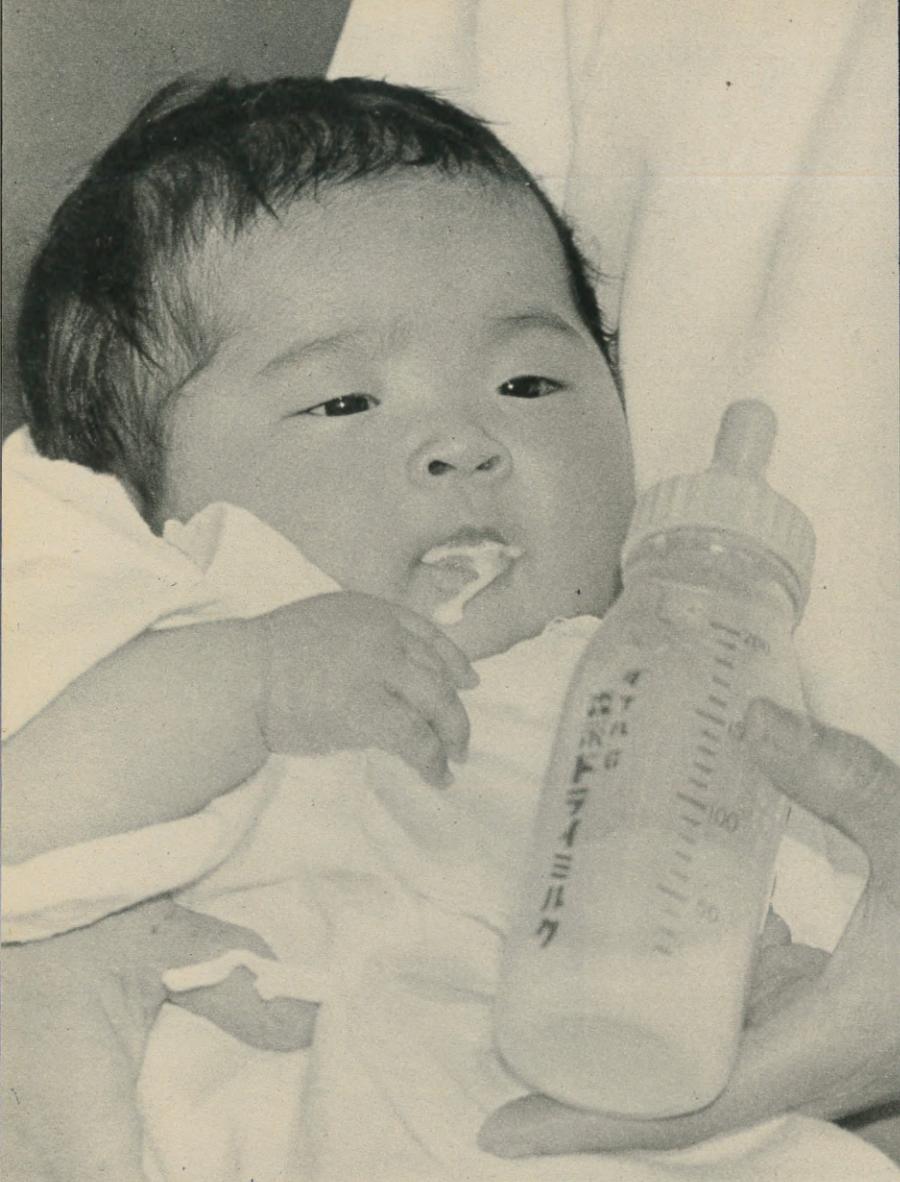
撮影・サンケイ新聞写真部共同通信 時事通信



鶴見高校で金子は、頭が良くて世話好きという、男性からみて好ましい女性で、バスケット部のマネジャーをしていた（後列右から三人目）

リンチを受けて変わり果てた娘の遺体に、金子の母の堀江トシさんはひつぎに取りすがって泣いた





狂気の連合軍の男女の中において、
ただ一人純真無垢な頼良ちゃんだ
けが、岡崎市の祖父母のもとに引
取られた



四十五年八月に日中友好商社員の順一と正式
に結婚した。このときともに二十六歳



元日大看護学院生の中村愛子(三三)は頼良ち
ゃんを連れて脱走していたが、三日十三日警
視庁に自首



夫順一のリンチをやらされた山本保子(三六)
は、生まれて二か月の頼良ちゃんをアジトに
置いて脱走、三月十日、名古屋中村署に自首
した



三年前に日本を脱出した赤軍派の「大物」重信房子は、いまパレスチナ人民解放戦線のなかにはいつて革命思想を学習している



強制されたとはいえ、リンチ殺人の加害者でもある女兵士たち。女子短大卒の寺林真喜江(三)は冷たく手錠をはめられて、軽井沢署から護送された



父は秋田県で中学校長。日大看護学院生の伊藤和子(三)は軽井沢駅で異臭を放って逮捕され、長野地検にフロンキ包み一個の持ち物だけで移送された

早くも再建／新赤軍全陣容

誕生のカギ、三つの秘密ルート

あらゆる角度から中心人物二人を分析した **森恒夫と永田洋子の正体**

イラスト立体特集・連合赤軍「総括地獄」 目を敵う殺し合いはこのようにしてすすめられた

特別企画 赤軍を支持した文化人の意外な反応

この事件「生存者」の刑はこうなる！ 「共謀共同正犯」という烙印が

〇、サラリーマンは総括をどう受け止めたか！

現われた連鎖反応と「革命の条件」

赤軍事件を外国ではどう見ているか！

潜伏二か月、赤軍の教祖・滝田修を追う！

群馬県警が大活躍！落としたのテクニク全公開

カラー長編劇画

女将軍・永島みよこ

その掟とセックス

グラフィック

非情の青春

森永田27年のアルバム

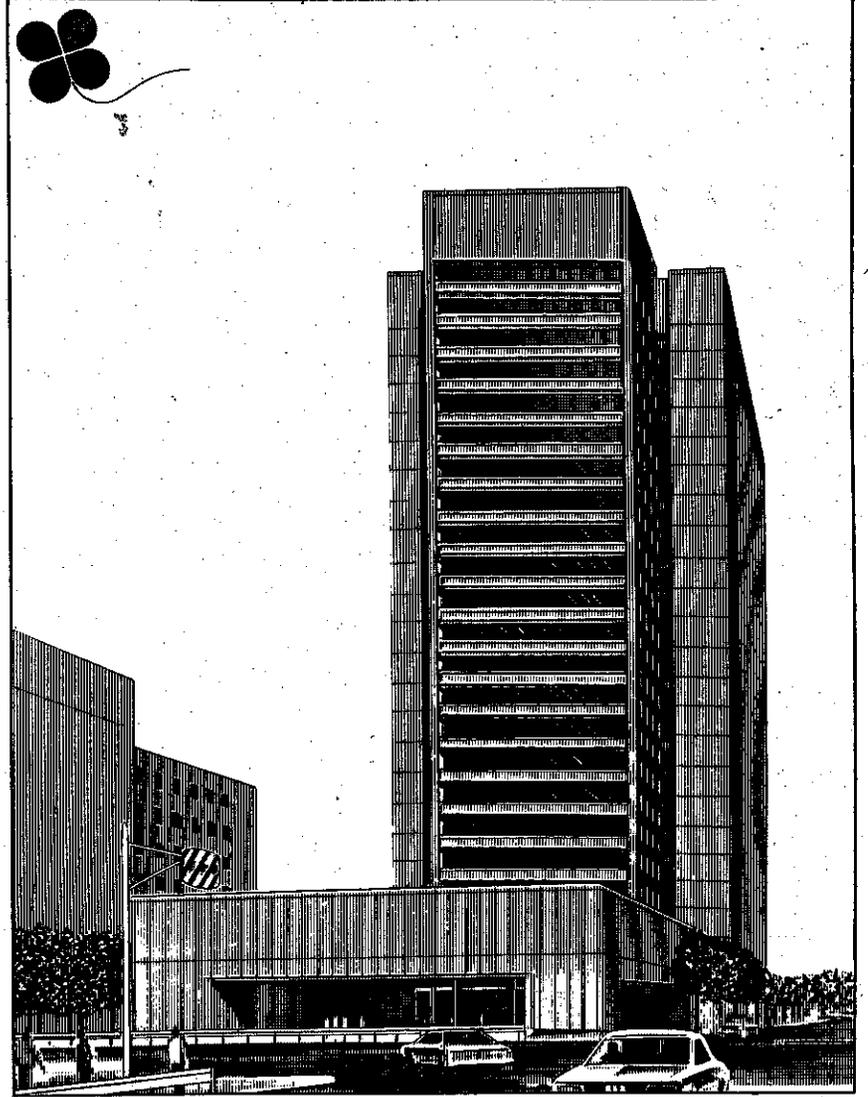
ドキュメント 戦前・戦中・戦後のリンチ事件

編み込み付録 「ゲリラ戦」都市ゲリラ教程抄

カラーイラスト
総括地獄
生頼範義
滝瀬弘
上西康介

暮らしのレベルアップに・企業の発展に

お近くのサンワをご活用ください



★日比谷通りから見た「サンワ東京ビル」(昭和48年完成予定)

- 本店／大阪市東区伏見町4丁目
- 資本金／504億円
- 店舗数／国内200余 海外7
- 行員数／約16,000名

みなさまのお役に立つ
三和銀行

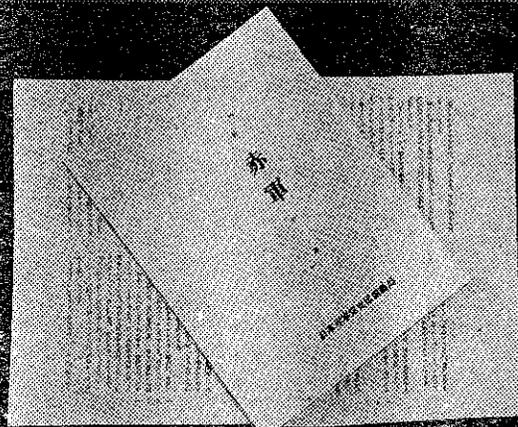
★独占情報

早くも再建!

新赤軍全陣容

誕生のカギ握る三つの秘密ルート

日本赤軍党宣伝局発行の機関誌「新赤軍の道」



いくところまでいった——連合赤軍の「死の総括」は革命の「幻想」が生み出した結論と思えた。が、赤軍派にとってはほんの序曲にすぎなかったのだ。すでに新しい革命軍が動き出している。しかも、さらにエスカレートした形で「闘争」を計画し「死をも恐れぬ」軍団が続々と誕生しているのだ。ここに、その全容をおとどける。

1. 恐怖の「軍団新文書」出回る

主導権争いで生まれた赤軍党

「赤軍派の動きは、これからは注目する必要がある。これから注目を必要がありそうである。なにをやり出すかわかりませんよ」(公安筋)

一連のリンチ殺人事件と「あさま山荘」の銃撃戦の結果、「連合赤軍」は壊滅したと見られている。が、その母体となった「共産同赤軍派」と「京浜安保共闘」はまだ健在なのだ。

その証拠に早くも組織的な活動も始まっている。

その一つが「あさま山荘」事件直後に東京都内に現われた「赤軍派」のピラである。

「死をも恐れぬ英雄的な戦士達の闘い——万才」と、ピラは銃撃戦を英雄視した。残存赤軍派

はあの暴挙を評価し、あとにつづけと呼びかけているのだ。「死をも恐れぬ」闘いであったのかどうかは一連のリンチ事件が表面化したあとから見ると微妙である。仲間うちに見られるのが怖さに、銃撃戦に加わったと見られなくもない。

だが、それはさておき、あの連統殺人事件が表面化した段階で、「赤軍派の内部に大きな動揺があった」(公安筋)というのが常識的な見方だった。

いつ仲間にも「総括」されるのかわからないのだ。ナミの人間ならば、このあたりで逃げたくなる。「革命」に参加し、兵士になったのに「敵」ならぬ

味方に殺されてしまったのではあわない。そこで組織はガタガタになると見られていた。

しかしさすがに「赤軍派」はリンチ事件後しばらく沈黙を守ったと思う間もなく、またまた、激しい文書が現われたのだ。

新左翼系のパンフレット類はハゲシイ言葉が売りもの。いまさらびっくりするにはあたらな

いのだが、その題名が「新赤軍の道」となると、これは驚く。「赤軍は不死鳥である」(赤軍派のピラ)とウソツク彼らのしぶとさを見せつけられた気もする。

もともと「新赤軍の道」を出したのは「赤軍派」ではなく「日本赤軍党」だった。だがリンチ事件や京浜安保との連合は

批判しているもの。「世界同時革命」「軍団組織」をうたいあげている点では、赤軍派と同一線上にある。

「赤軍派の一部が新しく動き出したとも考えられます」(公安消息)ということなのだ。

警察庁や警視庁が全国的な規模で始めたローラー作戦で、赤軍派はかなり大きなダメージを受けている。おもな幹部のほとんどは逮捕されるか、仲間うちのリンチで殺されてしまった。

それだけに赤軍派がいまも活動力を残しているのは、奇異な感じがしないでもない。

だが学生問題評論家の東島克巳氏によると、赤軍派の活動はこれから新しく始まるという。「赤軍派」というのは、ブントから分かれた一つのセクトなんです。それだけに、寄り合い世帯じゃない強味を持っている。完全にセクトに加わっている人間だけで三〇〇人、少し色の薄いシンパを加えると六〇〇人くらいだと思います。しかも連合赤軍に参加しなかったものもたくさんいますし、赤軍派の拠点である関西地区の活動家は手つかずで残っているんですよ。内部的な主導権争いをしながら、新しい赤軍派の再建を進めていると考えられます」

公安担当者によると日本赤軍党も、その主導権争いから生まれた一派らしい。

赤軍派の誕生そのものは昭和四十四年までさかのぼる。

大菩薩、本富士襲撃などの一連の事件で、二〇〇人近い逮捕者を出し、ハイジャック事件で有力幹部が抜けた赤軍派は、森恒夫(三)の主張する短期決戦路線と長期路線をとる一派とに分かれた。森一派は塩見孝也(三)の支持を受けて赤軍派の主流となり、長期路線派は赤軍派から出て赤軍党を結成した。

赤軍党は、その後ほとんど活動をしていたのだが、「あさま山荘」事件の前に森が逮捕されるため動き出したのだ。

一味には赤軍派の一部のほか同じブント系で組織のつづれたML派の一部、RGの脱落者なども加わっているもよう。京都に本拠を置いているらしい。

基本的な路線は同派の機関誌「新赤軍の道」によると、海外革命根拠地をつくり、それを背景に日本で革命戦争を起こそうというもの。

組織は完全に地下非合法組織として、革命的な条件が煮つまるまでは、同派の活動家をふやし「革命兵士」にきたえあげる計画である。

次期指導者には梅内が有力

赤軍派の正式名称は共産主義者同盟(学生組織は社会主義学生同盟)赤軍派という。略して共産同(社会学)赤軍派だ。

四十四年四月二十八日の沖繩闘争の評価をめぐって、共産同の関西派が分裂して、赤軍派の旗揚げをした。

「火炎ビンやバ棒ではなにもできない。革命のためには一挙に武装蜂起するべきだ」

今後もつづける」といつているんです。赤軍派自体もリンチ事件にこりた気配はないようですな(公安担当記者)

となると、赤軍派内部での主導権争いを合め、今後の動きはかなり注目する必要がある。

というのがその主張で、はじめから超過激派だった。

「赤軍派は過激派集団ですが、これまでの短い歴史を見てみると三つの時期に、分類できるんです。第一期が梅内を中心にした時期、第二期が森一派の時期、そしてこれから第三期が始まるんです。それぞれに特徴があって、行動方針もちがうようですよ(評論家・市川宗明氏)

赤軍派が充足してからハイジヤックまでが第一期にあたる。この時期の赤軍派は武装蜂起を主張しながらも、それに必要な武器を、まだ持っていないかった。もっぱら梅内を中心とする理論活動が中心で「君たち(国家体制)にブラックパンサーの同志を殺害する権利があるなら、われわれもニクソン、佐藤等々を殺害し、ペンタゴン、防衛庁、警視庁、君たちの家々を爆破で爆破する権利がある」と脅をこぼしていた。

本富士の爆破、大菩薩峠での軍事訓練などが当時の主な動きである。この活動の中で次々に逮捕者が続出し、同派議長の梅内も逮捕されるにいたって、第一期の赤軍派は事実上壊滅した。

田宮高鷹、小西隆裕らの最高幹部がハイジヤックで北朝鮮に逃げたのも、梅内時代の終わりを早めている。

第二期になって登場したのが森恒夫だ。これは今回の一連の動きで明らかのように、武闘一本槍。軍事組織がすべてに優先するとして、過激行動に突っ走っていた。

理論的には全く合わない京浜安保共闘と連合したのも、軍事組織を強化するためで、M作戦といわれる資金集めのための銀行強盗事件などで、組織の中でも孤立していった。

「人民の味方」であるハズの革命組織が「人民の財産」を平気で奪うというのだから、森一派が自滅の道をたどるのは当然のことだったろう。

鏡さえあれば、なんでもできるという発想は正気のサタとは考えられない。

さて、そこで問題になるのが、これからでてくる第三期の活動家である。

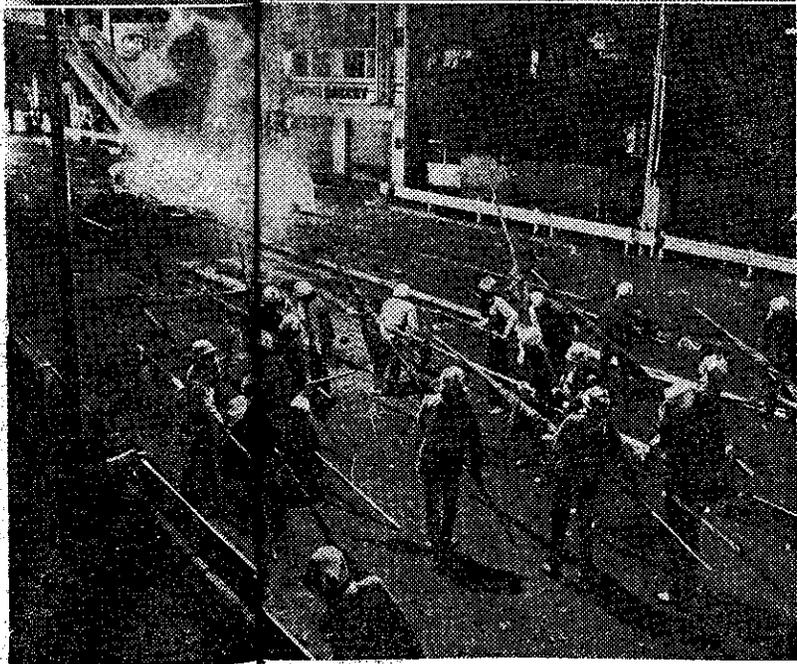
「これからでてくる赤軍派の活動家といっても、公安筋でもはっきりとつかんでいないんじゃないかな。森がでてきたときだって、幹部がいなくなると、無名だった森がいつのまにか中心になってしまったんだしね。なにしろ二〇〇人か三〇〇人もいるセクトだから、予想もできない男がでてくる可能性もある。

それと、逃げのびている旧幹部が指導者になることも考えられるしね(公安消息通)

逃げている幹部の大物といえ、爆弾男の異名を持つ梅内恒



次々と運び出される遺体(連合赤軍リンチ事件)



車に火を放ち、街頭でははれる過激派学生たち

夫(三)がいる。

「梅内というのは不思議な男で、大物といわれながらほとんど姿を現わしていない。ハイジヤックのときも一味の中にいると信じられながらも、最後にはいなかったし、こんどは藤名山アジトに入り込んでいたというウワサはあったが、実際にはわからなかった。いつも影だけなんだ。そこで消された、という話もある。しかし生きていたとしたら、キャリアとい指導力と、第一人者だろ(公)安担当記者)

梅内は赤軍派創立当初からのメンバーでもあり、同派の爆弾造りの指導を一手に引き受けていた。かなりの力を持っているとみなければならぬ。

しかも消息通によると「顔かたちがすっかりかわって、昔の知人が道で会ってもわからないほど」になっているという。地下にもぐったまま、今後の赤軍派の指導をすでに始めている可能性は強い。

旧幹部の大物としては元政治局員のDがいる。梅内の直系で

理論派だった。一時森と行動路線についての対立があり、追放されたのを見られていたが、森一派が自滅した以上、赤軍派に返り咲くことも考えられる。

さらに、大菩薩峠事件で逮捕された旧幹部も続々と保釈されてきている。このグループが赤軍派の再建に動いていると見るのは常識だろう。

「赤軍派は、地下組織だけあって、これまで一度でも逮捕されたものはスパイになっていくかもしれないというので、組織の中に入れなかつたんだ。それに時代にして闘争方法にして毎日交わってきている。保釈グループは、いまの赤軍派についていけなくなっているかもしれない。

だから、今後の、赤軍派の中心になるのは、これまで知られていない大物より、むしろヤングパワーじゃないかな。獄中にある梅内の意を受けて、行動力のある若手が中心になると思うよ(公安消息通)

第二の森がすでに育ってきているというのだ。

赤軍派の組織と人材は、その成り立ちから明らかのように関西に集中している。

関西には赤軍派のほかにも過激集団としてRG派、烽火派などがあり、さらに小さな組織が無数に、過激行動を起こそうとしている。小集団は京大、同志社大などを拠点にして、五人から一〇人のグループになっているが、これらが赤軍派と結びつくか、赤軍派に吸収されることもあろう。

赤軍派がML派の一部を抱き込んだような組織の交流は十分考えられる。

とすると、赤軍派を再建するための「人材」はゴロゴロいるのだ。

「赤軍派は直ちに武装蜂起をするという点で、他の過激派と路線がはっきりと分かれていた。それがこんどの事件で、いくらか軌道修正をせざるを得ないだろう。となれば、他セクトと共闘を組むことも可能なかた(赤軍担当記者)

一方、二〇〇人から三〇〇人といわれる赤軍派内部から出て

くる第二の森である。

たしかに若手グループの中にはリンチ事件が表面化して動揺したのもいた。が、それだけで「組織」がグラついたとは見られていない。

「いやあ驚きましたよ。あのリンチ事件で死んだYの所に行っただけですがね。その妻君のまわりに赤軍派らしい青年が四、五人立っているんです。報道陣をよせつけないんです。仲間がリンチで殺されたっていうのにビクともせずに、アンタらに関係ないでしょ、っていうんだな。赤軍派の根は深いと思っただよ(社会部記者)

つまり、森予備軍は豊富なのだ。

しかも赤軍派の幹部になる条件は、東島氏によると他から見るとより簡単ならしい。

「森の例でもわかるように、理論的な指導者である必要は全くないんです。軍隊なんですから

米基地と自衛隊狙う「新赤軍」

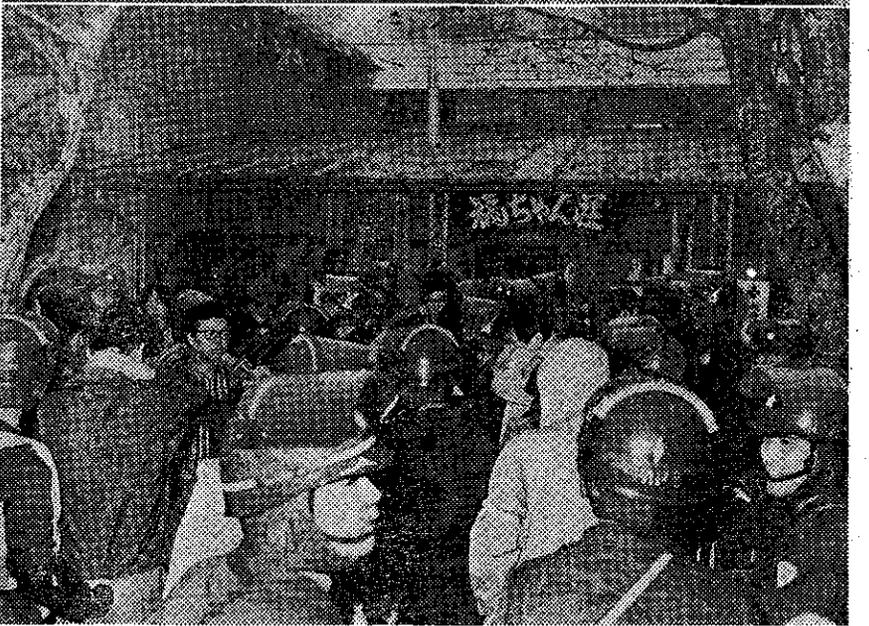
そこで、この新しく再建された赤軍派の戦略である。

行動力があって、腕っぶしが強ければ、いつのまにか隊長格になれる。ゲリラ組織を標榜しているのだから、一つの軍団さえまとめる力があればいいんです。

かつて森は「テレビや商業新聞を見て情勢分析だけをする政治局や、ヘルメットをかぶってデモをする革命戦線はナンセンス。ゲリラ戦をやる中央軍だけが赤軍派だ」と、うそぶいていた。

赤軍派の体質がそう急に変わると思えないので、今後若手の生きのいいのが、過激行動に突っ走るのだろうか。

「あの世界では逮捕の繰り返しがあって、二線級が一線級の活動家になるサイクルが早まっています。一種の下剋上の世界でもあります。だからいくら頭をおさえても次々に新しい頭が出てくるんですよ(東島氏)



男姿を誇示した赤軍旗だ。だが…… 四十四年十一月には大菩薩峠で五十三人が捕縛された

「新赤軍の道」によると、ゲリラ戦からはじめて、米軍基地と自衛隊を攻撃する。その解体によって日本での革命が成功するというのがだ。

もって首相官邸の襲撃を計画していたという。トラックに石油罐を積んで首相官邸を襲い、罐をこころがしてまわりを火の海にする。同時に首相を人質にして、獄中の塩見

と京浜安保共闘の最高幹部川島(豪三)を救出しようとしていた。計画は事前に挫折したわけだが、考えるだけにしてもモノスゴイ。

らじとばかり、これまで以上にエスカレートした闘争を組むことも予想される。とはいっても、公安筋によると、銃はこんどの事件で全部押収したという。ハテな銃撃戦を

計画するわけにもいくまい。一説によると「いざというときにはライフル銃だけでなく機関銃、バズーカ砲まで準備しており、いつでも使える」「(元赤軍派A君)というのだが「いまの日本で、そこまで準備する力は連中になんぞ」という公安当局の見方のほうが、当を得ているだろう。

で活動家がほとんど逮捕されちゃったんだ。残っているのは多くて二、三人というところじゃないかな。あそこは組織は大きいが活動家は少なかったんだ。いまとなつては、川島が出獄でいんじゃないか(公安消息通)活動を起こそうにも人がいないというのだ。

京浜安保共闘は文字どおり単一セクトではない。川崎、横浜地区の労働者反戦団、横浜国大などの学生戦闘団、それに婦人団体が組んでできた組織で、その中の過激派が川島を主として軍団をつくらせていた。

だから、川島やこんどの永田洋子らが逮捕されたからといって組織が壊滅したというわけではない。しかし、もともとが寄り合い世帯だ。中心になる活動家がなくなると、活動そのものも弱まってくる。

「かつてのような組織的な動きができるようになるには、二、三年かかるだろう」(公安筋) 赤軍派のような無気味な動きはないという予想だ。

「もともと京浜地区というのは東京南部解放区といわれていたところなんです。中小企業の労働者、それに学生が加わっているという見方もある。

て、活動家の層が厚い。それだけに一人の指導者がでくとたちまち大きな力になれるところなんです。安心はできませんよ」(東島氏)

さらに、もし京浜安保共闘がくずれたとしても、その代わりの組織がすでに台頭してきているという。

京浜安保共闘に代わって、九州の日共革命左派(日本共産党とは無関係)が関東に進出してくる気配がある。京浜地区の労働者を再組織して、第二の京浜

「われわれワァ、断乎としてテュ敵を殺すのだア」と叫びながら、なんの罪もない「人民」が傷つけられる可能性は強く残っているのだ。

安部共闘をつくらうとしてい、という説もある。いずれにせよ、新左翼の革命指向、そのものがなくなったわけではないのだ。その中の過激派集団のうち、とくに過去の実績のあるセクトほど今後ますますエスカレートした闘争を計画する危険は大きい。

「われわれワァ、断乎としてテュ敵を殺すのだア」

2. 塩見に寄せる新期待

アピール発表で指導力維持

「いくら獄中にあるといっても外部とも、どうにかして連絡を取っているようだし、いまとなつては彼の動きひとつで赤軍派の方向が決まるんじゃないの」(赤軍派消息通)

陸軍伍長 横井庄一

決定版

全国で 爆発的売れ行き!

その28年間のグアム島生活記録
サンケイ新聞・フジテレビ(特別取材班)・500円下110
カラー・モノクロ写真90枚を収録した立体編集集



東京 千代田区神田錦町3-15/ 振替東京54646
大阪 北区梅田町27/ 振替大阪44650
サンケイ新聞社出版局



四十五年三月、日航機「よど号」を乗っ取って仲間8人と共に北朝鮮に渡った田宮高慶(左上)、(左中)はペイルードにいる重信房子、(左下)は赤軍派政治局長・塩見孝也、(中下)は東京拘置所

赤軍派がM作戦(資金調達作戦)に次いで力を入れていたのがP作戦(要人誘拐作戦)だった。狙いは獄中の塩見の奪還である。それほど必要とされている男なのだ。赤軍派としては組織がおかしくなつたいまこそ、なんとしてでも指導力を発揮してもらいたいところだろう。

獄中にある塩見は、「理論的には検事あたりと相当やり合うこともあるが、ふだんはいたつておとなしいですよ。あさま山荘事件では、英雄的行為、だなんていっていましたがね。リンチ事件についてはまた口を閉ざしたままです」(東京地裁C氏)

さすがの塩見も、あの恐怖のリンチ事件については、なんともいえないかもしれないかもしれぬ。表面的に見ると、模範囚のような生活を送っているらしい。

しかし獄中であつて模範囚であるならば、この「緊急時」に指導力の出しようがない。「外部と接触する特別なルートがあるはずですね。かなり自由に指令など出しているんじゃないですか」

評論家の市川宗明氏は、そこはそれ「大物」だけに特別なルートがあると推理する。もっとも特別なルートがなく

ても意見を發表することはできない。塩見はこれまでに赤軍派の集会があるたびに「獄中からのアピール」を出しつづけてきた。

たとえ二月一日の連合赤軍救援対策組織の集会では「労働者人民と結合し、人民に信頼され人民に奉任」しなければならぬし「正義の軍事は大胆に行なう」と、獄中からブツツツしている。

その直後、仲間のリンチ事件が表面化した。「人民に信頼される」にはあまりにもムゴい事件だったが、これは塩見の獄中からの指導が間違っていたのか、それとも、指導するルートがふさがつていったかしたのだろう。

「塩見の場合、今回の一件で指導するなんて、できっこないですよ。日本では獄中から秘密に外部と連絡をとることは不可能です。理論を發表することはできても具体的な行動を指示するなんてのもありません。いまや塩見は赤軍派のシンボルとしての抽象的な意味しかないんじゃないかな」(東京高検幹部B氏)

日本の拘留所はそれほど甘くない、というのだ。これは逆にこんどの虐殺事件に塩見が関係していなかった証明にもなり、塩見にとっては有利な材料にな

るだけに、なんとも皮肉なハナシである。

妻をつかって中国とも連絡

が、そうとばかりもいきれない。

「塩見はね、赤軍派だけでなく中国とも連絡をとっているんです。塩見の細君が先年中国に行つたでしょう。あれは塩見の書簡を持って行ったんです」(市川氏)

塩見夫人が婦人訪中団の一行に混じっていたのは、塩見の指示によるのだ、という。塩見夫人は訪中団の一行と別行動をとった日があつた。そのとき中国の要人と会つて、世界革命路線についての塩見の意見を伝えた、という推測である。「たとえはの話をしたが、弁護士を通じて、外務に秘密指令を出すことだってできるだろうし、それが無理なら面会人を利用するものもある」(市川氏)

が、しかし獄中であつて、指示が出せることができるか、どの程度のことができるか、となると疑問である。「塩見議長が出てきてたら、連合赤軍事件なんて起こらなかつたと思うよ、具体的な戦術まで指示してくれないものか」(元赤軍派A君)

やはり、獄中からのアジ

ル、程度のことしかできないと見るべきだろう。

警察庁公安担当の幹部によると、最近の過激派の動きは一番前と大きく質的にちがつてきているのだそう。

「いまや、プロ革命家の時代です。過激派の行動を学生運動の一つみだりに考えるわけにはいかない。本職の革命家がゲリラを組織し、テロを繰り返すようになった。行動がエスカレートすると同時に、かんたんに挫折したりしないようになった」

日本のこのテの活動がアラブゲリラやブラックパンサーなみ

密入国帰国説が流れる

3. 田宮、重信の根強い復帰説

赤軍派による日航機「よど号」乗っ取り事件が起きてから丸二年たった。

主犯と目される田宮高慶、小西隆裕など九名の行く先はいまだに謎につつまれたままだ。「二年たつたら帰ってくるよ」といって北朝鮮に行つた田宮

の運動に近づいてきた、というのだ。その最先端を突っ走るのが赤軍派と京浜安保共闘——というのが公安筋の一致した見方。そのプロ革命家の第一人者が塩見というわけである。「赤軍派としては喉から手が出るほど、彼の立場を考えると、公安だつて簡単に放しおんよ。獄中からのアピールにしたところできびしく内容をチェックしているでしょうし、このままでは現実問題として手も足もでないでしょう」(M弁護士)

そこで再びクロースアップされてきたのが、新赤軍によるP作戦である。「前にもまして、いまはいい指導者がほしい時期ですからね。

かなり無理をしても塩見奪還のための行動を起こすんじゃないですか。リンチ事件で連中、少なからずショックを受けていますよ。このままでは組織が壊れてしまうという恐怖感も持っているでしょう。だからあらゆる手をつくして塩見を取り戻して組織の再建を計りたいと思うのは当然ですよ」(公安消息通)

ハゲしい行動を起こして塩見を奪還しようとする、ということであれば、ここにまた連合赤軍の行なつた暴走を繰り返すことになりかねない。

獄中にある塩見議長が、その繰返しを許すかどうか、そのへんに今後の赤軍派の方向のカギがあるといえるようだ。

田宮は現在立川近くにアジトを構えていて、某國から赤軍派に送られてくる資金ルートの基地にしている、などとなると、いかにももっともらしい。が、はたして本当に密入国しているのか、となるとどうも疑わしい。

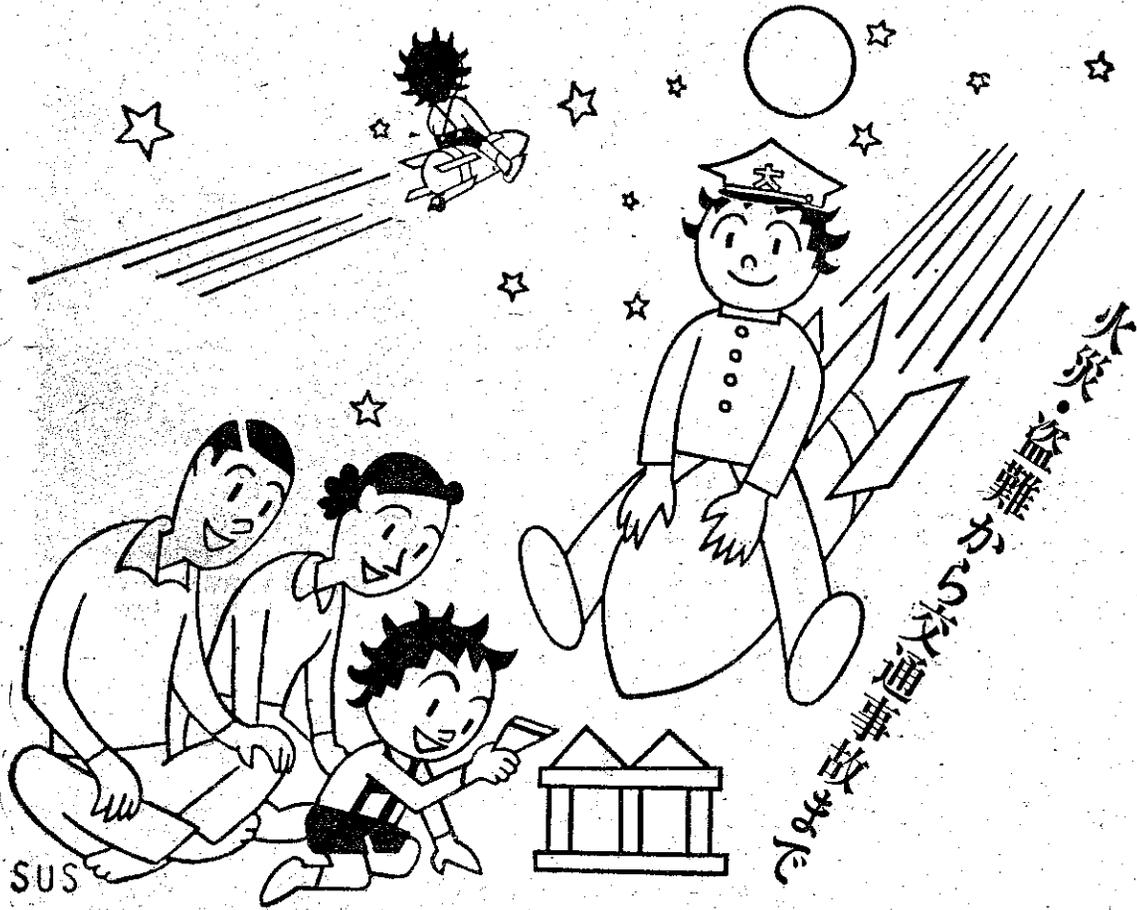
最近北朝鮮を訪問した野末陳平参議院議員は、真つ向から入国説を否定する。

「正式ルートで確認したわけじゃないがね、通訳の話だと、平壤の近くで連中ひとまとめにたつて働きながら学習しているらしいよ。北朝鮮にとつて、彼らはお荷物以外のなにものでもない。彼らのために密入国の便を計つてやるなんて考えられないよ。国際関係を見たらだ、ね、いまどきあんなのを動かして破産を起こすような時期じゃない。それにここの金日成首相にあつた連中の年賀状を見せてもらったけど、もう昔の赤軍派じゃない、もっとおとな

積立+補償+節税 同和火災の積立総合保険

〈長期総合保険〉

満期が楽しみです!



豊かなマイホームはこれでOK!
新しい時代の《未来の保険》です

*詳しいパンフレットは最寄りの支店へご請求ください

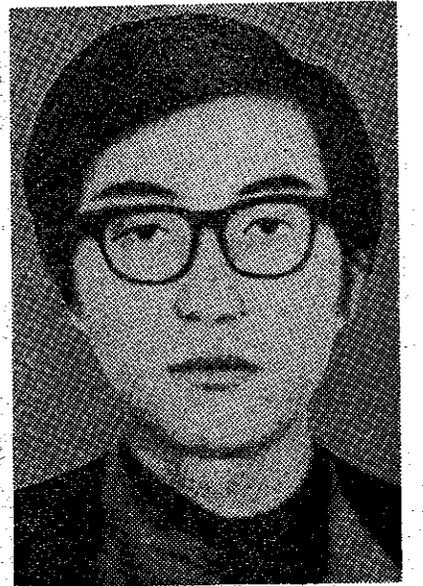
同和火災海上

東京/東京都中央区日本橋通3丁目7番地の1 電話274-5511
大阪/大阪市北区神明町6-1番地 電話361-1371
ほか全国主要都市

「田宮らがいまも北朝鮮にいる」となる、赤軍派の一連の動きに關係していたとは考えられない。手紙のやりとりをするという手はあるにしても、それでは時間がかかりすぎる。

まして、森一派が田宮を恐れ突っ走った、というのほうがかみすぎのようだ。

が、田宮が日本に帰って来ない、と断言するわけにもいかな



次期指導者の有力候補といわれるが、いまだに行くへの知れない梅内恒夫

「赤軍派としては指導者がほしいのですから、帰ってきてもらいたいですよ。ことしの4・28(沖縄デー)から五月の返還時期にかけて、田宮が必ず現れると信じているものも多いですよ」(東島克巳氏)

「現われると信じている、というより、現われなければ困るという願望が先行しているようでもある。この願望がもし実現したとすると、赤軍派の今後はまた一昔前の塩見-田宮ラインが復活

立場が苦しくなった重信

赤軍派の海外渡航組では田宮らのほかに、ペイルートに飛んだ重信房子がいる。

アラブゲリラの過激派PFLPと連絡をとり、赤軍派の「世界同時革命拠点」の一つを築き

するわけだ。

しかし、時代は動いている。そうすんなり昔が今に戻るとは考えられない。

「連中が日本に帰って来たとしても浦島みたいなもんでネ、きつと、ウロウロしている」と総括されるのがオチじゃないかな」(公安消息通)

となると、赤軍派が田宮らに抱いている期待は、期待しているうちが、花なのかもしれない。

一時はPFLPのゲリラ組織が管理するエルサレム病院で負傷したアラブゲリラの医療救護活動をしていたらしい。

またPFLPを通じて、各国のゲリラ活動の情報入手なども行なっていた。

その活動資金は赤軍派国際部から、かなりの額が送られていたという。軽井沢でつかまつた赤軍派の青砥幹夫の自供によると「毎月三十万円ずつ重信宛に送っていた」というのだから、重信自身はかなり優雅な生活を送っていたとみられている。

「まあリンチにあう心配もないし、とくに非法法活動をしてい

るわけでもないのだから、金を送ってもらって、楽しい生活を送っているんじゃないかな。しかしこれからどうなるかわかりませんよ」(公安筋)

「それがネ、来てみて話が違

う、と驚いたらいいんだな。アラブゲリラにとっては、自分たちの生活をかけて闘う必然性があるんだ。生活上の闘いなんだよ、それが日本に来てみると、赤軍派といっても、ほんの一握りの活動家しかいないし、生活ぶりをみて、革命なんか起こす必要がないと思ったらいいんだ」(社会部記者)

「それら、PFLPの幹部は重信から聞いてきた赤軍派と現実に見る赤軍派の違いに驚いて、赤軍派に対する評価を変え

たらしい。

「それは当然だよ。自分たちの

運動が世界に通用すると思っ

ている赤軍派が甘すぎるんだ。ハイジャックの田宮らにしろ、北朝鮮では、相手にされなかったし、重信だって、現実の日本を知られたのだと思われてもしかたがないね」(評論家・中島誠氏)

そこでペイルートにおける重信の立場はこれまでになく苦し

いものになりそうなのだ。

資金もなく、PFLPにも相手にされなくなる、とすると重信に残された道は、二つしかない。その一つはあくまでも現地に留まる。しかし革命の活動家としてではなく、現地でもなんらかの方法で生活を維持しながら暮らすという道。もう一つは日本に帰ってくるのだ。

「日本に帰ってきた場合、重信は社交家ではあったが、活動家ではなかった。それに理論的にすぐれたものを持っていたわけでもない。だから昔の地位を望むことはムリですね。浮いた存在になるんじゃないですか」(東島氏)

いずれにせよ、重信だけでなく、赤軍派そのものが浮いた存在になってきているのだ。

ここで新しくなにかしようとすればするほど「人民と結合」することを妨げることになりそうなのだ……。

赤軍を支持した

文化人の

意外な反意

★ものいへば唇をむし、日頃の言動はどこうへ…



妙義山荘でリンチ事件の検察官、暴行する警察官

『あさま山荘』のスペクタクルには、正直いって活劇を見るようなスリルが、ないでもなかった。ところが、大量リンチ殺人になると、その狂気と残忍ぶりに、世論は厳しい批判を向けた。この批判、当然の帰結として、学生たちを指導したセンセイがたに、ザンゲなり反論なり、あるいは評価なりを求める。そこで…

沈黙、多忙の羽仁、松岡サン
まずトップ・バッターとして登場していただくのは、その名も高き羽仁五郎センセイ。
なにしろ、東大、日大、京大紛争では、バリケードの中にまで出かけて闘争を礼讃したほどの指導者だ。その著書『都市の

と学内のゲバ権を正当化したばかりか、新著書『日本軍国主義の復活』のなかで、『在日朝鮮人の国籍問題の入管闘争について』は、都市の論理をお読みになっておやりになつたわけでもないと思うんですが、ぼくは都市の論理のなかに、『都市はやろうと思えば何でもできるんだ、やってみろ』

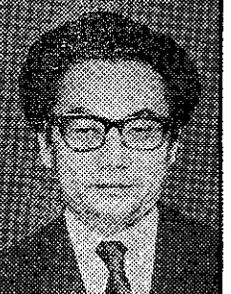
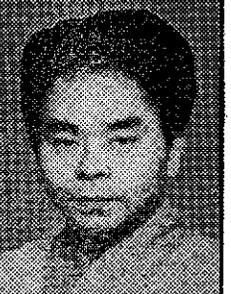
とくり返し書いています。いままでもさらなかったのは、おそらくは、できないとお考えだったからなんでしょう。最近なきったというのは、いくぶんぼくの意見なんかも参考になったんじゃないか』
と自画自讃。過激派グループの入管闘争も、センセイの影響ありと認めていらっしゃる。そこで、今回の事件については、『政治が腐敗し、無法が横行している社会に、彼らは抵抗したのですよ』
くらのご意見では、ナットクできない。そこで、インタビューを申し入れたところ、
「いま出かけております。一時間ほどしたら帰ってまいりますから…」
とのことだったが、一時間後には、
「帰ってまいりましたが、本日は疲れておりますので、明日なら、と申しております」
そして翌日、
「カゼでふせております。お断わりしたい、とのことですが、それならそれで最初から、ストドンと断わればいいのに…」
と、頭にくるのは、大センセイがお相手では失礼なのかも？
それでは、勇ましい女闘士ならと、松岡洋子センセイにインタビューを申し込んでみた。



あさま山荘、最後の攻防戦

良センセイ。
このセンセイも毛沢東イズムの若手リーダーとして活躍。早大騒動のさいには教員組合書記長として頭張り、日共と激しく対立した闘士。松岡センセイがダメなら、毛沢東主義と永田洋子の関係を、センセイにご説明ねがおうというのが、こちらの意図。
「いま出かけております。夜九時ごろなら帰ります」
とお手伝いさん。そこで大事をとって十時近くに連絡してみると、
「まだ帰りません」
後日、連絡すると、
「あ、いま出かけたところなんです」
ああ残念。いつもちょっとのところで会えぬ不運。このさい、新左翼の学生にも理解のあるセンセイがたの意見はぜひ承りたいところだが、フンギにどのセンセイも、不在か都合があるののである。
「なんとかいびるのなかだつたが、メモはとっておいてないし、住所も団体名も、全然おぼえていませんね。あくまでも医者としてカンパしたのだから、相手は病人やケガ人であつて、団体じゃない」
なるほど、たとえ凶悪犯であっても、医師なら放っておけるはずもない、一理はある。
「だが、こんどの一連の事件を知って、もう彼らにカンパするのは絶対によそ、と決心しました。あるいは、ぼくがカンパした金が、病人やケガ人のために使われずに、同胞を殺し合う

年の秋のこと。
「成田闘争のあとで、このとき私は家にいなかったたので彼らには会わなかった。家族のものが指定された場所に郵送したのが最後でした」
ところで、カンパしたのは、何派なのか。まさか連合赤軍だったのでは？
「それが、何という派の学生なのか、まったく知らない。いまだに、超過激派集団なのか、穏健な学生たちだったのか、わからないんですよ」
北センセイともあろう人が、不明な相手にカンパするとは、にわかには信じにくい。最後に郵送したアテ先から、わかるのでは？
「なんとかいびるのなかだつたが、メモはとっておいてないし、住所も団体名も、全然おぼえていませんね。あくまでも医者としてカンパしたのだから、相手は病人やケガ人であつて、団体じゃない」
なるほど、たとえ凶悪犯であっても、医師なら放っておけるはずもない、一理はある。
「だが、こんどの一連の事件を知って、もう彼らにカンパするのは絶対によそ、と決心しました。あるいは、ぼくがカンパした金が、病人やケガ人のために使われずに、同胞を殺し合う



ための武器や火薬類の購入のためにつかわれていたかもしれないと思うとねえ。

怪くはいま、深く反省してるとです。こんど、絶対にカンパしないことをくり返し、決心してやるんだ。

卒直にして勇氣ある発言。北センセイのこの発言が胸にこたえる文化人もいるはずだ。

というのも、あるテレビ局の深夜討論会で、赤軍派弁護の立場での発言だったある文化人が

「かんべんしてくれ」若松監督

さて、つづいて、いいだ・ももセンセイ。
作家であるだけでは飽きたらず、みずからも共産主義労働者党書記長として、新左翼運動を實踐する行動派。

羽田事件のさいには、「私自身、当日の現場において、一部暴徒の一員であったものと確信しています。ヘルメットの頭を低く下げて、機動隊の容赦ない攻撃に耐えながら、ひたむきに装甲車を押していく彼らの行為は、彼ら一人一人の主體的内面領域における孤独なみずからへの問いかけであり、みずからの検証のようなもの」と、文字どおり過激派のリーダー格だった。

大量リンチ殺人の続報がはいりや、ビデオどりの直前に雲がくればという話があるのだ。

その理由が、「山田孝（最初に見えられた被害者）だけだったら、スパイが肅清されたと解釈できるが、あれほど多くては、とても……」

というのだから、底の浅さが知れる。ここまでは支持するが、これからさきのこととはどうも……というのでは、本質を理解しているとはいえない。

たむきに装甲車を押していく彼らの行為は、彼ら一人一人の主體的内面領域における孤独なみずからへの問いかけであり、みずからの検証のようなもの」と、文字どおり過激派のリーダー格だった。



荒れ果てた連合赤軍の機名山アジト

新左翼に愛想つかしをしているわけだが、そればかりか、「より高い質の革命的闘争へとみずから止揚し、それへの媒介となる以外には、その示威的カンパニア的限界を暴露し、玉碎シヨ一へと転化し、崩壊するほかはなかった」と、すでに赤軍派の壊滅を予言しているのだから驚く。

さぞや岩田センセイ、先見の明を誇ると思いきや、これまた「……」といった感じである。

今後の新左翼運動についてもききたかったが、「岩田君は、おそらく会いたがらないでしょう。彼は、ある雑誌のインタビュで、意見をワイ曲されたと怒ってましたから

うに留守の連続なのである。過激派に多少ともかわりのあるセンセイがたは、世論の風を、じっと首をすくめて耐えていらっしやるらしい。

赤軍派にとって異色のPR的存在なのは、ピンク映画の人気監督、若松孝二センセイ。

このセンセイ、昨年はパレスチナ・ゲリラPFLPの本拠地に潜入して、記録映画をとり、PFLPと赤軍派を結びつけて話題になった。

その点を追及されると、「ぼくは別に赤軍派じゃない。支持もしていない」といったかと思うと、過激派学生の爆弾闘争を通して、内ゲバのあけく自滅する『天使の恍惚』なるピンク・ゲバ映画

どうしても欠かせない大物センセイは、立正大の岩田弘教授である。

岩田センセイは、かつて、新左翼武闘派の「教祖」だった。

むかしの教祖

「今日、闘争による流血が、世界の前に暴露したもつとも明白な事実は、若者たちのささやかな棒きれと石ころと警察軍のあがる黒煙が、日本の支配者に対して

未だ老いず

「今日、闘争による流血が、世界の前に暴露したもつとも明白な事実は、若者たちのささやかな棒きれと石ころと警察軍のあがる黒煙が、日本の支配者に対して

荒れ果てた連合赤軍の機名山アジト

旗幟「センメイ」？ 浅田教授

なるほど浅田センセイは、現代の眼「二月号で、

「戦闘的左翼は、そのときどきに出会う物理的な圧力に端的に対応するような行動に終止している。六〇年代においては、やむを得ない形態であったが、本来の階級運動として容認していない。七〇年代も、短絡した闘争をつづけるなら絶望だ」と、かなりハッキリと批判し

理解者だが、「確かに私は、ある面では彼らを擁護するかのような発言もしてきた。しかし、『あさま山荘』の銃撃戦にしても、私は支持してはいないし、支持するなんて述べたこともない。それなのに、支持派の文化人にされてしまうんだからね」

だから、ノーコメント一点はりで逃げ回ることになると、岩田センセイの立場もふくめて説明する。

「私は、赤軍という言葉をこっかっていないが、彼らの行動に批判的だし、学生運動が極限にきていることを、以前から指摘しているんですよ。しかし、赤軍派を、たんなる「気がいい集団」という見方をしてはいけない、と私はいいたい。こういうと、私は、気がいい集団」の擁護論者にされちゃらんじやない

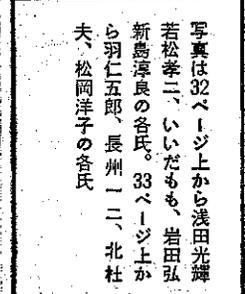
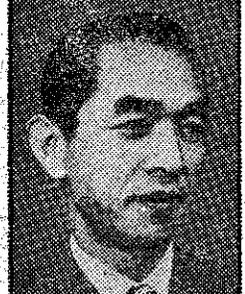
「こんどの連合赤軍派事件の前も後も、私は、自分の言動や著作に対して、ちっとも不明だと思っていないよ」

浅田センセイ、最後に力をこめておっしゃった。

以前、「渋谷大暴動」のさいには、浅田センセイは、左翼がみずから暴動というのは大衆運動を忘れた証拠ときめつけていらっしやる。確かに筋はとおっている。

サンケイノベルズ
課長補佐殺人事件
斎藤栄 530円

筋もとおらずに、ただもう逃げ回っていらっしやると思えないフシも、確かにあるのであ



写真は32ページ上から浅田光輝、若松孝二、いいだもも、岩田弘、新島淳良の各氏。33ページ上から羽仁五郎、長州一二、北杜夫、松岡洋子の各氏

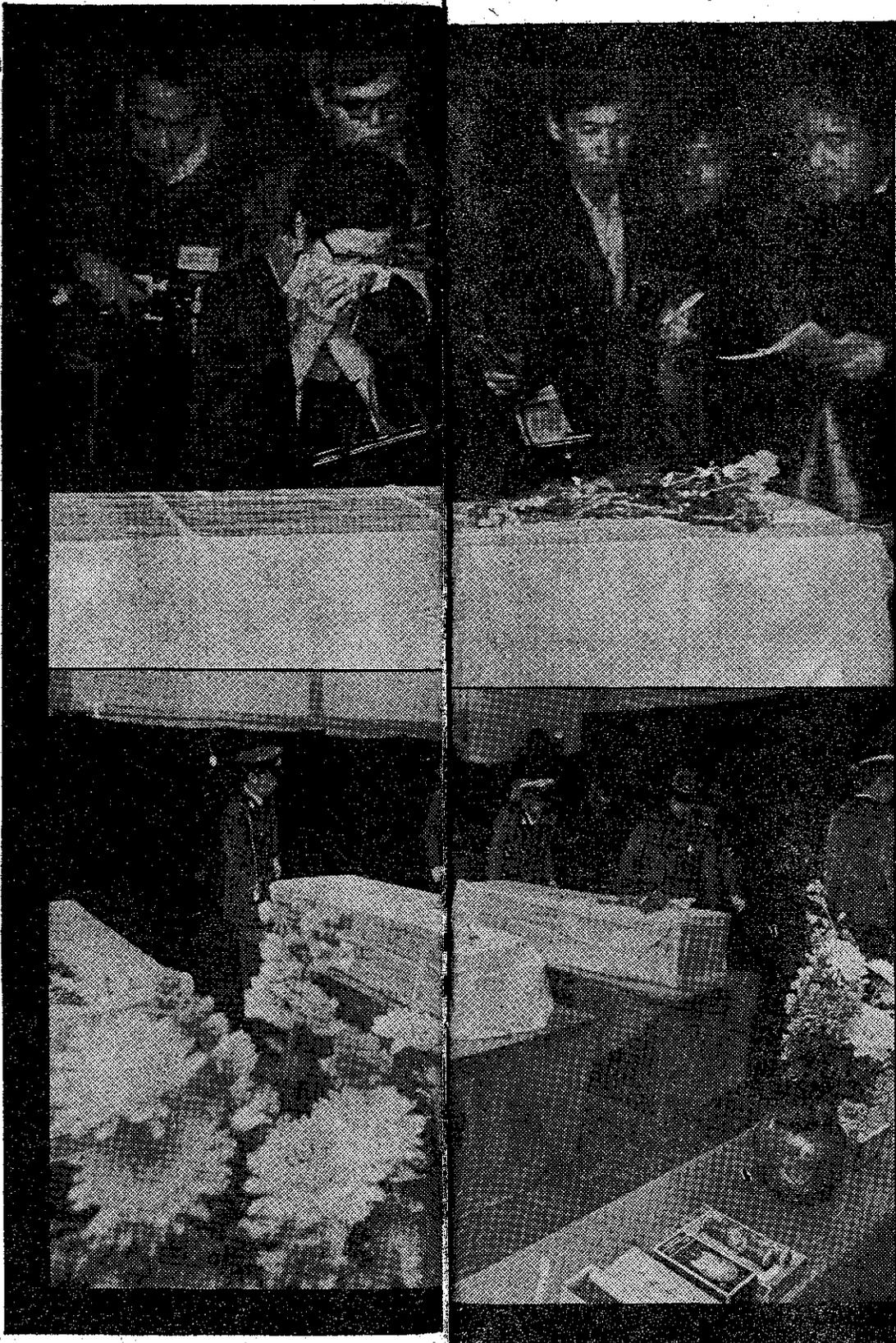
〈カラーイラスト立体大特集〉 連合赤軍 総括地獄

巻頭グラビア参照

★目を蔽う殺し合いはこのようにすすめられた！

なげき悲しむ大腕節子の母親

遺体安置所に安置された姿りはてた姿



同じ目的のために苦楽を共にした同志であり、恋人であり、夫婦でもあった。それをリンチにかけ、なぶり殺しにした。そしてつぎは、殺した者が同じように殺された。まさに殺りくの輪舞であった。その間には一体何があったのか。これは被害者の順を追って作成した調査である。

みだらな「女性関係」が槍玉に

静岡県の井川アジトから群馬県の榛名山アジトの山小屋が完成して、赤軍派と京浜安保共闘が合流して移ったのは昨年十二月はじめ。最高幹部の森恒夫(ニ)、永田洋子(ニ)ら二十九人のメンバーが勢ぞろいし、新しい

い党が結成された。この榛名山アジトは、彼らが迎撃山アジトに移動するさい、焼き払ったため原形をとどめないうが、このアジトが大量殺りくの「処刑場」になるとは、メンバーのほとんどは想像もしなかつたことだろう。西丹沢のアジトで脱走を企てたりした二人を処刑したことはあるが、これは「特例」と思われていた。

加藤能敬(ニ)

十二月二十八日。この日が「総括」の最初の日だった。加藤と、彼と内縁関係にあった中京安保共闘の小嶋の二人が指名

されて、発足したばかりの中央委員(CC)の七人が顔をそろえる。総括の場へ引きずり出された。「小嶋和子とみだらな肉体関係をもった。作業態度がよくなかった」これが加藤に対する論告理由だった。人民裁判ではいっさい弁解は許されない。一方的な論告で終わる。陪席者が弁護する余地もない。ただ「異議なし」と唱えるばかり。そうでないと「総括の態度が悪い」と、次は「総括」にかけられる。

「なぐれ」——永田のヒステリックな声を合図に、全員が加藤になぐりかかった。この処刑のほかに、寺岡恒一、金子みちよら全部で十三人。

全員が加藤の胸、腹、顔をめつたりたらになぐりつけた。ぐつたりした加藤をロープで木にしばりつけて、一月四日ごろ、凍死させた。加藤は第二人も連合赤軍に加わっていたが、処刑場で第二人も兄をなぐりつけた。「反革命的な行動をしないと、うぬに兄を総括しろ」と森から命令された。軽井沢の人質事件でつかまった第二人は、長野県警本部での調べに対し「長兄は革命的な取り組みが足りない」と決めつけられ、リンチを受けつた。リンチに加わらないと、自分も殺されるので仕方なく長兄をなぐった」と涙を流しながら自供した。加藤は愛知県刈谷市の旧家に生まれた。父の益男さん(ニ)は



遠山 美枝子

た。死因は凍死、胃の中はからっぽだった。

もちろん葬儀はなく、いったん進藤とともにアジト近くに埋められた死体も、道路の舗装工事が進んで発覚するのをおそれた青砥らの手で、ふたたび掘り返され、地蔵峠に埋め替えられている。

遺体の確認にやっけてきた父親は「水産大に入れたのが間違っていた」と口びるをかんだが、尾崎が「革命家」の道へ足を踏み入れたのは東京水産大に入学した四十四年四月以後。当時

いつも逃げ腰が総括の理由

行方正時(三)

群馬県の榛名山アジトから一五〇。地蔵峠に近い、十二塚。十三日群馬県警本部の手で行なわれた、ささごの遺体発掘作業は、二つの穴を掘り起こした。

遠山美枝子(三〇)といっしょに埋められていたのが、行方正時。一連の発掘作業で、すべての解剖に立ち会った群馬大法学教室の古川研助教授が「十二人の中で一番きれいな死体だった」といったが、行方正時は暴

行を受けなかった。一月四日、行方は最初の総括で死んだ加藤能敬と小嶋の埋葬役を命ぜられた。森、水田の命を受けた坂口弘(三三)、坂東国男(三三)、吉野雅邦(三三)が、死体の運搬、埋葬の指揮者だった。

た。いきなり柱にロープでしばられた。暴行で、半死半生にされた。から、飢えと寒さで死亡する。ならまだしも、素裸のまま零下十数度の厳寒に放り出されるのは、ほんとうになぶり殺しだ。

た。社会学に投じ、自治会の副委員長をつとめるなど、かなり活発に活動した。岡山大学園封鎖解除のさい、社会学を率いてデモし、逮捕された。

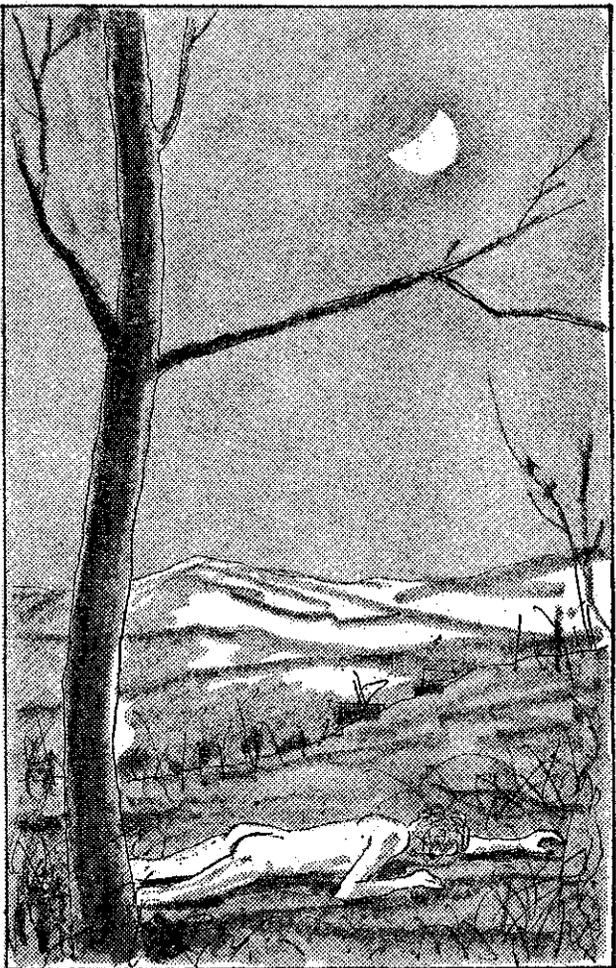
美人故に激しいリンチの雨

遠山美枝子(二)

「女の弱さを示し、男にコピを売り、メンバーと男女関係をもった。また革命に対するきびしさで足りなかった。」

ハイジャック事件の共犯として警視庁につかまった赤軍派の政治局長、高原浩之(三〇)の内縁の妻だったが、その、赤軍派内のメンバーと関係していたよう

論告が終わると、裁判長の森は、被告の遠山に対し「自らの手で自らの顔をぶて」といい渡した。遠山は、涙を流しながら何回も顔をなぐった。「もっと強く打て」と森、水田らが叫ぶ。代わって植垣康博(三三)、吉野



「血の粛清はこれで終わりか」とも思われて、メンバーの中には安堵の胸をなでおろすものもいた。

一月十三日夜、みんなが寝静まったあと、中央委員の連中は園争について討論をしていた。翌十四日午前二時ごろ、就寝していた全員が起され寺岡の総括が始まった。

四人が死亡。その遺体を埋めた行方、遠山が「総括」されてしばらくは、アジト内も静かだった。

ため、新しく結成した党を利用しただけであることがはっきりした。他の中央委員とも討議したが、異議はなかった。よって死刑に処する」

死刑第一号

寺岡恒一(三)

昨年十二月、群馬県榛名山アジトで赤軍派と京浜安保共闘が合流、新しい党を組織したとき、坂東、吉野、山田らとともに中央委員に抜てきされて、七人委員会での地位をしめた。中央委員といえ、総括の

審判に当たり、処刑の執行者でもある。その寺岡がなぜ総括されたのか。しかも、寺岡の遺体は、山崎以上に残酷な方法で殺害されていた。

森らの自供によると、寺岡の殺害はこうだ。昨年十二月二十八日からはじまった総括で、加藤能敬、小嶋和子、尾崎充勇、進藤隆三郎の

これが処刑の合図だった。処刑には「死刑」と「免除(せんじょ)」があり、重大な罪は死刑とされているが、寺岡は死刑の第一号だった。

らが遠山をなぐったり、けった。そのあとはロープで柱にしばりつけて放置した。四日ほどで遠山は飢えと寒さのため、息を引き取ったという。

十三日、群馬県群馬郡倉沢村の杉林から発掘された遠山の遺体には、顔、腕、両足など全身に皮下出血のあとがあり、はげしいリンチを受けたことが確認された。

遠山は横浜市中区千代崎町一ノ二に母親、兄妹らがいる。四十二年三月、神奈川県立緑ヶ丘高校を卒業、明治大学法学部へ進んだ。

父親とは死別したが、母親が東京の会社に勤め、女手ひとつで育てた。姉とともに家庭の世話をしていたことから、よく気ももっている女性だった。

「もっふる社」を中心とした救済活動を行ない、四十六年十一月末までは、公然面の活動家と公安当局ではみられていた。赤軍派に加わるようになってから「男からしばしば電話がかかり、ときおり男が姿をみせる

全員で寺岡が動かないよう押えつけ、坂東がナイフで寺岡の左肩を刺した。「中央委員でありながら統制を乱し、おまえのような冷酷無比なヤツは、スターリンと同じく死刑だ」と、森が叫んだ。

さらに寺岡の左胸を刺し、こゝろはアイスピックを寺岡の心臓をめぐらして力いっぱい刺し込んだ。寺岡は断末魔の叫びを上げるが、坂東はトドメを刺すようにロープを寺岡の首に巻きつけ、しめ殺したという。

この殺害方法を聞いた取り調べの刑事も、あまりのむごたらしさに、背スジに寒さをおぼえたほどだったという。

寺岡は吉野、金子、大槻らと同じく横浜国立大学生。受験校として有名な東京の芝高校を卒業して、四十二年横浜大にはいった。横浜大の学園紛争で京浜安保共闘の雪野連作(二)と知り合い、活動家としてパリストの先頭に立った。理論家というよりむしろ行動派。

四十四年九月、愛知外相訪米阻止闘争で逮捕され、懲役三年、執行猶予四年の判決を受けた。その後横浜市の実家に身を寄せていたが、四十六年二月の真岡強盗事件では、吉野とともに塚田銃砲店に押し入り、警視庁から強盗の疑いで指名手配

脱走計り凄惨な死刑執行

山崎 順(二)

十二人のうち八人の共同墓地になった地蔵峠から、最初に発掘されたのが山崎の遺体だった。三月十日、金子、山本、大槻の三遺体の発掘で、報道陣の目が雨乞山を向いているスキをねらい、長野県警が青砥幹夫(三)―國鉄舞井沢駅で逮捕―を引きまわして、その墓穴を発見した。

山崎は寺岡に続いて「死刑」を執行された連合赤軍にとつての重罪人。出てきた遺体は、発掘にあたる群馬県警機動隊員の手を一瞬とめさせるほど凄惨だった。

狭い穴に無造作に投げ込まれた遺体は、エビのように、そり返っていた。左胸には、長さ二・六センチ、四センチ、一・八センチの刃物による切りキズが三か所。首にはナワ目のおとがくつきり残り、ロッド骨が六本も折れていた。急所にも、けり上げられたあとが、アザになって残っていた。しかも、解剖が進むうちに、左胸の表面のキズは三か所だ

いた。銃に対する執着は強い、といわれ、物欲が彼の総括の原因となったようだ。

が、内部には心臓に達するキズが三か所、横隔膜に達するキズが三か所など、計八か所にキズがあることがわかった。これはなにを意味するのか。解剖経験約八百体という古川研・群馬大助教授(三)も首をひねった。結局、同じキズ口から、何度も登山ナイフやアイスピックで

刺したのだろう、と推定できた。チクチクと、もつとも残忍なやり口。古川助教授は、「死因は首をしめあげたためにによる窒息死と思われませんが、心臓のキズはどれもが死因につながるもので……」とさすがに身ぶるのしなから解説した。

青砥らの自供によると、死刑が執行されたのは一月十七日。この日の朝、榛名アジトで森が全員をたたき起こした。例によって人民裁判が始まった。山崎が被告席につくと、罪状が並べられた。とくに水田の論告は痛烈をきわめた。



動家の多い京浜安保共闘の中でも、ひときわ目立つた美人。スラッとしたグラマーで、丹沢アジトに現われたときには、派手な登山スタイルだったため、地元の人にもよく覚えていたという話があるほど。不美人の水田が、以前からコンプレックスを感じていたことも、大槻のリンチに関連がありそう。

両手足をしばられて裁判にかけられた大槻は、正座させられたいえ、榛名山アジトの柱にくくりつけられた。自己批判をせまられたが、しなかつたため、全員になぐりつけられた。

寝袋につめ込まれ、迦葉山アジトに連れて行かれたあとは、零下十五度にもなる小屋の床下の柱にしばりつけられた。水田は「もつと厳しく制裁しろ」といつていたが、そのままにしておいたら、五百日の二月四日、死んでいた。凍死である。

相当強くなぐられたのだらう。右耳の下には、手のひら大の皮下出血があった。指や足はしもやけになっていた。最後には麦ガユも与えられなかったらしい。胃には何も残っていなかった。大槻の死体はほとんど白ろろ化し、目をそむけたくなるほどの変わり果てようだったという。しかし、水田や森をうらみ抜いたのか、目だけ

はパツパツと開き、空をニラんでいた。

彼女は京浜安保共闘にはいったのは四十四年夏ごろとみられている。横浜大の学園紛争のときには、中核派のシンパだったらしい。

愛人の渡辺正則(二)―下赤塚交番強盗事件で警視庁に逮捕―と知り合うようになって、同派にはいったらしく、「婦人共闘会」のリーダー格だった。四十四年九月四日、愛知訪米阻止闘争では、坂口らが海から羽田空港に突入したのを呼応して、高速度道路に火炎ビンを投げようとし、渡辺らとともに大森署に逮捕されたことがある。

横須賀市衣笠栄町の自宅に

妻との関係がブルジョア的

山本 順(一)

大槻と同じところに埋められていた。顔ははれ上がり、手のひら大の皮下出血があった。両もにも皮下出血。よほど強くなぐられたらしい。

一月下旬、榛名山アジトで山本に対する総括が始められた。両手足を縛られたうえ、サルグツワをかまされ、雪の中ころがされた。組織の仕事をしている最中に

は、下宿屋を営む母親と兄二人、弟一人がいる。兄は東大、大槻も県立横須賀津高校に通っているころは、三年間トップクラスの成績を保っていたほど、頭がよかつた。

一昨年春ごろから、横浜市内で渡辺と同様し、本格的に活動を始めた。ウエイトレスをしたり、アルバイトに会社勤めをして、公然面での活動が中心だった。しかし、昨年二月ごろ、勤めをやめ、地下組織にはいったらしい。

実家には時々電話をかけ「爆弾闘争はやらす、オルグ活動をしているから安心して」と、母親に甘えていたという。

自分勝手な行動をしたためだという。榛名山アジトから迦葉山アジトへ移るため、妻、保子のリュックサックの中へ、長女、頼良ちゃんのオシメを入れてやったことが「夫婦気どりで革命的でない」と森らに指摘された。

自己批判行なわず遂に凍死

大槻 節子(三)

三月十日、金子の埋められていたところから一・三センチほど登った山の中に、中京安保共闘の山本とともに埋められているのが見つかった。金子と同じよ



大槻 節子

の未来を信じるよ」と口ぐせのようにいつていた。それが四十四年、早大政経学部に入學後、突如として闘士に變身、はじめは中核派にはいった。それでもあきたらず四十五年十月ごろには「中核派ではなまぬくて革命はできない」といひ出すようになり、赤軍派に走った。

あとはセキを切つたように、昨年三月二十二日の宮城県・振興相互銀行黒松支店襲撃や神奈川県鎌倉市・材木座郵便局襲撃など一連のM作戦に加わって、過激な道へと傾斜していつた。

うに、髪を短く刈られ、ハダカにされていた。総括は一月下旬、榛名山のアジトで始められた。アジトの建設や爆弾闘争などを計画したり訓練している最中に、仲間男性と関係したと、キメつけられた。森や水田から食料などをかうようにと渡された金で私物を買ったことも理由の一つにあげられている。

自己批判をせまられたとき、「そんなことはない」と大槻が否定したため、水田らは、さらに厳しいリンチを加えることにした。大槻は身長一五三センチ。女性活



山本 順一

て、ブルジョア的だ」ときめつけられた。「指導者の了解も得ずに、妻子をアジトへ連れてきた」「革命実践にたいする態度が第三者的だ」とつづく。山本が東京都内に二日の予定でかけながら、一週間のことも、森らの怒りをおかした。車を三回もミソノへ落としたことは、よほど腹に据えかねたのだろう。「革命への精神がタルンでいるからだ」と総括理由のひとつに上げられている。

小屋の柱にしばりつけられた山本は、全員に木ぎれや板でなぐられた。妻の保子も、森らの命令でなぐっている。

「涙をみせれば、自分も総括されると思った。なるべく、痛くないよう、平手で力を入れずにやった」と、保子は自供している。

「オー、オー」と声を出して、泣いていたという。寒さと苦痛に耐えかねたためか、三度も舌をかんでい。しかし、かみ切れずに、致命傷にはなっていない。食事は全く与えられず、死ぬ直前のリンチ三日目には、声も出なかつたという。

死亡したのは、二月一日。凍



金子 みちよ

死。

山本が初めて警察当局に知られるようになったのは、昨年四月十二日のことだ。岐阜県各務ヶ原市の川崎重工業への反軍闘争が行なわれ同派の小嶋が検挙されたとき、その横に坐っていたからだ。

その後、地下軍事組織に加わるほど、活動家として成長。したらしいが、そのいきさつははっきりしない。自動車運転ができることから、レポーター要員として、組織に入れられたらしい。

妊娠、イヤリングも総括理由

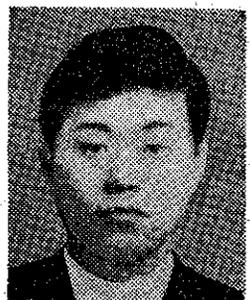
金子みちよ(三)

「髪は短く切られ、顔や胸には、卵大の出血があった。リンチがはじめられたのは一月下旬。榛名山アジトだった。闘争にたいする意識が軟弱であり、態度がはつきりしない」というのが第一の「総括」の理由。

「髪は短く切られ、顔や胸には、卵大の出血があった。リンチがはじめられたのは一月下旬。榛名山アジトだった。闘争にたいする意識が軟弱であり、態度がはつきりしない」というのが第一の「総括」の理由。

「髪は短く切られ、顔や胸には、卵大の出血があった。リンチがはじめられたのは一月下旬。榛名山アジトだった。闘争にたいする意識が軟弱であり、態度がはつきりしない」というのが第一の「総括」の理由。

「髪は短く切られ、顔や胸には、卵大の出血があった。リンチがはじめられたのは一月下旬。榛名山アジトだった。闘争にたいする意識が軟弱であり、態度がはつきりしない」というのが第一の「総括」の理由。



山本 順一

すらと髪の毛はえており、八か月の胎児としては順調な成長ぶりだった。

金子は仲間の間では旧姓の「堀江みちよ」で通っている。「野口優子」というペンネームを持ち、京浜安保共闘の機関誌「解放の旗」に論文を書いたこともある。四十四年春の同派結成以来の活動家。

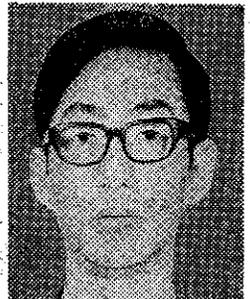
父親は会社員、母親は小学校副校長というぐまされた家庭に育った。兄は大会社のヨーロッパ

最後に殺され最初に発見

山田 孝(三)

遺体が見つかったのは、三月七日。場所は、妙義山アジトから約五キロ離れた群馬県甘楽郡下仁田町西野牧の千駄木山中。スノーピーク道の終点からさらに奥にはいった杉林の土中に、あおむけに埋められ、体には、十五個もの大石がのせられていた。

遺体が見つかったのは、三月七日。場所は、妙義山アジトから約五キロ離れた群馬県甘楽郡下仁田町西野牧の千駄木山中。スノーピーク道の終点からさらに奥にはいった杉林の土中に、あおむけに埋められ、体には、十五個もの大石がのせられていた。



山田 孝

殺された理由は――。山田が京都大学大学院にいたという経歴だけで、革命の実績がないのに、赤軍派の政治局員や連合赤軍の中央委員になった。それなのに、仲間と闘争を指示し、自分がかんたんな実践活動をするだけで、いっばしの闘士のふりをし、死をかけた階級闘争のすべてを、受け持っているような思い上がった考え方をしていた。こうした態度は、革命戦士としてあるまじきことで、闘士の中で貴族的な存在となること、反革命的である。

人民裁判の裁判長、森は、大阪市立大学出身。京大、同志社大生が主流といわれる赤軍派の中では、学閥からはずれており、京大出身の山田に、コンプレックスを持っていたらしい。

また、理論的には、山田のほうが、森よりも進んでいたとみられ、森が山田

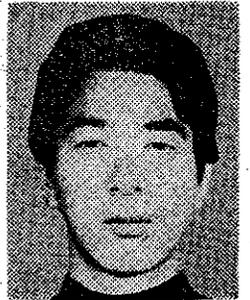
また、理論的には、山田のほうが、森よりも進んでいたとみられ、森が山田

りつけた。続いて、森、坂口弘、坂東国男が同じようになぐられた。このあと、全員が鉄拳を浴びせかけた。ぐったりした金子に、リンチはなおも続けられた。身ごもった腹部をなぐられた金子は、うめき声を上げてガクンとアゴをおとしたという。「生き続けたい」と祈ったことだろう。吉野の裏切りをなじったか許したか、それはわからない。

「お腹のこどもを、引きずり出せ」と、水田がわめいたのはこの時だ。しかし、さすがに全員が反対したため、実行されなかった。

このとき、吉野は現場に居合わせなかったが、仲間から伝え聞いたさい「総括は当然だよ」とうそぶいていた。

裏袋に入れられ、迦葉山アジトへ運ばれたあと、土間の柱にくくりつけられていた。ここでも、集団リンチが加えられた。死んだのは二月八日。この間、一度も食事が与えられなかった。きつくしばられた手のナワをほどき、胎児をいたわるように、両手を腹のうえにあてていた。



寺岡 恒一

大学院に進んでからも、当時の社学同統一派の学生らと共に、理論的な活動をしていった。

四十四年五月二十日、京都市内の書店の争議に関係し、傷害容疑で逮捕された。保釈中の四十五年五月には、指名手配中の塩見議長をかくまった疑いで、警視庁につかまっていた。

その前後に、森ら三人で、地下の政治局を結成し、局長となつた。森が軍事組織を、山田は理論を担当。同年十月から四十六年一月までは、京都府置所に収監されていた。

党建設と組織拡大を主張していたため、M作戦当時は、一時活動から離れていたが、昨年九月ごろから、再び森らと接触するようになった。

埼玉県越谷市蒲生旭町のアパートに、妻のてる子さん(三)と長女、なお子ちゃん(一年三か月)がいる。

(イラスト・佐藤 朗)

赤軍事 生存者の、の 刑はこ うなる!

検察陣が手ぐすねひく
「共謀共同正犯」という
伝家の宝刀



「あさま山荘」事件で死
亡した内田尚幸警視長

「総括」という名の死刑判決が、それまでいっしょに闘ってきた同志たち十数人に次々とくだされた。「人民裁判」という彼らの法廷で——。こんとは皮肉なことにも、判決をくだした彼ら自身が体制側の法によって「総括」されようとしている。果たしてどのような裁きが彼らを受け付けているのだろうか。ここに「一線」で活躍中の三人の高名弁護士から、判決の結果を予想してもらい、あわせて裁判の問題点を洗い出してもらった。

「人民裁判」とはいかない

「ラーメンを、一つ余計に食べた。食の意地が張って、物質欲が強い」「お前の目は革命家の目をしていない。反省せよ」
「総括」という死罪をいい渡してきた連合赤軍の森恒夫、永田洋子らは、こんどは逆に「総括」される羽目となった。しかし、森、永田らが「人民裁判」と称した手取り早いやり方ならば、彼らが処刑した十二人と同じように、いともスピーディにこの事件のケリはつくが、ここは連合赤軍のアジトでもなければ、アメリカ南部のリンチ横行の時代でもない。レッキとした法治国家の日本である。

「あんなやつらは死刑にしてしまえ。それができなければ、どうせ気違いなんだから一生監禁しとけば安心だ」などといった町の声は、それこそナンセンス
「これは正に前代未聞の犯罪でしょうね。大勢の人間が大勢を殺す、それも味方も敵も殺すという、銀行強盗から始まってリンチ事件、あさま山荘銃撃戦とエスカレートして、頂点に達したところでバクられている。罪

「法律の定める手続きによらなければ、その生命、もしくは自由を奪われ、また、その他の刑罰を科せられない」という憲法三十一条があるのだ。さらに三十七条では、迅速な裁判を受けられることになっている。
ところが、一般に公安事件の裁判は、ものすごく長い。一審判決で四―五年、最高裁まで持ち込んで十年などという気の遠くなるようなものばかり。新聞などに結果が発表されるころには、いったい何の事件だったのか、世間はほとんど忘れていたといったあんないである。

事件を殺せ

ば死刑は減る

「公安事件」というものは、裁判に時間がかかることになっている。それと

- ★三井護士のプロフィール
A氏・新左翼系の弁護を多く手がけている第一線の少壮弁護士。いわゆる進歩派グループ。三十六歳。
- B氏・現在中核派の弁護を引き受けているが、とくに左翼系というわけではない。刑事弁護士。三十八歳。
- C氏・刑法改正の委員をしている実力者。五十四歳。

も、一つには審理の期間というのは、弁護側にとつてなかなか重要な意味を持っているから、場合によっては引き延ばし戦術をとることもある。また確信犯として、外部での政治闘争を法廷に持ち込み、主義主張をくり返して、権力に対抗しようとするからである。
「事件を殺す」という言葉が最近の新左翼系弁護団の間でよく使われる。これは弁護する側の戦術の一つであるが、時間をでるかぎり引き延ばして、事件発生当時の国民感情や裁判官の記憶をぼやかしてしまおう手だ。
「私の知り合いの裁判官ですがやはり、長いこと法廷で顔を合わせていると、情が移ってくるらしいですね。そんなことから、死刑なら無期、無期のところを有期刑というふうになっってしまうこともある、といっていました」(B弁護士)

「そういえば大菩薩峠の『福ちゃん荘』で軍事訓練中に捕まった事件のときも、全員ぶち込め、無期だ、死刑だという論調がかなり多かったと思います。が、その後変わってきて、実刑が必至と見られていた連中がほとんど執行猶予だった。今回の事件だって、国民感情に押されて死刑にという論調が多いが、あんなに判決時には死刑は二人ぐ



「頭と足を交互に向けた、四人の死体が発見された穴縄デ―だが、これは国選弁護士まで拒否して心証をかなり害したと見られ、最高二年から十月まで実刑を課された。三年以下の刑は、情状により執行猶予が認められているから、以上の判決はきついと見てよい。
そこで簡単に引き延ばし戦術がどれなくなる。裁判官の心証をよくしようとすれば、こんど



森 恒夫

永田 洋子

坂口 弘

坂東 國男

吉野 雅邦

は逆に、法廷闘争を放棄して、徹底的に審理に協力して、事実を速かに認め、裁判を早く終わらせるようにする。

共謀共同正犯で一網打尽に

一方、検察側はどう出るかというところ、共謀共同正犯一理論で全員を殺人罪として起訴する。この「共謀共同正犯」というのは、実は刑法の条文から、直ちに導き出せない理論で、昔の大審院当時の判例からきている。「個人責任主義」という点からみると「団体」に責任を負わすというのは少しおかしくもあるが、実際的には確立されて

勢を見て決めることになろう」と、この事件の弁護を引き受けると思われる人の発言にもあるように、そのところは微妙である。「早くするから選らされるかは、情

いて、検察側にとって至極便利な伝家の宝刀といったところ。たとえば、あさま山荘事件の五人のグループについて、これを適用すると、全員に同じ責任を追及することとなる。坂口以下少年までを含めて、殺人、同未遂、不法監禁、住居侵入、爆発物取締罰則違反、公務執行妨害の七つの罪名がかぶせられ、共通の意志があったとして、だれ

が何をやったかは、どうでもよくなる。「山荘内の事実認定は、共謀共同正犯理論をとるということで問題でなくなる。序列をつけるくらいだろう。殺人という責任は全員逃がられない。まあ刑で多少の軽重はあるが……」(C弁護士)

そして一連の事件は、連合赤軍という一つの組織が計画、実行したということになれば、逮捕された全員が共謀共同正犯とされる、という見方もある。がそこまで網が広げられるかどうかは、疑問が広がられるのではない。前述のC弁護士は「森、永田があさま山荘事件での共謀共同正犯であるかどうかは疑問」と

首をひねる。「しかし、こうスラスラと吐いているところはみると、検察側にとっては案外楽な事件じゃないですか。M作戦とかP作戦とか、細かい事件の事実関係解明を、はっきりさせるのがめんどろだが、まあブツは出そろったということでしょうね。あさま山荘はテレビで撮られていて、警察も三千コマのフィルムを調べているというし——」とC弁護士はいう。

青砥 幹夫

植垣 康博

伊藤 和子

寺林 真喜江

奥沢 修一

となるだろう。

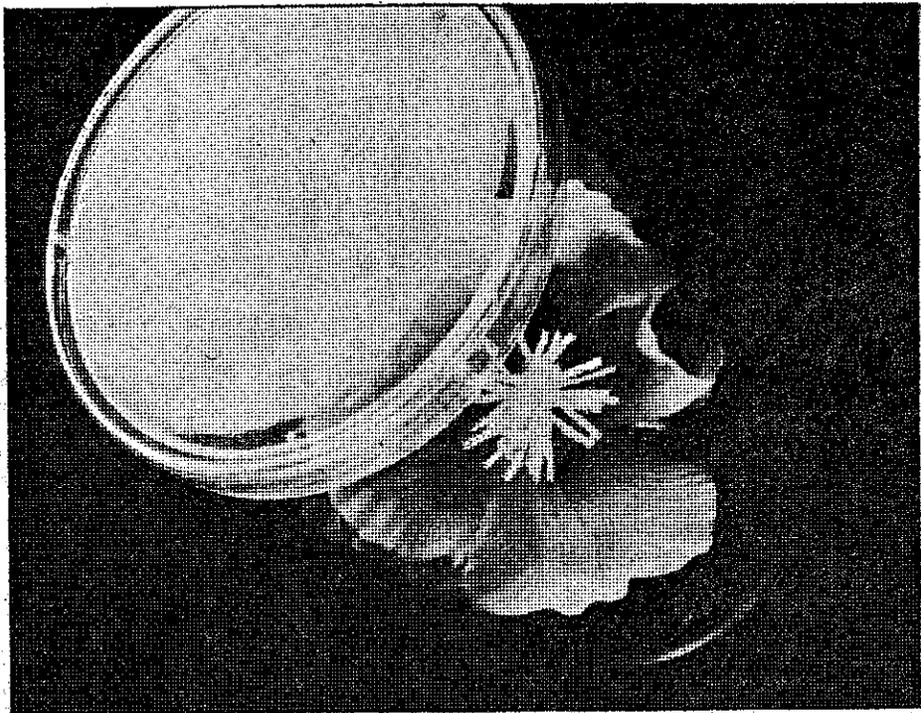
五人の死刑は動かない

こうした裁判進行上の問題点

をふまえた上で、それでは実際にどのような刑が彼らにくだされるか、三人の専門家に推定してもらったのが別表である。▼A弁護士 森、永田の二人はどうかでも死刑は免れない。

犯人名	罪名および犯行経緯	判決A弁護士	判決B弁護士	判決C弁護士
森 恒夫(27)	森林法違反、公務執行妨害、殺人未遂、爆発物取締罰則違反、火薬類取締法違反、銃刀法違反、死体遺棄(リンチの殺人容疑)(森は明治公園爆弾事件の犯人容疑もある)	死刑	死刑	死刑
永田 洋子(27)	(永田は丹沢アジトで2人殺害の疑いがブラスされる)	死刑	死刑	死刑
坂口 弘(25)	殺人罪、同未遂、不法監禁、住居侵入、公務執行妨害、銃刀法違反、爆発物取締罰則違反、火薬類取締法違反、死体遺棄	死刑(無期)	死刑	死刑
坂東 國男(25)	(坂口)銃撃戦指揮者。田中保彦さんを射殺の疑い。リンチ事件にも重要な役割	死刑(無期)	死刑	死刑
吉野 雅邦(23)	(坂東)内田警視長を射殺。M作戦の実行隊長。リンチ事件参加	10/15年	懲役3年執行猶予5年	10/15年
加藤 倫教(19)	(吉野)高見警視正を射殺。猟銃強奪の実行隊長。リンチ参加(加藤兄弟リンチ事件で兄を殺害)	4/5年の不定期刑	保護観察付	5/10年の不定期刑
加藤 弟(16)		無期/15年	10年前後	10年/無期
青砥 幹夫(22)	森林法違反、公務執行妨害、殺人未遂、爆発物取締罰則違反、火薬類取締法違反、銃刀法違反、死体遺棄	10/15年	8年	8/15年
植垣 康博(23)	(青砥)爆弾闘争の連絡係		5/6年	
伊藤 和子(22)	(植垣)板東の片腕。横浜の銀行強盗		5年	
寺林 真喜江(23)	(奥沢)山岳アジトでの運転手		3年執行猶予5年	5/10年
奥沢 修一(22)	全員のリンチに参加		3年執行猶予3年	
杉崎 ミサ子(24)				
中村 愛子(22)	頼良ちゃんを抱いて御葉山アジトに行く途中脱出して自首(リンチに参加の疑い)	7/10年		
前沢 虎義(24)	「向山」を車内でなくり殺した疑い。渋川で脱走して自首。遺体の運び屋。有印公文書製造			
岩田 平治(27)	ライフル・猟銃をアジトに運搬。リンチにも参加。脱走して自首			
山本 保子(28)	遺体の運び屋。夫のリンチにも参加。爆弾造り			

い。その理由としては議会制民主主義の行きづまりに対して、これを是正する必要がある。合法的手段をもってしては如何ともなすがたいと見て非合法手段に訴えた。国家的法益に対する正当防衛であるなど。しかし判決本文はこれを認めず、死刑は間違いない。



それが美しい商品なら、そのままの姿を見せることがパッケージの務めではないでしょう

さながら衣裳のごとく

か。大日本印刷PAC (パッケージング・センター) が開発した透明パッケージ(シースルーパッ

ク)。商品の魅力が生き生きと伝わります。パッケージとは、このように商品ひとつ

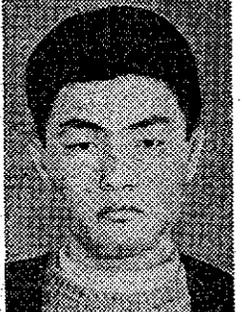
ひとつの個性を生かしてつくられるべきもの。華やかに・スツキリと・使いやすく・装飾

的に——大日本印刷PACは、衣裳のごとくに個性的にパッケージを創造しているのです。

プリントピアをめさす



杉崎ミサ子



前沢虎義



中村愛子



岩田平治



山本保子

このグループの上位三人は、だれかに強制されて山荘事件を起こしたとはいえないし、しかも公務執行中の警官を殺したことになるので、罪は重い。

坂口は実質的なこの事件のリーダーとして死刑は避けられないだろう。坂東、吉野は実際に警官等を殺したのではないことがわかれば、無期になるかもしれない。加藤兄弟は強制されて犯行に加わったという感じが強いので、期待可能性がうすいと考

え、こう判断した。もちろん弟のほうは未成年を考慮してさらに減じた。
▼B弁護士 リンチ事件の幹部としての責任、山荘で関係のない幸田泰子さんを閉じ込めて監禁した罪、さらに警官隊に対するむだな抵抗の末、死傷させたことへの責任、リーダー格であったことなどを考えると、死刑は動かせない。坂東もほぼ坂口に準じる。吉野は殺人を自分で実行していなければ無期も考えられる。もし実行正犯の事実が

自首しても少し軽くなる程度

認定されれば死刑。加藤兄弟は少年時の犯行でやや軽くなる。リンチ事件についても消極参加ということを考慮し、あさま山荘にもムリヤリ連れていかれたという事情を想定して、軽くしてやりたい。

とくに兄は次の犠牲予定者だったという点で、積極参加する意志は考えられない。また特殊な家庭環境をも考えて、どう
■軽井沢駅で逮捕されたグループ(左から、植垣、伊藤、寺林)および妙義山付近で逮捕されたグループ(奥、杉崎)の六人のグループについては、この予想判決を行なった時点(3月19日)では、犯行の事実関係が、出そろっていないので、ややズレが生じている。全般に兵士クラスという点で、軽くなっているのが特徴。

▼A弁護士 リンチ事件は、とにかく大量殺人ではあるが、考

しても助けてやりたいというのが私の感じだ。弟についても同様。実刑とギリギリの線で執行猶予としたい。

▼C弁護士 坂口、坂東、吉野のうち、直接警官が民間人を狙い撃っていない者がいれば、死刑は免れて無期となろう。加藤兄弟は少年法の適用を受け、十八歳未満の弟は死刑はない。しかし、いずれも実刑相当と見る。

士連中は、これに巻き込まれると軽くすむものも重くなる。自分たちは単に手足として動いたのであって、共謀性はなかったという筋を通せば、極刑はまずありえない。また共謀性があつたとしても、期待可能性がなかった、すなわち身を守るためにやむをえず手をくだした、という点にすれば、無罪も可能である。こんどの事件で無罪は虫がよすぎるとしても、死刑だけは助かる。

▼B弁護士 リンチ事件にどうかかわったかが問題だが、兵士クラスは、いずれは総括される予定の者が多く、それを考慮すれば極刑や無期はないのではなか。それと公判廷での態度が大きく影響してくると思う。予想判決に数年の差があるのは、一つには次の被害者になる度合いの強弱で一つは女性に少し軽くなるのが通例だからである。

▼C弁護士 集団リンチ事件は一般の人間を、殺したのとは違う。加害者イコール被害者でも

あるという兵士たちに対しては殺人罪の刑をそう重くは見ないだろう。あさま山荘グループ以外は最高刑にはならない。せいぜい有期刑——森林法違反、爆発物所持、死体遺棄——にすぎない。

■自首グループ(前沢、中村、岩田、山本)自首といっても正確には「出頭」にすぎないのであって、法的な「自首」とは違う。ことが露頭してから出てきたのでは、何ら法的な減刑事由とはならない。情状でいくらか軽くなるという程度。

▼A弁護士 あさま山荘事件にも関係して、リンチ事件にも大した役割を果たしていないとすれば、こんなところか。

▼B弁護士 中村は脱出理由がもしグループを抜けていくために、ということならば執行猶予はつけてやりたい。他は早い時期に脱出してれば軽い。

▼C弁護士 いずれも実刑ということになる。執行猶予は無理だろう。

<ドキュメント>

戦前・戦中・戦後のリンチ事件

大杉事件から帝銀大量殺人劇まで

戦後のリンチ事件

人間が極限状態におかれたとき、真っ先に
行なわれるものは何か。個人と集団の差
はあっても、SEX、リンチ、殺し合いがエ
スカレートする。とくに戦争はその代表的な
例だが、ここにニッポンの戦前、戦中、戦後
のリンチ事件史を追及してみた。

震災の混乱に乗じて連行

大正時代の異色革命
思想家、アナキスト
大杉栄(三八)当時と
妻伊藤野枝(二九)当
時、甥の橋本(二三)が、関東大震災の大混
乱に乗じて行なわれた
朝鮮人大虐殺という異
常事態を背景に、憲兵
大尉甘粕正彦の手で虐
殺されたかのように
世間は、まだ信じてい
る。

甘粕による大杉
虐殺事件は、関東大震
災から十五日後の大正
十二年九月十六日午後
八時から九時十五分ま
での間に、発生したも
のだった。それに事件
現場も、その頃大杉夫
妻が住んでいた東京・
淀橋区柏木三七一の一自
宅ではなく、東京憲兵隊本部
(当時麹町)の、階下応接室と分
隊長室の二か所が、凶行現場で
あった。

大杉栄は、明治十八年、しつ
けの厳しい高級軍人の家庭に生
まれていた。父のいっつけ通り
名古屋の陸軍幼年学校にはいっ
たが、その頃からクロボトキン
のアナキズムに心酔、放校さ
れ東京外語(現在東京外語大)の
フランス語科に移った。

外語を卒業してからの大杉は、
無政府主義者同盟の機関紙「勞
働新聞」を発刊、社会主義運動
の道を進みつつあったのだが、そ
の間、何度検挙されているか
しれない。

大杉栄といえば、当時だれ知
らぬ者がなく、いづれ有名になっ
ていた。

大正十一年秋、大杉は、ひそか
に日本を脱出、ベルリンでひら

たちを女中にあずけ
て、野枝と妹のところ
へ出かけて行った。帰
途を甘粕らが待ってい
て、

「憲兵隊まで同道して
ください」
と、いった。森曹長
がである。

「とこ角自宅へ」と、
大杉はいつたが、その
まま淀橋警察に連行、
そこから自動車で三人
を麹町分隊に拉致し
た。午後六時頃だった
という。

まず、東憲本部隊長
室に、三人の身柄を移
し、夕食をとらせた。
時間は八時近い。夕食
を終えるのを待って、
森は甘粕の命令で大杉
を階下の応接室に連れ
て行き、向かい合っ
てかけた。

時計が、ちょうど八
時を指していたとい
う。

大杉の背後はドアに
面して、そこへ甘
粕がはいって行き、隙
をみて大男の大杉を小
柄な甘粕が、背後から
右腕で首をしめた。左
手は、もがく大杉の右

手をぐいとつかみ、そのまま二
人は床に倒れた。それから
甘粕は、大杉の背に強く膝を当
てがい、更に強くしめあげ、弱
ったところをみて、用意の細引
きを首に巻きつけ、大杉が悶絶
するまで部屋中を曳きずり回し
た。それを森は、ぼろ然となが
めていたという。

野枝もまた、分隊長室に移さ
れ、夫と同じ方法で殺された。
殺すまえに甘粕は、

「兵隊が、バカにみえてしよ
うがないだろう。もつと混乱が
つづけば、と考えてんだらう」
ときめつけたが野枝のほうは
「あなたとは、思想がちがうか
ら…」と、笑って相手にしな
かった。

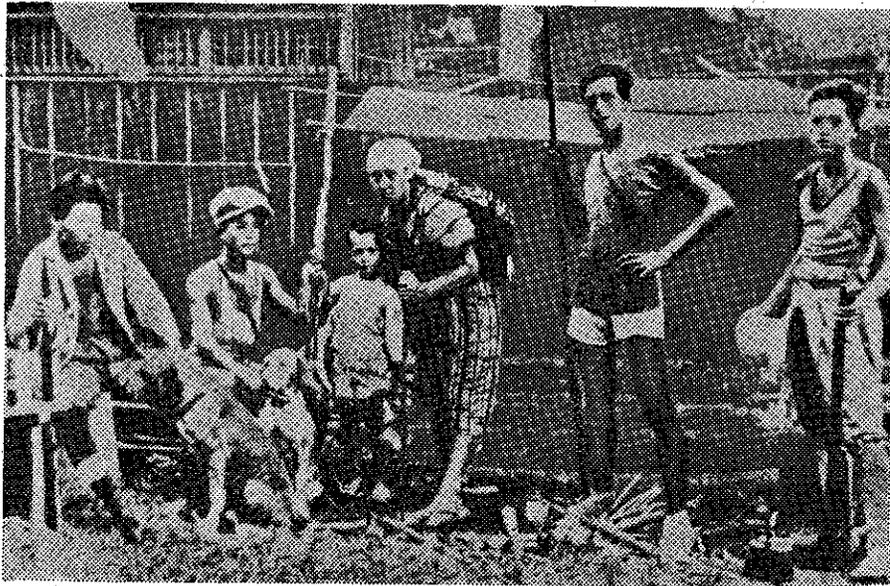
それまでおとなしくしていた
宗一が、異常な気配に気づいて
泣き騒いだため、これも甘粕が
扼殺した。

遺体を裸にして隊の火薬庫そ
ばにあった古井戸に投げ込んだ
のは、森と鴨志田、本田、平井
の三上等兵だった。甘粕はほか
の場所でも処理したかったらしい
が、部下が外部へ運び出すのを
いやがったのだ。遺体を完全に
隠すため煉瓦をやらと投げ込
み、翌日、土やごみを人夫に運
ばせて井戸を埋めてしまった。
衣服や所持品は焼きすてた。
が、事件が発覚したのは、犯行

かされる無政府主義者大会に出席
しようとして、マルセーユ港に
上陸して間もなくつかまり、日
本に強制送還された。

その頃から甘粕正彦は、大杉
栄、櫻井、福田狂二などの社
会主義者を、何とかすべきだと
考えていたが、具体的な行動に
でるまでの決心を、抱いていた
わけではない。たまたま関東大
震災が起こって、未曾有の混乱
状態を迎え、不逞朝鮮人の暴動
などというデマがまことしやか
にとび、いっせいの混乱と狂気
に東京が支配されると、こんな
状態を利用して大杉たちは、好
機とばかりに混乱を増幅させ、
社会不安を煽る気だろう、これ
を機会に殺すべきだと甘粕は決
心した。

「あくまでも私個人の考えによ
る行動」
と、甘粕は軍法会議で述べた
が、事件を起こす当日、部下の
森憲兵曹長を連れて、淀橋区柏
木の杉家を朝から見張って、
機会を狙っていた。が、虐殺時



関東大震災—暴動に備える横浜の自警団

裸の遺体を古井戸へ投げ込む

大杉栄と妻野枝、娘の摩子は、
柏木方面がそうひどく地震の被
害をうけなかったためもあった
し、野枝は男の子を生んだばか
りの産後の体だったため、地震

の状況から考えて、森がどこま
で甘粕の真意を捕捉していたか
は不明だ。

甘粕は、その年の八月末まで
病気で、勤務先の麹町憲兵分隊
を休んでいたのだが、朝鮮の平
壤に転任しろ、と命令が出てい
よう、すっかりくさっていた。ち
ょうど憲兵隊本部に取り消して
くれ、と文句をいに行つたと
き大地震が起こった。当時、麹
町憲兵分隊長が病気がつたた
め、その場で甘粕に麹町憲兵分
隊長代理の命令が出た。

「おとなしく平壤に赴任してい
たら、あんなことにならなかつ
たのだが…」
とは、後年、甘粕が満映理事
長におさまってから側近に洩ら
したことばだったという。

いずれにしても、甘粕はくさ
っていた。分隊長が治り次第、
平壤にとばされると考えていた
からだ。

「行きがけの駄賃だ、殺してし
まおう」という気もあつたかも
しれない。

以来、ずっと家に引きこもって
いた。ところが、九月十六日大
杉は、アメリカから病気が帰っ
ていた実妹あやめの子宗一を引
き取って育てるために、こども

小林は逮捕

五時間後に虐殺

四・一六の弾圧のあらしで、
プロ作家小林多喜二も挙げられ
たが、昭和六年一月二十二日、
保釈を許されて出獄した。直ち
に小林は、地下に潜って共産党
再建に狂奔する。しかし、小林

十二年二十日の判決で甘粕は
十年を宣告された。

多喜二の人生は、それからまる二年後の昭和八年二月二十日、凄惨な虐殺で三十歳の生涯を終えた。

「一九二八年三月十五日」「蟹工船」「不在地主」などの名作によって、当時のプロレタリア文学を不動のものにした小林は、党活動の面でも他のプロ作家とちがひ、すぐれた闘士だった。

明治三十六年、小林は秋田県に生まれた。三歳で両親とも北海道小樽市郊外に移り、小樽高商を卒えてから拓銀小樽支店に勤めた。その後小樽では有名だった「日暮裏」の娼婦のもとに通った、というエピソードが残っている。

小林が検挙されたのは、党員との街頭連絡の際だった。その頃、築地署の小林特高刑事が、血眼になって多喜二を追っていた。同姓の小林刑事は、保釈の恩恵にあずかった多喜二が、たちまち地下に潜って活動をはじめた。



大杉栄



伊藤野枝



言語に絶する追及を受けた小林多喜二

めたと知ると、意地でもつかまえてみせると鬼になった。が、かれは多喜二の顔を知らな。

昭和八年二月二十日の、ひどくからつ風の吹く昼頃だった。小林多喜二は街頭連絡のため赤坂区福吉町に現われた。多喜二を追う小林刑事が、どうやら多喜二らしいと勘づいて執拗に追いつめた。多喜二は必死に逃げ回った。その時間は二十分ほどだったという。

つかまつた小林は、あくまでも小林多喜二ではない、と頑強に否認したが、特高主任の水谷が顔を知っていた。それからわずか五時間後に小林は、築地署内で虐殺される。捕えたら殺してしまえという指令が、出ていたという。

新聞社への発表は、「取り調べ中に心臓マヒで急死した。とつ然真つ着になり苦悶し始め、築地病院の前田博士に応診を求め、入院させたが、午後七時死亡した。直接死因は心臓マヒだが、逮捕される際、小林は、二十分ほど必死に逃げ回り、精も根も尽きていながら小林刑事と大格闘をやっていた。それが心臓マヒを誘発する原因になった」ということになった。

ところが、いっしょに逮捕されたプロ作家同盟の今村恒夫が、のちに釈放されてはじめて、小林多喜二が虐殺された事実が、わかった。

まず、小林多喜二が逮捕されると、警視庁の特高係長中川成人が、すぐ部下数名を連れて築地署に乗り込み、取り調べなど一切行なわず、小林を裸に剃り、手にしていたステッキで、ところかまわず打った打ちにした。

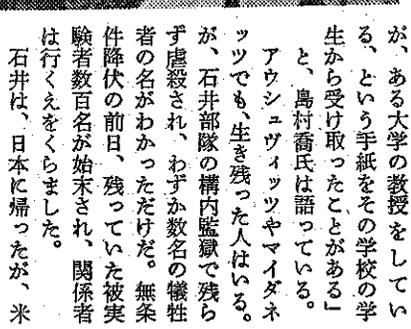
回りの部下たちも殴る蹴るとはす。それでもあきらみず小林を梁（はり）に吊してから、正視に耐えない方法で拷問をつづけた。

の陸軍病院で基礎的な研究に取り組み、その後間もなく陸軍軍医学校教官として、大勢の同僚や部下の協力で本格的な研究をはじめていきます。その頃、石井の助手数名が、奇怪な死をとげ、細菌の鬼、石井の実験の犠牲になったのではないかと、噂があとになってささやかれました。

と、語っている。

「調べてみておどろいた。かれらは被実験者を丸太と呼んでいた。人間とみなしていなかったわけだ。実験してすぐ部隊内の囚人病院に収容し、少しくなるとまた引張り出すというくり返しで、死ぬまで何度も実験をやっている。冷凍実験も行なわれている。担当者は吉村という医師で、厳寒に手を水をかけ、扇風機で風を送って凍らせた。それを吉村は罐でカンカン叩いて確かめる、という残酷な実験方法だった。吉村が、ある大学の教授をして、という手紙をその学校の学生から受け取ったことがある」と、鳥村喬氏は語っている。

「調査の結果判明する如く、満州占領直後の日本参謀本部及び陸軍省は、日本の有名な細菌戦提唱者石井を長として、攻撃的細菌戦遂行のための、急性流行病菌の利用法の研究に当たる細菌研究室を満州に創設し、これを関東軍に編入」と述べているように、昭和十年から十一年にかけて、石井部隊の細菌兵器化の研究は、ばう大な機密費と設備と専門技術者



軍事裁判の甘粕正彦(右端)

破ったり蹴ったりしたばかりでない。キリのような金具でいたるところつき刺し、たばこの火で顔面、手足、臍（へそ）、局部を焼き、それが何と三時間もつづけられたという。

小林は、そうした拷問と闘いぬいた。一言も党の秘密を洩らさなかったという。ついにぼろ切れのようになった小林を、築地署員が留置場に放り込んだ。小林は、最後の気力をふりしぼって、

「ぼくが死（殺）されんだったら、このことをお袋に報らせてくれ。ああ、小便がしたいな……」といった。

同僚の者が、そんな多喜二をかかえて便所に連れて行くと、言語に絶する内出血のため、尿道と肛門からおびただしい血がぽとぽと流れた。

作家江口渥氏の「三つの死」によると、虐殺された小林の遺体が引き渡されたのは翌二十一日である。遺体のあまりのむごたらしさに、おどろきと怒りで声も出なかった。みんな思わず顔をそむけた。下腹部から左右の膝にかけて一面にどす黒く変色していた。内出血のため大腿が丸太のようにふくれあがり、陰茎までが無残にはれあがり、歯は残りず折られ、歯ぐきからぶらぶら下がった歯が、口の外にま

で出ていたという。それから、指だ。これも、一本一本ヘン折られ、突つかれた何か所からもぞくぞく肉が黒くなっていた。

小林多喜二の死因を確かめるために依頼されたすべての病院が、解剖を拒絶した。警視庁の手が、すでに打たれていたというのである。

ところで、虐殺の指揮者中川成人だが、ゾルゲ事件に連座した満日の伊藤上海支局長を、警視庁地下室で虐殺したのもかれだ、という噂がいち時流れたというが、これは真偽のほどは不明だ。

伊藤の死因は結核による急死というところで、満日東京支社に通知があった。当時通信部長だった作家の島田一男氏や鳥村喬氏（当時満日記者で東京支社勤務）それに郷里長野からかけつけた伊藤夫人が、浅草の巖松寺で通夜をし、下落合の火葬場でだびにふしたが、そのとき警視庁からの香典は、三百円だったとい

る。

独立・転業・副業のチャンス!!

職業研究会
会員募集!!

少いモトで出来る
これからの花形商売

※内容
アパートでも出来る有利な商売「セーブルス」
有利な金もつけ
動人の副業に適した有利な商売「場末でもサカリ場の商売」
しのご利益を上げる商売

趣味の切手販売、アイレット引受業、テレホンサービス、ペーパーランド、大人の玩具販売、衛生具の販売、ビュックリン販売、アロマオイル販売、アロマセラピー販売、宝石販売、等約一〇〇種

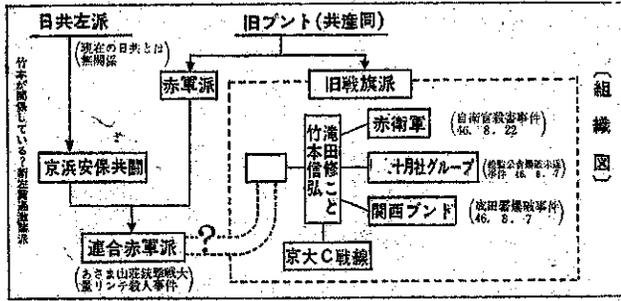
※内容
得意先のみつけ方、商品の仕入れ先と仕入れ法指導、各種商売の裏表と販売技術の指導、販売及び子算にのびた宣伝広告の徹底指導、通信販売及び通信教育の指導

詳しくは〒165円開封して資料を請求下さい
東京都文京区本郷二丁目五十六番地
電話(03)3448800
経営情報センター S

昭和十七年十月末のことである。戦時一色にぬりつぶされた日本の支配者は、虐殺の対象をカライイ国満州や各占領地区に移

大虐殺、三千人の生体実験

月九日のことだった。同県警の調べによると、竹本は昨年春、菊井と知り合い、その後、東京、大阪、京都などの料理屋で、しばしば菊井と合っていたが、菊井と共謀して東京・練馬区の米軍グラウンド・ハイツを襲ってピストルを奪う計画を立て、菊井らに実行を指示（八月十二日早朝、菊井らが実行に移したが、衛兵がピストルを持っていなかつたため中止）、さらに朝霞駐屯地襲撃についても同じような共謀と指示を行なったという。



事件だけでなくとどまらなかつた。調べが進むにつれ、昨年八月七日に起きた「十月社グループ」の監視施設公舎爆破未遂事件、「関西ブントグループ」の成田署爆破事件にも関連、そのほか十月二十三日の関西ブント軍事地下組織「R.G.(エル・ゲー)の東京・板橋署中宿派出所など五か所の襲撃事件でも、指導的役割をはたしたと見られるようになったのだ。

そして竹本自身は、指名手配を察知してか昨年十二月二十三日に京大経済学部へ公務員ペアにもなる給料の差額を取りに来たのを最後に、大学から姿を消した。

その後の捜査で同年末から一月十日ごろまで大阪府寝屋川市日新町一四、英語教師森藤子と大川ひろみ(ミ)のアパートにひそんでいたことがわかつているが、いまだに足取りはつかめていない。

もちろん、竹本が、これらの事件を本心に指揮したかどうかについては、異論をはさむ人たちも少ないではない。京大で四十四年の長期紛争を経験し、竹本を知る法学部大学院生は、「まさかあの男がねえ、理屈はこれらが自分で行動するようないタイプじゃないですよ。単なるアジテーターにすぎませんよ」

と首をかき上げる。

また竹本自身、菊井逮捕の直後、親しい仲間などに、「たしかに菊井とは一年前から会っており、ボクの論文を読んでいるといって彼のほうから積極的になつてくれた。しかしどうもいよいよ活動家タイプの学生とは違ひ不審に思っていた。また菊井は右翼や勝共連合関係者の名をあげて接触があると言っていたとも聞いており、正体不明の男だ」

と、菊井との、特別の関係性を否定、事件にも無関係であることを断言していたという。

ともあれ、こんどの竹本指名手配のショックを京大、とりわけ竹本が助手をしている経済学部がもろにうけたのはいうまでもない。

「事件については新聞報道などで伝えられることだけしかわかりませんが、何ともお答えのしようがありません。ただわたし個人としては、竹本助手に報道されたような事実がなかったことを願っています。もし無実なら一日も早く姿を見せて事情を話してほしい」

と前田敏男・総長も暗い表情で衝撃の大きさをかくしきれない。

それが、竹本を学生時代から学者として指導してきた出口勇



機動隊におどろかされる京大生たち

蔵・経済学部教授(経済学専攻)になることさらに深刻だ。

「私がちょっとした病気で入院しても、真つ先に、見舞いに来るような義理がたい男でしてね。事件に関係するなんてとても信じられない。彼が関係しているらしいというウワサを聞いた昨年、一度私の研究室に呼んで、いろいろ君のことがいわれているがどうなんだと、聞いたことがあるんです。そしたら彼、手でグンコツをつくって私のまえに突き出し、ボクはこん

なもの見たことありません。大丈夫です」といいました。グンコツは爆弾の意味なんです」と、義理がたい男、竹本をさかんに強調する。

竹本問題では、経済学部教員協議会も大いに混乱した。かんじんの竹本の行くえがわからぬのだから、犯罪事実を確かめようがないのは勿論だが、無断欠勤の給与をどうするかが当面の大問題だ。一月分の給与は、学部事務室まで取りに来た妻に手渡したものの、二月分については、待たせをかけるを得なかつた。深夜までケンケンガクガクの討議のすえ、給与支払日の二月十七日の直前になって、「本人と連絡がとれるまで給与は、保留」とし、本人以外の代理人には渡さない」というやく方針を決定、竹本の家族にも通告した。

ところが、これはこれだけで済まなかつた。決定が発表されるや学内の竹本シンパのヘルメット姿の学生、教員数十人が連日のように学部長室や教授会につめかけ撤回をもとめて大衆団交。ついには深夜の総長団交にまで発展して「保留の法的根拠を示せ」「大学は権力に身を売ることか」と激しく迫り、教員会議もあえなくダウンした。保留処分を解き、一月分給与と同

いわしめた俗語入りまじりの彼一流の革命理論が登壇することになった。

こうして四十四年四月、京大全共闘機関紙「STRUGGLE」(ストラグル)に「京都反大運動に結集せよ」と題する論文をよせた彼は「戦争のための学問とか、平和のための学問とか、といった矮小素朴な現象的方法で大学を論ずるものがないまな存在している」と批判、「問題のあり方はそんなところにはないのだ。大学の学問は、そうしたこととは一切呑み込んで、大学は、帝国主義市民社会のブルジョアの秩序ブルジョアの分業機構総体の中に、共犯的に位置し、みずからの物質代謝によって、ブルジョアジーの権力意志を代行的に貫徹しているのである。大学はブルジョア秩序の共犯者であり、したがって人民に対する加害者である」

とうたい上げた。そして同紙の同年九月七日号では、全共闘運動の歴史を総括したあと、全共闘の使命は終わったとしてゲリラ活動のためのバルチザン遊撃軍団「バルチザン五人組」の結成を主張、「バルチザン軍団と共産主義共同労働団との同時形成により、個別全共闘を解体し、

では、過激派学生にこれほどの動員力を与える竹本の魅力はいったい何か、竹本の革命理論とは、どういふものなのだろう。

竹本は、昭和十五年二月二十四日、竹本正信・京都教育大名誉教授(農薬化学)の次男として、京都に生まれ、右京区の小、中学校を卒業したのちノーベル賞学者の湯川秀樹・京大名誉教授や朝水振一郎・元東京教育大学長らを送り出した名門・洛北高校へ進んだ。高校時代は、地味でコッソツ勉強するタイプ。学生運動などにかかわることもなく、一年浪人して京大経済学部へ入学した。

大学でも、学部、大学院生時代を通じて「頭のきれいな」学究はだの生活をつづけ、活動家として目立った動きは全くなかつた。とくに大学院に進んでからは、ローザ・ルクセンブルクの研究に没頭、出口教授のことば

そのヘーゲル暴力革命理論

をかりれば「論文はいずれも、大学院生としての水準をぬいており、本人も社会思想史学者としての将来を考え、禪寺にこもるなど熱心な研究態度だった」

無論、研究といっても社会主義者、ルクセンブルクを対象にする以上、「革命」に全く無縁だったわけではない。彼が博士課程に進んだ四十一年、経済学部の論文誌「経済論叢」に発表された論文は「かの女(ルクセンブルク)は終始一貫して、実践を、全人類の解放をその研究の目標とする実践あるいは全人的人間解放と社会革命の実践」としてとらえていたし、またこのような実践のなかに、マルクス主義の真髄を求めていたのである。そしてわれわれもまた、若きローザのこのような実践のうらみ、かの女の思想の最大の魅力を求めることができるであろう」といって、彼自身の感動

のことは結ばれている。

だが、この程度の感動や表現は、社会主義思想を研究する者としては、ごくあたりまえのことであるし、特別過激なわけでもない。むしろ、その後の彼の言動からすれば、予想外にそつげなく、おつにすまじ過ぎた、感さえ強い。

そんな竹本が、活動家竹本として急傾斜をはじめたのは四十四年の京大紛争のころからだといわれる。このころから、当時

の社学同(関西ブント)系活動家学生との接触を持ちはじめ、持ちまへの押し強さや弁舌もつたつた、みるみる反日共系ノンセクト・ラジカルの理論的支柱のし上がっていった。売りの口ヒゲもはやし、研究者から活動家へ、そして「革命家」へ。論文もガラリと変わって、抽象的な学術語と大橋巨泉をして「聞く」と見るとは大連い、もっともボクをひきつけたのは日本語の使い方である」と



「問題のあり方はそんなところにはないのだ。大学の学問は、そうしたこととは一切呑み込んで、大学は、帝国主義市民社会のブルジョアの秩序ブルジョアの分業機構総体の中に、共犯的に位置し、みずからの物質代謝によって、ブルジョアジーの権力意志を代行的に貫徹しているのである。大学はブルジョア秩序の共犯者であり、したがって人民に対する加害者である」

とうたい上げた。そして同紙の同年九月七日号では、全共闘運動の歴史を総括したあと、全共闘の使命は終わったとしてゲリラ活動のためのバルチザン遊撃軍団「バルチザン五人組」の結成を主張、「バルチザン軍団と共産主義共同労働団との同時形成により、個別全共闘を解体し、

＜カラー長編劇画＞

女将軍 永島みよこ



原作・朽木多加志 — 劇画・鳴島 生

サンデー増刊

再編せよ」と叫んでいる。このバルチザン遊撃軍団結成の発想こそ、今日の過激派集団のゲリラ形態、とりわけ、一連の爆撃戦術の理論的基礎とみられるものであり、竹本と、これらの集団とのつながりを証明するカギとさえいわれるのである。

それにしてもなぜ彼らは、血を血で洗う武力革命に固執するのだろうか。広範な国民大衆の支持と参加があつての革命ではないのか。

この問いには、竹本が、四十五年十月、京大出版会誌『序章』(三三)に発表した論文「暴力考」その代償欲求回路への陥没を拒絶せよと答えてくれる。いわく「ブルジョア階級社会の真の(裏の)産婆役は、本源的蓄積過程の暴力、つまり『本源的暴力』起源としての暴力である」と。

つまり、資本主義社会は、もともと暴力によって生み出されたものであり、それ自身が体制秩序を維持するために暴力を備えているとみるわけだ。そして彼はさらに、この本源的暴力が生み出したものは生産力と生産関係、階級、人間関係などの矛盾にすぎず、やがてはこれらの矛盾の中から彼が「展開段階の諸暴力」と呼ぶところの反秩序

派の暴力が必然的に生まれ、これが「結着づけの暴力」へと質的变化をとげると主張する。しかも、この結着づけの暴力が真に革命的なものとなるためには、バルチザン遊撃軍団のような「部隊」が結成されるしかないと考えられるから、革命の方法はいわゆる暴力革命ということにならざるをえない。

こういうふうな彼の理論をたどってゆくと、何かとつものなぐやつかいな理論のように思えてくるが、こうした理論展開そのものは、さほどめずらしいものではない。難解な運動家用語をとりぞいで骨組みだけをながめれば、それが社会とその変革を暴力の力学としてとらえた

ならずもの 教祖宣言

しかし、そんな竹本が京大C戦線をはじめとする過激派集団の理論的支柱であり、教祖たる「得る秘密は、ヒゲのおつきん」や呼ぶにふさわしい独特のタイプとムードにあるようだ。「闘争は、道楽、みたいなものや」「義理・人情を忘れたらあかん」などと関西弁でまくし立て、著書「ならずもの暴力宣言」(労働書店)を出版、三島由紀夫の死についても「全共闘は遅れをとった。やられた、とい

うえでのヘーゲル弁証法の垂流にすぎないことが浮かび上がってくる。

マルクス経済学の古典的歴史観を「暴力」というどぎつこいといえないだろうか。

同じような批判は運動家内部にもある。共産主義者同盟理論機関誌「叛旗」(四十五年十二月)の筆者は「この人は、学生と肩寄せ合い、その意味での大学へのもたれかかりをなくさねば、思想表現も政治表現もダメになる」と、大学助手という地位にふりかかった彼の「甘い」を皮肉り「滝田の位置は暴力の、小商人」に在るのである」と痛烈に批判している。

う感じや」と発言、同志のあいだで物議をかもしたこともあった。昨年四月、ある週刊誌上で巨泉と対談した際にも、「マルクス、レーニンというのは偉い人かと思つてます。わしや胸借りてると思つてます」とガラッパチぶりを発揮している。こうしたことから「本当の革命について語れる男」として、信者、の信頼を集めているが、とにかく竹本という運動家が、こんどの連合赤軍事件の森

や永田のような関東タイプのコチコチの運動家とハダ合いが異なることだけはたしか。この点は竹本自身も認め、先の巨泉との対談でも「パリケイドの中で酒飲むのは不謹慎や、言いよるねん。なんで不謹慎や。おもしろかったあとで酒飲むのは日本人のしきたりやないか。そんなら大衆討議にかける、言うのや、ガキが。シラケちゃってね」ともらしているほどだ。

このため、竹本の「実戦」については、学内でも「雰囲気的リーダーだ」(経済学部助教授)として、あいかわらず指名手配の事実を信じようとしなれない空気が強い。

一方、学究ハダの竹本が、学園紛争という絶好の舞台があつたとはいえ、突然運動家に変貌したことにについては、彼をとりまく竹本教信者の団結力の強さと合わせて一つの見方がある。「経済学部の日共系勢力に対する反作用だ」というのがそれだ。

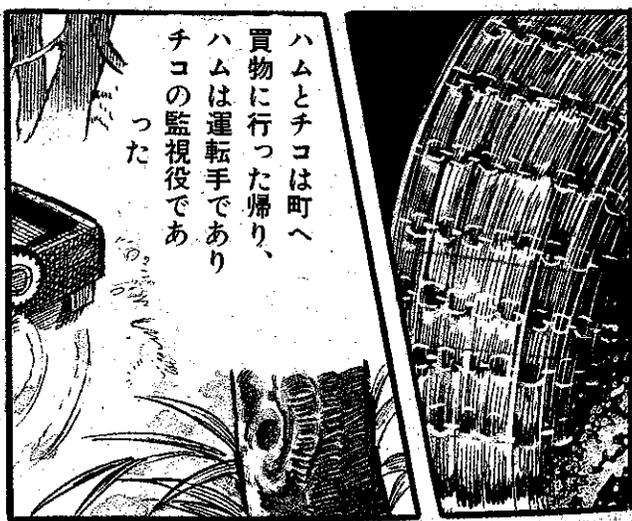
たしかに、京都大学では、東大などと同様、学生組織をはじめとして日共系勢力の力が強いが、なかでも経済学部は、そのウワサが高い。一昨年には、竹本の助手としての任期が切れるのに合わせて、再任を拒否しようという動きさえ教授会内部にあつた。

同じマルクス経済学の立ち場をとるとはいえ、政治的な主張が多少でもことなれば、こうした学部内の雰囲気は居こちが悪い。助教、教授への階級も暗いものになる。

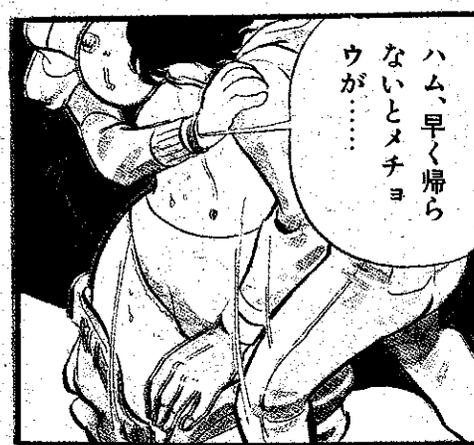
竹本の給与保留が決められたときの竹本シンパのグループの言動は、この見方を裏付けるものであつたといえる。「オイ、代々の連中、おまえらなあ、給料といえは家族のいのちやぞ。給料おさえられて奥さんとかども二人どうやって食つていったらええねん。民主的に決めましたいうかも知れんけどな、おまえらのネライはわかっとなのや。竹本を追いだすええ機会や思つたらんやろ。敵やつたら権力に売りわたしてもええいづのや」

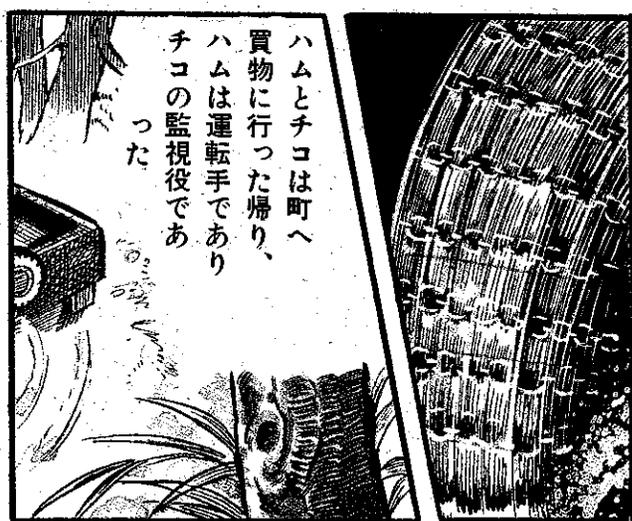
教授会につめかけたヘルメット学生からあびせられた攻撃は、当面の竹本救済の目的をこえて、日ごろのうっ積の爆発に近いものだった。

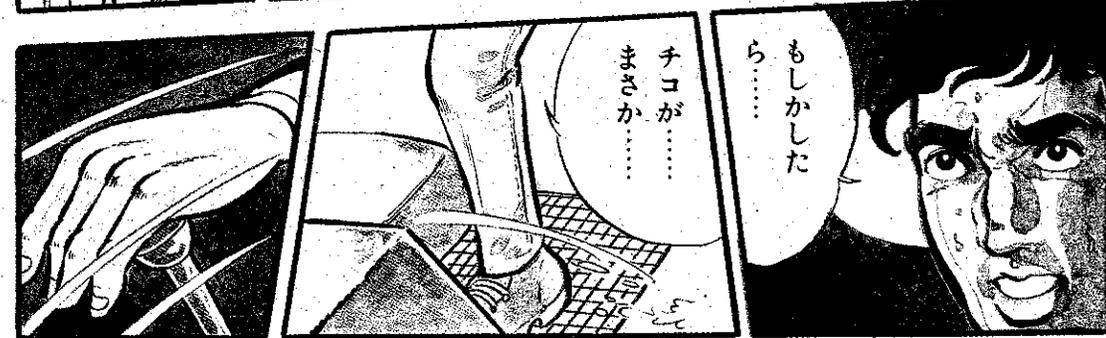
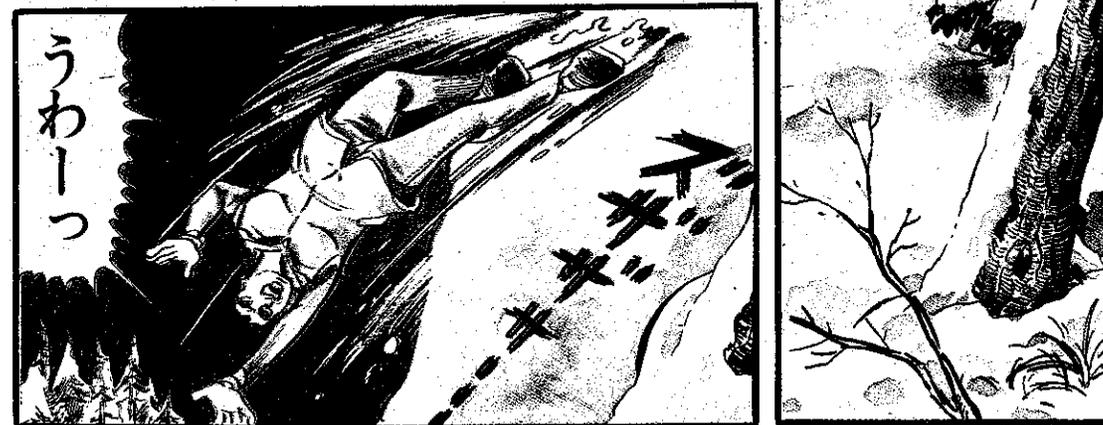
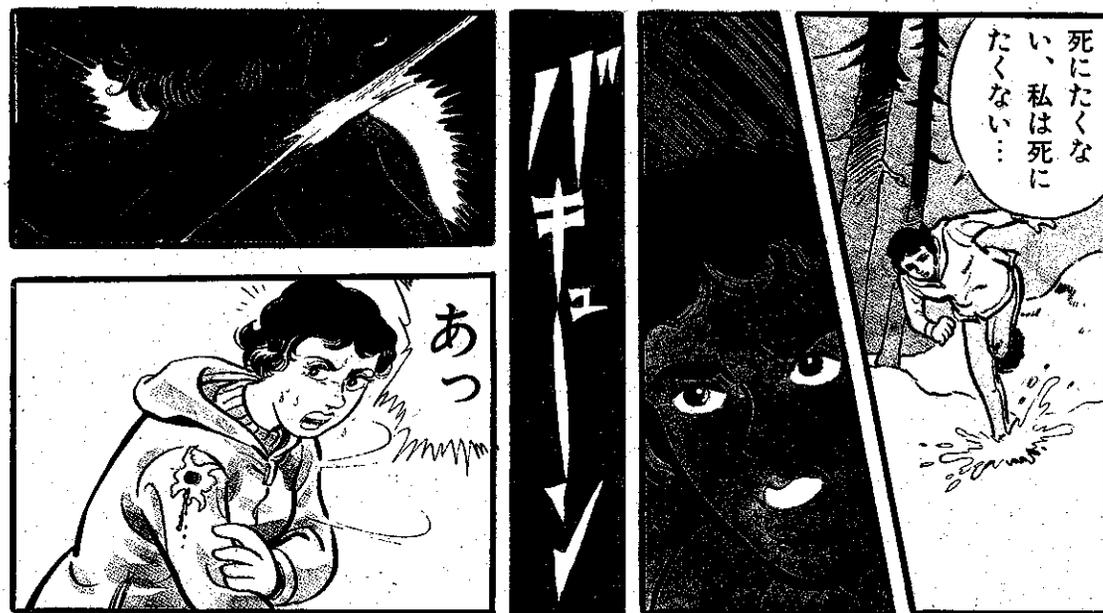
そして竹本は、さる一月十八日、『序章』編集部と「京大大学新聞」に地下からメッセージを届け、こう呼びかけた。「全国的にアサでなく、全国的にヨルなのだ。…全国の友人諸君、断乎として闘い抜こう。私は、ベトナムにされてもへこたれないぞ。」



毛利恒彦と永島みよこを
リーダーとする紅軍派の戦
闘員二十数人は、武装
蜂起のため、雪山の
アジトに結集した。攻
撃目標は首相官邸
襲撃である。









われわれは
革命にだけ妥
協するもの。
あなたは女の情に妥
協しようとした。
だから……



デコは
死んで
わ

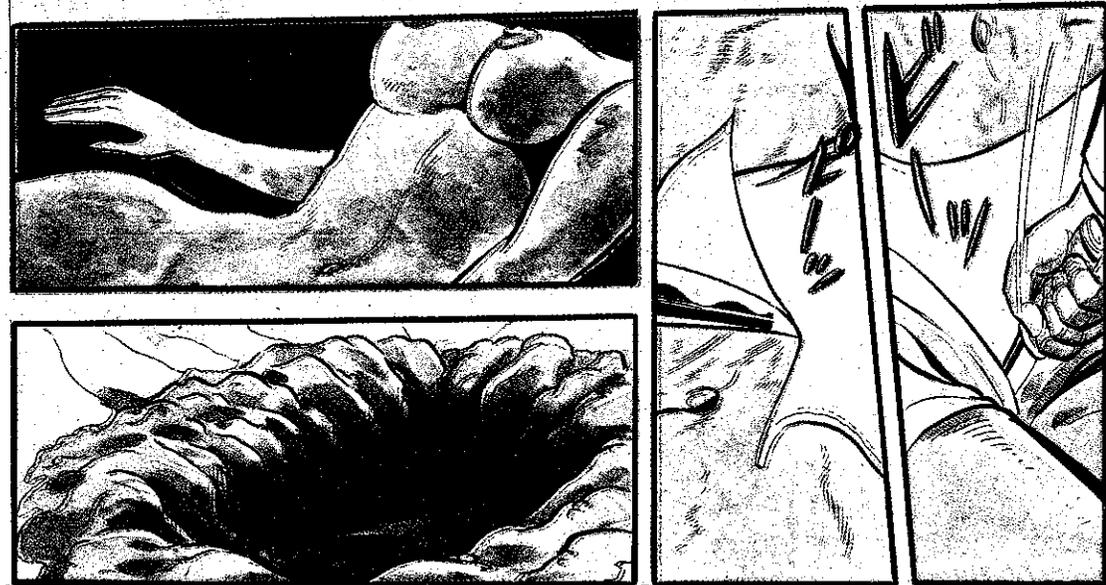
タレ目、あなたは
二、三人連れて
デコを埋めるア
ナを掘るのよ

わかった



ダメだ硬直して服
がとれない

だったらナイフで
切り裂いていいわ



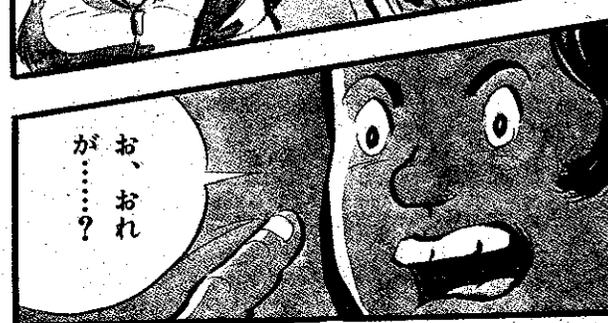
谷川へ落ち
れば、死体は
当分
みつからな
いわ



革命は客を招いて
ごちそうすることも
なければ文章をねったり
絵を描いたり刺しゅうを
したりすることでもない。
そんなにお上品でおっとり
したみやびやかな、そんな
おだやかでおとなしく
うやうやしくつつましく
ひかえめのものではない。
革命は暴動であり一つの
階級が他の階級を打ち
倒す激烈な行動である。
『毛沢東選集』より



政治的スローガンに
対する態度による
区別では不十分で、
武装蜂起に対する
態度によって敵と
味方を区別すべき
である。「レーニン」



お、おれ
が……？



デッパ前に出ろ！



デッパ、総括
に決まったわ



埋めて
ちょうだい



もう同志が
三人死んでいる

つぎはチコを
逃したハムね



モリ、革命の
意欲のない者は
みんな粛清する
のよ！



革命的意志が
弱い、それだけで
十分よ



理由は？

じゃデッパ
だわね



じかしハムがない
とジープを運転す
るものがないく
なる



ヤス、
デッパをなぐる
のよ



あたしには
できないわ
デッパはいい
人なんです
もの



や
や
やります



ヤス、甘ったれるんじ
やないのよ
あたしの命令は
聞けないというの？
あなたみたいなの
優柔不断の分子がいて
は、革命はできないわ



もっと！
強く！



ゆるしてくれーっ
おれが悪かったッ

やめてくれ
おれは
イヤダー！



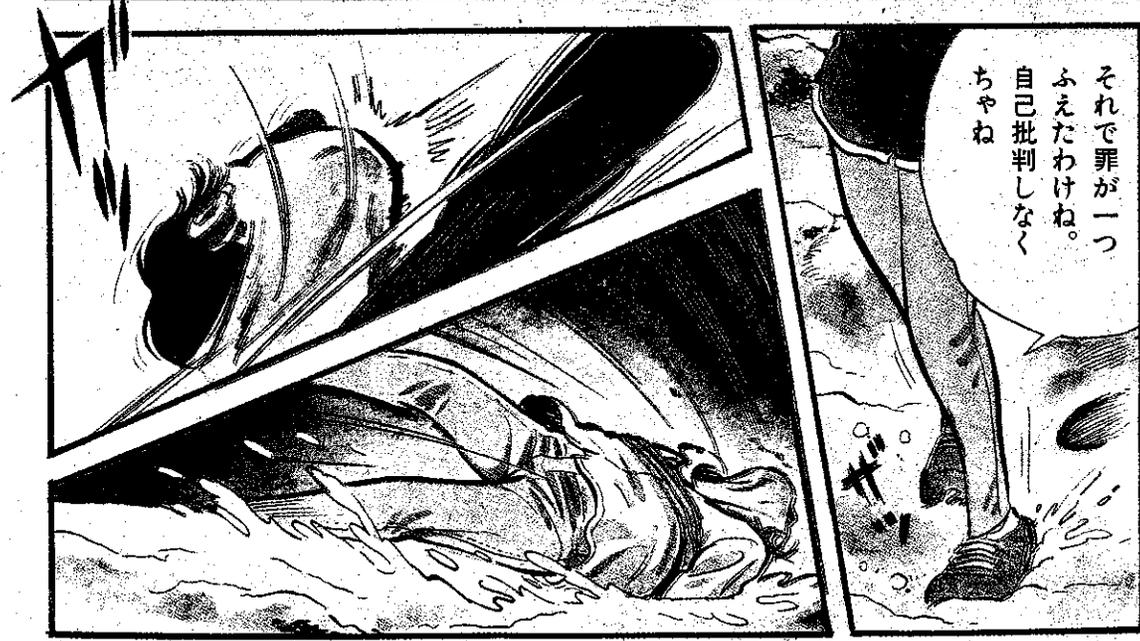
デッパ、いま
あんたは、おれが悪かつ
たと叫んだわね、
何が悪いの

メチヨウ
おれを殺さないで
くれ



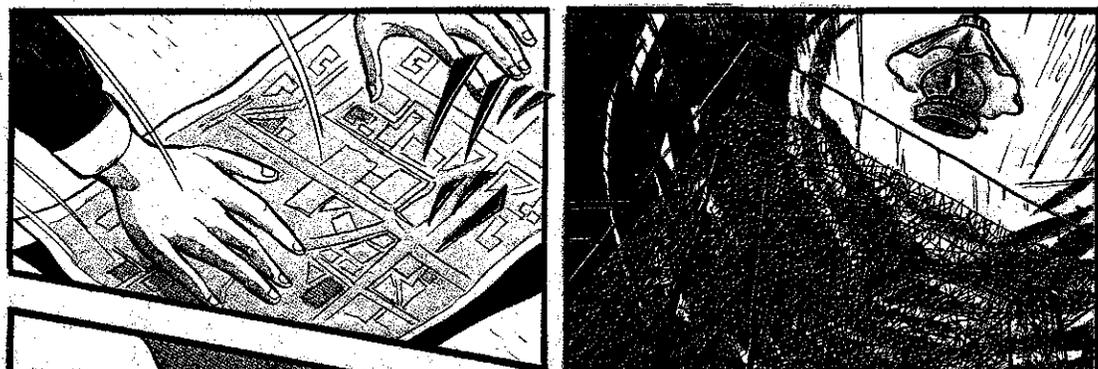
そう知らな
かったわ

おれ……
昨日死んだ
デコに……
ミルクを
やったんだ



それで罪が一つ
ふえたわけね。
自己批判しなく
ちゃね





わかった
作戦を練り直
そう

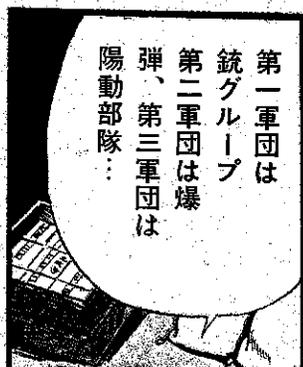
これから
は少数精
鋭主義で
いくのよ
十人いれば
十分



そのときは第三軍団は
東京駅かデパートで混
乱を起こして権力の
犬の群れを引きつけ
るの!



もし第二軍団が
間に合わなけれ
ば



第一軍団は
銃グループ
第二軍団は爆
弾、第三軍団は
陽動部隊!



いい
だろう



いざとなれば
おれよりメチョウ
のほうが強い。実
践力がある



モリ、何でも
私のいう通り
なのね



第一軍団が先に
襲撃して、第二軍
団はあとから駆け
つける



ゲタも裁判に
かけなければ
ならないよう
ね



許して下さい
メチョウに忠節
を誓います!

信用
できないわね

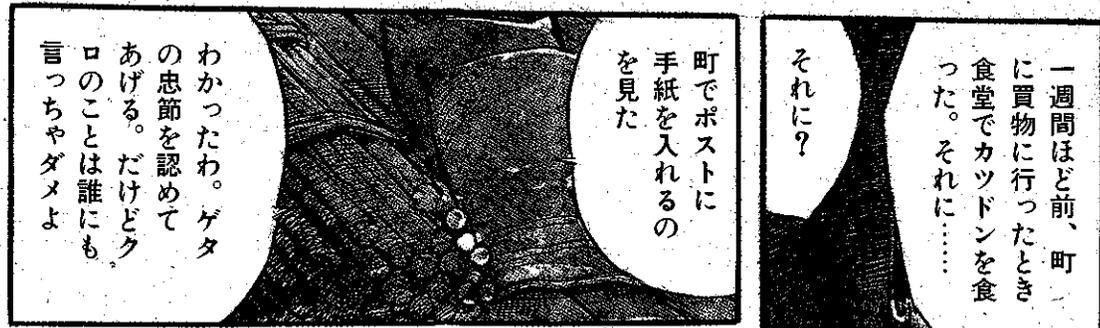
忠節を誓う証
拠に仲間を裏
切ります。
許して下さい



何なの
?

クロが
人民の金を
着服している

なんだって?
具体的に



一週間ほど前、町
に買物に行ったとき
食堂でカツドンを食
った。それに……
それに?

町でポストに
手紙を入れるの
を見た

わかったわ。ゲタ
の忠節を認めて
あげる。だけどク
ロのことは誰にも
言っちゃダメよ



いずれはクロも
ゲタも、始末し
なけりやなんない
わね



メチヨウ
だって女なのに……

彼女は革命
だけが生き甲斐
なのさ

それにしても
メチヨウは
どうしてセックス
しないのかしら



お母さまよ

それと手紙を
どこへ出したの

えっだれが
そんなことを

クロ、一週間前
町でカツドン
食ったそうね



スパイ行為と
見られても、
仕方ないわね

親に手紙を出すのが
どうしてスパイなんです

だれであろうと、
われわれ幹部の
許可なくして
手紙は出せない
規則を知ら
ないわけじゃ
ないでしょう
だって……



それだけ、あたしを
認めてるってこ
とね

そういう
こと

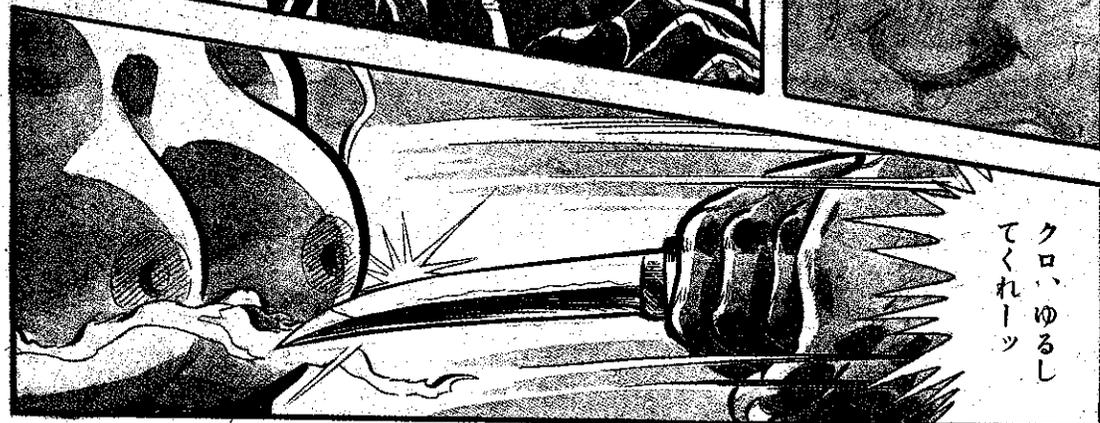
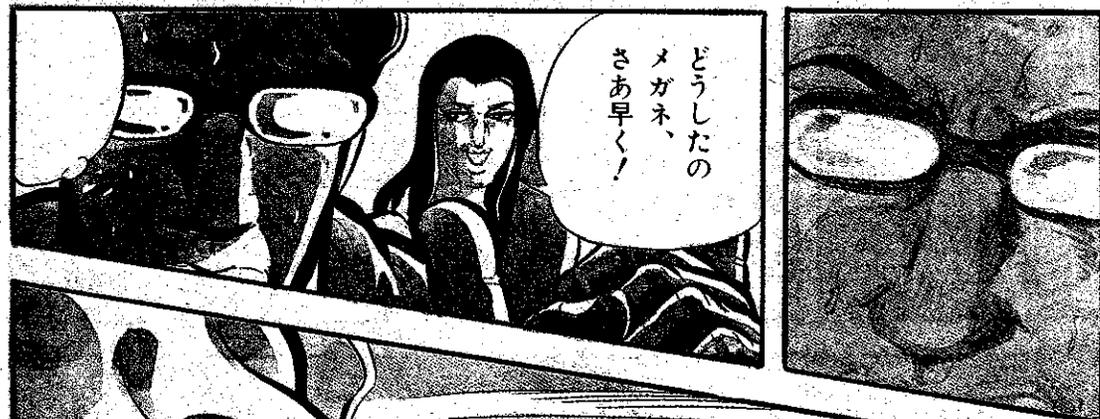
じゃ、肅清を徹
底的にやるわよ



メガネ……
メチヨウに
見つかった
ら……

この厳しい
規則の中で、おれ
はセックスだけが
慰めなんだ!

ああああ……



それから始まるのだから

襲撃の実践はそれからね

もしかしたらメチヨウは肅清だけに目的があるんじゃないかッ

殺すのを楽しんでるんじゃないよね



おれもいつかきみに総括されるんじゃないかな



冗談をいっていると
きじゃないわ

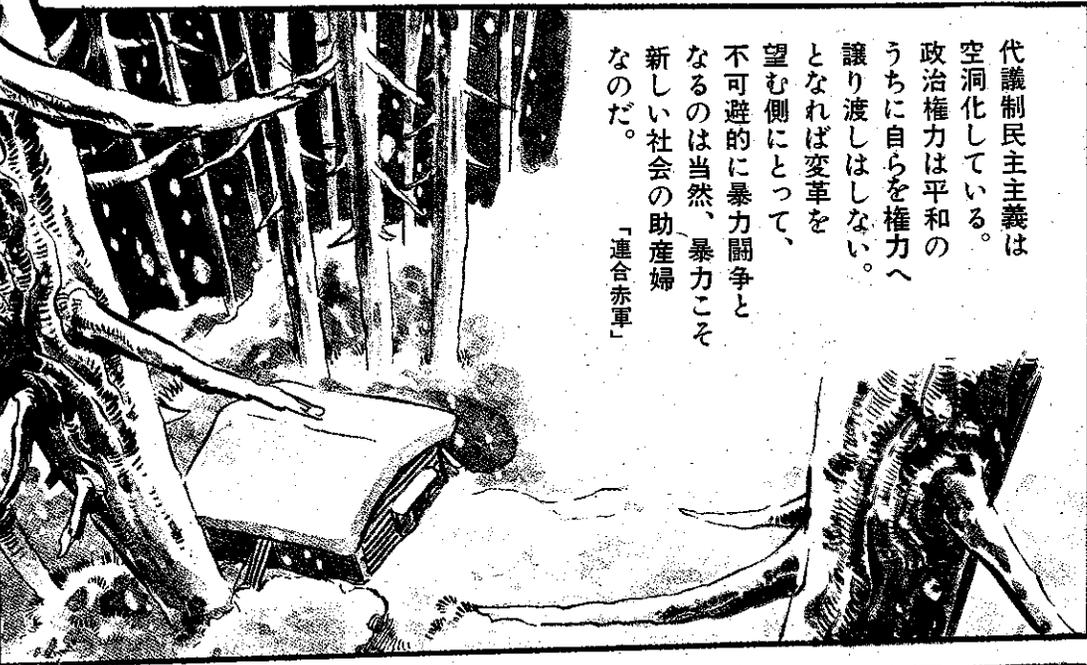


そう……
武装蜂起
まで
あと
一か月



だれがゲリラ部隊を形成すべきか。
それは犠牲の精神人間としての勇気と無限の愛国心を持った理想に燃える青年だけだ。
アルベルト・パロヨの「ゲリラ戦教程」より

代議制民主主義は空洞化している。政治権力は平和のうち自らを権力へ譲り渡しはしない。となれば変革を望む側にとって、不可避免的に暴力闘争となるのは当然、暴力こそ新しい社会の助産婦なのだ。
「連合赤軍」



ゲタ、無駄だよやめとけ

メガネ、おまえはよく冷静でいられるな



おれはこの手で恋人を殺したんだぜ



おれは革命家になるより好きな油絵でも描いていればよかったんだ……

悔んでいるのか



わたしは
こわかったので
彼を求めたのよ

セックスして
いけないという
規則は聞いて
いない

ヤスとピンは夫婦
気どりで革命
意識に欠けること、
ファックに夢中になっている



排泄としての
セックスは認める
でもヤスとピンは
お互いに夫婦み
たいに甘えている
これは規律を
乱し戦意に
悪い影響を
与える



幹部への
反抗と
みなす!



それくらいで
死刑だなんて

それは言い
がかりだ



罪を犯したものは
軍事法廷で裁き(中略)
ただちに銃殺しなければ
ならない。「バーヨのゲリラ戦教程」より

ピン



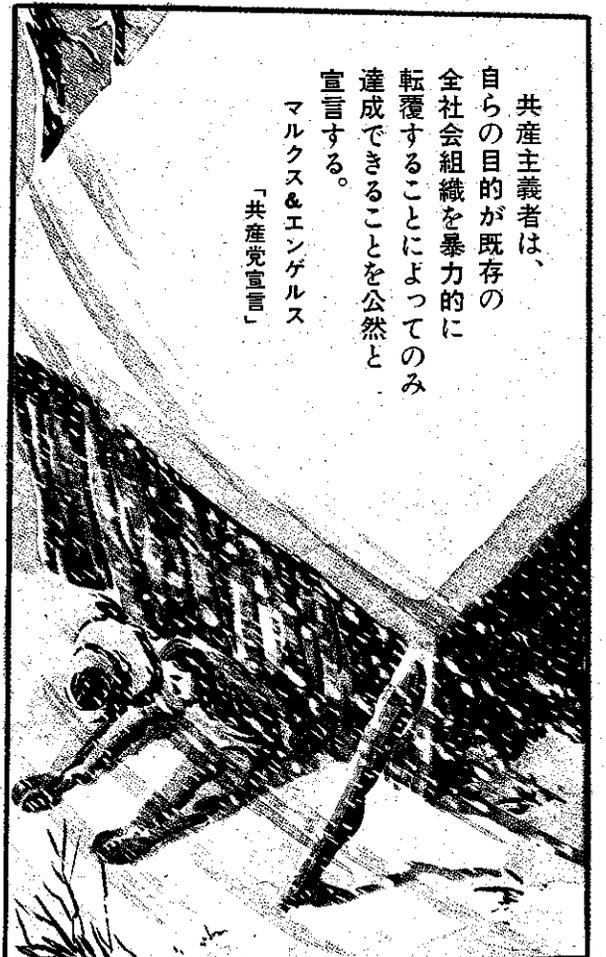
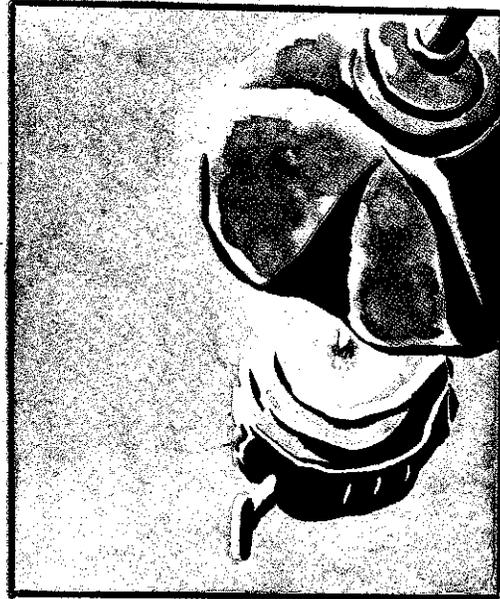
このまま死ぬのが
たまらない……
わずか
二十三だぞ

おれは二十四……
恋人は
二十一だった……



あと
二十年か

せめてあと
二十年
生きた
かったな……

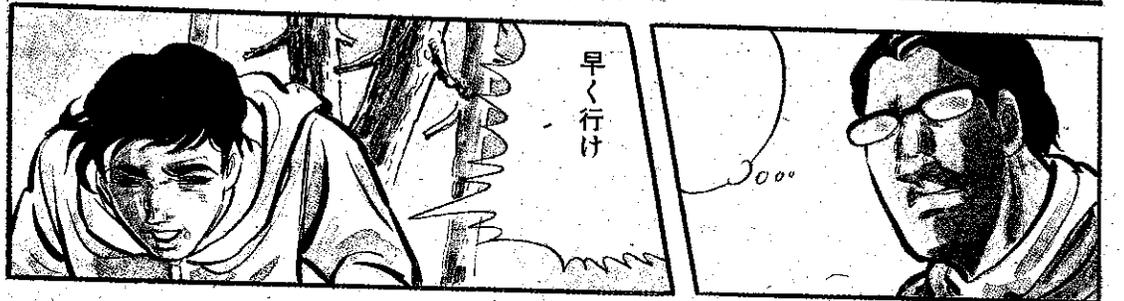
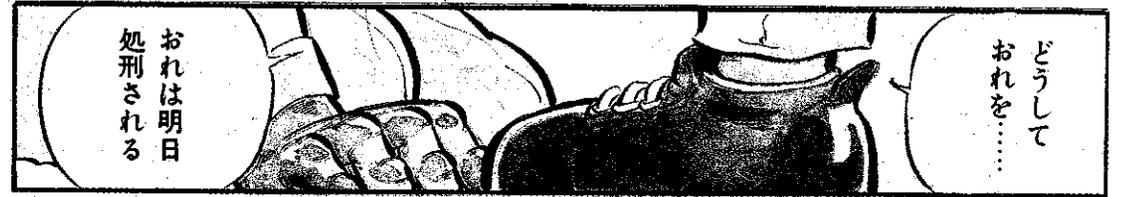


共産主義者は、
自らの目的が既存の
全社会組織を暴力的に
転覆することによってのみ
達成できることを公然と
宣言する。
マルクス&エンゲルス
「共産党宣言」



ヤスとピンに
死刑を宣告
する







これで
粛清は終わった
これから東京に
進撃する!

銃をみんな
出して
点検して
ちょうだい

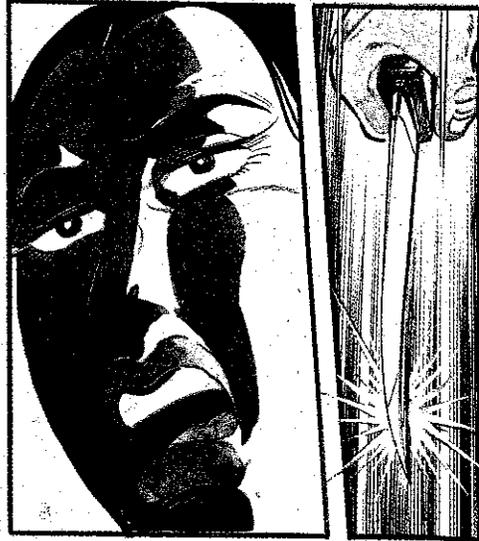
了解



ううっ
いい気持ち



これで完全に
あたしの
軍団だわ



密告者に
なりたくないの
もどって
きたんだ



メガネ!



士気を純粹化
するために、
最後におれが
邪魔とい
うわけか

そのとおり。あなた
が消えれば全
員われわれの命令
に情熱を燃やして
従う



ハムに死刑を
宣告する!

メガネはおれが
逃がしてやった!



ラッーッ

気違い!

ド
カッ!





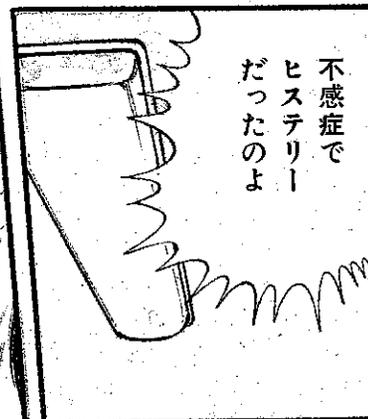
モリ以下
九人が逮捕
された？

メチヨウは
……

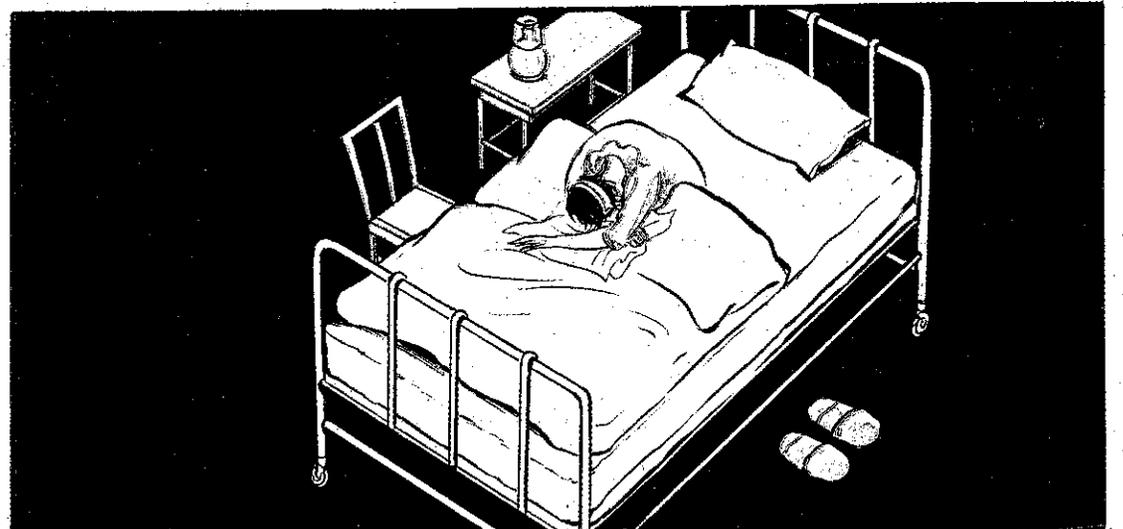


あの女は……

不感症で
ヒステリー
だったのよ



あいつは
不感症よっ



(完)

この劇画は赤軍事件にヒントを得たフィクションです

綴じ込み

ゲリラ戦争抄

エルネスト・チェ・ゲバラ著

★第一章ゲリラ戦の一般原則

一、ゲリラ戦の本質

われわれは、米州における革命運動に対して、キューバ革命が三つの基本的教訓をあたらたと考へる。すなわち、
(1)人民軍は、正規軍とたたかって勝てるということ。
(2)革命を起すためのすべての条件ができるのを待つ必要はないということ。反乱によって、そうした条件をつくりだすことが可能であること。
(3)米州の低開発諸国においては、農村地帯が武装闘争の基本的地域であるということ。

最初のゲリラ中心地の確立と強化のために、欠くことのできない最低限の条件があることには、つねに留意しなくてはならない。すなわち、市民的討議のワケ内で社会的目標のためのたたかいを維持していくことが無益であることを、人民がハッキリ理解してはならない。

ここでゲリラ戦が大衆の戦争であり、人民の戦争であることを強調しておかねばならない。ゲリラ部隊は武装した中核であり、人民のたてかき前衛である。ゲリラ部隊はその偉大な力を、人民のなかから引き出すのである。

ゲリラ戦士は抑圧者をたいする人民の怒りと抗議にこたえて武器を取り、武器を持たない同胞を汚辱と貧困につき落とす社会体制を改革するためにたたかうのである。
「ヒット・エンド・ラン」(撃つては逃げる)——ある人たちはこうして、敵に全然休息をあてえないのである。

そしてゲリラ戦の究極の目的は他のあらゆる戦争と同様、勝利を得ることであり、敵を撃滅することなのである。このように見ると、ゲリラ戦がそれ自身では完全な勝利に達しない戦争の一段階であることは明らかである。それは、戦争の初期の諸段階のうちの一つであって、ゲリラ軍が着実に成長して正規軍と同じ特質を獲得するまで、たえまなく発展する。勝利はつねに正規軍によるのみ達成できる。

二、ゲリラの戦略

ゲリラ部隊が正確な戦略的認識をもつためには、敵の行動様式を基本的に分析しておくことが必要である。戦争の目標がつねに敵軍の完全な撃滅にあるとするならば、この種の内戦においては、敵はゲリラ部隊の構成人員を一人一人絶滅することを標準的な任務としなければならぬであろう。これに対しゲリラ戦士は、敵がこの目標を達成するために用いる諸手段を分析しなければならぬ。敵が頼みのできる人員輸送手段、大衆的な支持、武装、指揮能力などがそれである。われわれはこれらの分析を基礎とし、敵軍を撃ち破るといふ終局の目標につねに留意しつつ、われわれの戦略を完全なものにしなければならぬ。

戦略目標を決定し、これを分析したならば、この終局的目標の遂行に至る手段の順序を研究することが必要である。こうした計画は戦闘の発展または予想できない情勢の到来によって、修正あるいは調整したりしなければならぬにしても、前もって立てておかねばならない。

三、ゲリラの戦術

ゲリラ部隊の基本的な特徴は機動性である。もし必要とあれば敵

分のうちに特定の戦場から遠く離脱し、さらに敵陣のうちにその地域から離れることができないならば、こうしてたえず戦線を変え、いかなる形態の包囲をもまぬがれるようにするのである。

ゲリラ戦士に要求されるもうひとつの基本的特質は、柔軟性もち、あらゆる環境に適応し、戦闘中にどんな思わぬ事故が起きてもそれを逆用する能力をもつことである。敵格な古典的戦闘方法に対して、ゲリラ兵士は戦闘の一瞬ごとに、かれ独自の戦術をのみ出し、たえず敵の裏をかくのた。

適当な人数で防衛するならば、たいていの場合立派に一個大隊の敵を向こうにまわしてたたかえる。だからゲリラ部隊の指揮官の主要な任務は、退却せず陣地を守りぬけるように時と場所をよく選択することである。

基本的なことは奇襲と攻撃のすばやきである。

サポタージュ(破壊活動)もきわめて重要である。これはテロリズムとは明確に区別することが必要である。テロリズムはとくに残忍であるとか、弾圧に特別の「腕」をみせたとか、またはその他の理由で、有名になった抑圧者を死刑にするために行なわれるときには価値のある戦術であると考えられる。こうした場合には、かれを抹殺することが有益なのである。

敵の最大の弱点のひとつは、道路および鉄道による輸送である。道路や鉄道のような輸送路を「ヤード」ごと徹夜で番をすることは事実上不可能である。どの地点にでも大量の爆薬をしかけて、その道路を通行不能にできるし、また敵の車輛が通過する瞬間に爆薬を破裂させて、敵の人員と輸送物資に大損害をあたえ、同時に道路を切断することもできる。

四、有利な地帯での戦闘

兵員二五名からなるゲリラ部隊の理想的な編成は次のようなものである。単発ライフル銃一〇一五丁。ガランド銃から自動小銃にいたる自動火器約一〇丁(フーニンクまたはもっと新型のベルギー製FALおよびM14自動ライフル銃のような軽い携帯に便利な自動火器)。自動小銃のなかでは九ミリ口径のものが弾丸をたくさん持ち運べるからいちばんよい。

外部との連絡路には完全に信頼できる人をおいたいくつの中継地点をおかねばならない。ノロシヤ、太陽を利用した鏡の発光信号

力してくれる友だちをもっているだろう。地域のことよく知っているだろう(自分の行動する土地についての知識は、ゲリラ戦におけるもっとも重要な力のひとつである)。

ゲリラ戦士は、必要とあればいつでも、自分の生命をかけて行動し、いささかの迷いもみせることなく死ぬ覚悟がなければならぬ。だが一方、細心の注意をはらい、決して不必要に自分を危険にさらしてはならない。

ゲリラ戦士は、いかなる理由があろうとも、負傷した仲間を捨てて敵の手にわたしてはならない。ゲリラ戦士はなみひとつの戦友であってはならない。

ゲリラ戦士は、また口が堅くなくてはならない。ゲリラ戦士の最適年齢は二五歳から三五歳のあいだ、たいていの人の人生が明確な形をとるようになる年ごろである。この年代に自分の家庭、こども、自分の全世界を捨てて立ち上がった人は、だれでも自分の責任を十分に考えたいうえで、一歩も退かないという堅い決意に到達したはずである。

ゲリラ戦士の装備は、基本的なものと付属的なものとに分けられる。第一の項目にはハンモックがはいる。付属品として防水ナイロン布が一枚いる。

毛皮一枚は絶対に必要。靴はできるだけしっかりしたつくりのものがよい。

背のうちは非常に重要だ。ズツク製のものか馬具職人のつくる皮製のものが望ましい。食糧品は部隊が携行するものほかに、若干の個人用食糧をいつも持っていなければならない。まずラードまたは食肉油。カンヅメ食品。貯蔵加工した魚。コンデンス・ミルク。砂糖は塩とならんで不可欠である。

水筒または水入れ用のビンも欠くことはできない。薬としては、内服用のペニシリンその他の抗生物質、アスピリンのような解熱剤、下痢止め用のサルファ剤、そのほかその地域にあった風土病などの薬が必要である。

三、ゲリラ隊の組織

作戦地域の状況に応じて、無数の異なった組織形態がありうる。例をとってみよう。地の利をえた山岳地帯にいて、たえず逃げまわっていないければならないほどの悪条件下にはないが、作戦根拠地を

や、伝書鳩なども役に立つ通信手段である。

五、不利な地域での戦闘

重要問題は弾薬のことである。たいていの場合、それは敵から奪うことになる。だから、消費しただけの弾丸を絶対確実に回収できそうなるところで攻撃を行なうことが必要だ。

パズーカ砲は重火器であるが、操作と運搬が簡単なのでゲリラもこれを使用できる。

大衆工作がゲリラ戦では不可欠の、きわめて重要な要素だとすれば、不利な地域ではなおさら重要になる。その地域に住んでいる労働者、農民、およびその他の階級の団結のための闘争、宣伝教育活動をたゆみなくやらなくてはならない。

六、都市周辺での戦闘

都市周辺のゲリラはいつでも、他地域にいる指揮者の直接指揮のもとにおかれる。このゲリラ部隊の任務は独立の行動をすることではなく、全般的な戦略計画に従って行動し、他の地域にいるより大きな集団の行動を支援することである。もっぱら定められた戦術的目標の達成に力を入れ、ほかのゲリラ部隊のような作戦上の自由をもたない。命ぜられたことだけを正確にやるのだ。

★第二章ゲリラ部隊

一、社会変革者としてのゲリラ戦士
ゲリラ戦士は人民の前衛としての自覚をもち、モラルの高い行動をとって、自分が望んでいる改革の真の真の不在手であることをしめさなくてはならない。どんな情勢のもとでも、ただひとつの行きすきも失策も許さない厳格な自己抑制をもたねばならない。

二、戦闘員としてのゲリラ戦士
できればゲリラ戦士はその地域の住民であるのがよい。かれは協

つくりうるほどの好条件下にもない部隊があるとすると、この場合は一〇〇人ぐらいで一部隊を編成するのが理想的である。これを三〇人から四〇人の小隊に分ける。

ゲリラ戦の状況下では、八〜一〇人が一団となって戦闘できる最大限の人数であり、小隊はその行動単位として八ないし一二人の分隊に分けるのがよい。

食糧については、一兵卒から大將に至るまで、だれもが平等にあつかわれなければならない。この分配の仕事は特定の人間に責任をもつてやらせるのがよい。そしてかれは、司令部直屬とすることが望ましい。

たき火は長期間にわたって跡が残るので、かならず土をかける。紙切れ、空きカン、残飯も燃してしまおう。

ゲリラ戦士の放浪的生活は隊員のあいだに深い友情を生み出すとばかりならず、ときには各グループや小隊間に危険な対抗意識を生み出すこともある。したがって幹部は、つねに純粋で献身的な人生の実例をしめさなければならない。

四、戦闘

ゲリラ隊の兵力が小さいにもかかわらず、どうしても侵入軍の前進をくい止めることが必要なときには、まず二ないし十人の狙撃兵グループを敵部隊の周囲の四地点に配置する。そしてたとえば、敵の右側面から攻撃を開始したとすると、敵がそのほうに行動を集中した瞬間に、こんどは左側面から、ついで前面、さらに後方からと攻撃を繰り返せばよい。

戦車にたいするいちばん確実な武器は地雷である。地形の險しい場所できよく起る接近戦では、モロトフ・カクテルがきわめて価値ある武器となる。

木材その他の可燃性の材料でできた陣地を攻撃する場合は、モロトフ・カクテルは近距離で非常に重要な武器となる。やや遠距離ではこの火炎ビンは、導火線に火をつけ、一六ミリ口径の散弾銃から発射することができる。

道路を進んでくる装甲車にたいする防衛としては、傾斜した壁を掘り、車が落ちて出られないようにすることである。

五、ゲリラ戦の開始、発展、終結
最初は、若干の武器を持ち、密林などもっとも侵入しにくい場所にかくれることにせいっぱいな、ほぼ同質の構成員からなる集団

綴じ込み
カルロス・マリゲーラ著

都市ゲリラ教程

抄



にすぎない。幸運なチャンスをとらえて敵に一撃をくわえ、やがて有名になる。土地を奪われたりした農民や、その他の階級の若い理想主義者たちがその中核に参加してくる。

大衆のなかでの活動が効果をあらわすにつれ農民のひとりひとり、が熱狂的な解放戦争の支持者となり、ゲリラ軍の人員はますますふえる。そしてついに、敵が侵入しがたい地点をえらんで、定着した生活がはじめられる。

こうしてゲリラ軍は一つの組織、新しい構造を持つようになる。それは小さな政府がもつあらゆる特徴をそなえ、巨大な運動の中心となる。

敵の支持地域には小グループがまず侵入し地雷を敷設し、不安をひろげる。大衆のなかで広範囲にくりひろげられる活動によって、ついに最終段階である大都市郊外のゲリラ戦へと展開していくのである。

★第三章 ゲリラ戦線の組織

一、補給

良好な補給組織をもつことはゲリラ部隊にとって根本的に重要である。

最初になすべき仕事は、地域の住民の絶対的信頼をもちとることである。友好的な住民から提供された品物には、必ず支払いをするという基本原則を守らなくてはならない。

遠隔地から補給線組織することも必要だ。この組織は、小さな町や地方都市では生産できないような器具の補給にあたらねばならぬ。

二、民政組織

ゲリラ軍の組織が完成し、自分の支配地域をもつようになれば、評議会——すなわち、司法、革命的諸法規および行政をあつかう中央部を必ずつくらねばならぬ。評議会は国の法律を熟知した人物の監督下におくようにする。

三、女性の役割

女性もつとも困難な任務を遂行できるし、男性と肩をならべて戦闘に加わることもできる。そして普通考えられているのとは反対に、軍隊内に性的混乱をもちこむものではない。

女性は力が劣るけれども、耐久力では男性に負けない。男のやるあらゆる種類の戦闘任務をいつでも遂行できる。

八、諜報

情報集めは、住民からもたらされるものだけにたよらず完全に組織化されなくてはならない。郵便組織のほか、敵の前線と直接接触している諜報機関をもつべきである。とくに女は敵に浸透すべきである。

九、訓練と教育

日々の武装行動のなかで困難な任務を学んでもなくては、だれもこの部隊の長となることはできない。何人かの仲間と生活することにより、武器のあつかい方、方向決定の諸原則、民間人のあつかい方、戦闘などについて教えることができる。しかし組織的教育は、広大な解放区が存在し、戦闘員を多数必要とする場合にはじめて開始される。そのときは新兵用の学校が設立される。

一〇、革命軍の組織的構造

ゲリラ型の革命軍は、どこで作戦していようと、一連のきわめて重要な任務遂行のため非戦闘組織をもたなくてはならない。この非戦闘組織全体は、軍隊に最大の援助をするため力を集中する。軍組織は、最高司令官によって統率され、かれの下に各地域の指揮官がつく。地域指揮官の下には、いろいろの大きさの隊がいくつかしたがる。

女性に課することのできる特殊任務のなかでも、もっとも重要なものの一つは、諸戦闘部隊間の連絡、なかんずく敵地内にある部隊との連絡である。

スカートの下に着用した特製のベルトのなかにかくして、弾薬のようなかかりのかさの物品を運ぶこともできる。また女性が料理をすれば食事は断然よくなるし、農民および革命軍の兵士たちに読み書きと革命理論を教えることも、女性の非常に重要な任務である。

医療の仕事でも女性は看護婦として、また時には医師として重要な役割を演ずる。

おたがいに愛しあっているものは、山のなかでは結婚し、ゲリラ部隊の単純な要件にしたがうことを条件に夫婦として生活することを許さるべきである。

四、医療問題

医師はゲリラ戦においてきわめて重要な役割をはたす。その任務は生命を救うことだけではなく、患者を精神的にはげまし安心感をもたらす。

五、サポータージュ（破壊活動）

サポータージュには二つの型がある。決定された目標をたいする全国的規模のサポータージュと、戦線における地域的なサポータージュである。全国的規模でのサポータージュは、主として通信および交通の破壊を目標とすべきである。

六、軍需産業

ゲリラの軍需産業には二つの基本的な部門がある。そのひとつは靴と皮革製品の製造であり、もうひとつは武器製作である。後者は各種の機能を持ち、ライフル銃などこわれた兵器の修理をする部門のほか、人民の創意によってつくり出される兵器の製作にあたる部門がある。また地雷と、それに付随する各種の機械装置の準備も行われる。もし事情が許せば、火薬の製造も行われよう。

七、宣伝

革命思想は、適当なメディアによりできるかぎり広く流布しなくてはならない。それは全国的市民組織によって行なわれる宣伝と、ゲリラ軍の基地内から行なわれる宣伝の二つがある。ラジオをつうじて流される言葉は、なによりも有効である。それは、もっとも自由に全国土にとどき、人びとの理性と感情にうたえることができる。

軍事組織のもつとも重要な特徴のひとつは懲戒処分である。規律は注意深く理論づけられた内面的確信に根ざしたものであるべきである。規律がやぶられた場合には、違反者がどのような地位のものであるか、苦痛をとらぬ方法で厳罰に罰することが必要である。

(以上は三書房発行の「ゲリラ戦争」(E・チェ・ゲバラ著、五十間忠行訳)より抜粋したものです)

〔解説〕エルネスト・チェ・ゲバラが「ゲリラ戦争」を書いたのは一九六〇年、キューバ革命が成功した翌年だった。著書の目的はキューバだけではなく、中南米全体に適用される革命理論を提示するためで、ゲバラはそれを行動でも示した。「かりに命を失うことになっても、だがそれを人に告げてくれようか」とカストロへの手紙に書いた通り、ボリビアの山中でゲリラ戦を指導中に戦死した。三十九歳。

★都市ゲリラの定義

都市ゲリラとは、意表をつくやりかたで武器をとって軍部独裁政権と闘う者のことである。

無法者による襲撃が、都市ゲリラの襲撃と誤解されることもしばしばある。だが、都市ゲリラは無法者とは根本的に異なっている。無法者の目的は個人的な利益だから、搾取するもの、されるものも

区別しない。無法者の被害に一般の人たちが多いのはこのためだ。都市ゲリラは政治的目的のために行動を起こすのだから、政府と大資本家と外国の帝国主義者、とくに北アメリカ帝国主義者だけを攻撃する。

無法者と同じように、都市ゲリラにとってまぎらわしい者は、騒乱を起こし、銀行を襲い、爆弾を投げ、誘拐、暗殺を企てる右翼

反動派たちである。

都市ゲリラは、政府に対して非妥協的に敵対し、国家権力とその権力を行使する人間に対して組織的に打撃を与える存在である。

★都市ゲリラの資質

都市ゲリラは勇敢で決断力に富んでいなければならない。また優れた戦術家で腕のよい射撃手でないといけない。

本職の軍人や国家警察は、近代的な武器、車輛を持っており、どこでも自由自在に移動することができる。都市ゲリラはそのようなものを持たず、逆に隠密に行動する。都市ゲリラは時には囚われの身となり、永久に釈放されなくなる公算が強くなった場合、自己の信条に反した文書(新聞声明のようなもの)を指すを書かなければならないこともある。

にもかわらず、都市ゲリラは普通の軍隊や警察より有利な条件を持つている。軍隊と警察は、人民に憎まれている敵として行動する。しかし都市ゲリラは人民と同じ目的のために行動するのである。

★都市ゲリラはいかに生きるべきか

都市ゲリラはいかに人民の間で生活するかを知らねばならず、一般の市民生活と比べて奇異に見られないように、まず外見に注意すべきである。他の人々と同じ服装をしてはならない。

都市ゲリラは職について生計を立てなければならない。警察に知られ追及されている場合、有罪判決を下され、恭順を宣誓して釈放された場合は、地下にもぐり、ときには隠れ、暮さなければならぬ。

都市ゲリラは観察能力に優れ、あらゆること、特に敵の動きについて十分な情報を持ち、自分が生活し、移動し、作戦を行なう地域を熟知していなければならない。

都市ゲリラの基本的かつ決定的な資質は、武器をとって闘うことだ。ブルジョアジーから物資を調達する任務が必須であることはいくらでもない。そして調達のための武装闘争なしには都市ゲリラは生きのびることはできないのだ。

★都市ゲリラの技術上の準備

都市ゲリラの技術的な準備は肉体の訓練から始まって、あらゆる種類の技術、とくに手工業的な技術についての知識と習得につきる。

都市ゲリラは組織的に訓練してこそはじめて物理的な戦闘能力が得られる。

と敏捷性が必要とされる型の戦闘においては障害となるからだ。

火炎ビン、ガソリン、焼夷弾、カタパルトや白砲、鉄パイプや空カンで作った手榴弾、発煙弾、地雷、ダイナマイトや塩化カリのような通常の爆薬、プラスチック爆弾、セラチンカプセル、あらゆる種類の弾薬、これらは都市ゲリラの任務遂行に不可欠なものである。これらを手に入る方法は、購入もしくは計画的な強奪である。

★射撃—都市ゲリラの必要条件

ここで強調しておきたい特別重要なことは都市ゲリラは、弾丸がなくなるまで撃ちつづけてはならないということである。

撃ち方と狙いのつけ方を学ぶために、都市ゲリラは、見よう見まねで標的を撃つ練習をすればよい。都市ゲリラは家族と公園で楽しみながらでも組織的に訓練しなければならない。

★戦闘グループ

都市ゲリラが機能するためには、小人数のグループに組織されなければならない。ここでは四、五人を越えないグループを戦闘グループと呼ぶ。

二つの戦闘グループが戦闘チームを形成する。戦闘チームは他の武装チームからは隔絶され、一人または二人の人間によって指揮される。戦闘グループの間では部員相互間に完全な信頼関係がなければならない。

この戦闘グループに最大限のイニシアチブを持たせるために、組織の硬直化を避けることが大切である。伝統的左翼がもっている官僚主義的秩序のヒエラルキーはわれわれの組織にはない。作戦司令部から指示された優先的な目的がない場合はいつでも、どのグループでも、銀行襲撃およびスパイの誘拐や処刑の決定、あらゆる種類の宣伝や敵に対する神経戦などを総司令部に相談なく行なうということがある。

★都市ゲリラの技術的特徴

攻撃の技術。周知のように防衛戦はわれわれの死を意味する。われわれは火力で敵に劣っているのだから、敵の集中攻撃に対し、防衛することは不可能である。これこそが、都市ではいつまでも同じ技術が通用しない理由であり、固定基地を持つことができない理由である。

攻撃し退却する技術。そうすることでわれわれは戦闘能力を

肉体の訓練に役立つことは、森林のなかで生存するためのハイキング、キャンプ、その他の訓練、登山、ボート、水泳、スキューバダイビング、潜水夫としての訓練、釣り、モリ打ち、狩猟などである。自動車の運転、飛行機の操縦、モーターボートや船舶の運転を覚えること、ラジオ、電話、電気機器のメカニクスを理解すること、電子工学についての知識を持つことは非常に重要である。

衛生兵の役目を果たさなければならない場合もあるので、医療看護、薬学、初歩的な外科医療、応急処置などの知識も持つていなければならない。

しかし都市ゲリラの技術上の準備で一番重要なのは、機関銃、リボルバー、自動小銃、FAL、さまざまなタイプの散弾銃、カービン銃、白砲、バズーカ砲などの武器の使い方を覚えることだ。多くのタイプの弾薬や爆弾についての知識も大切である。爆薬のうちではダイナマイトの使い方をよく理解しなければならない。焼夷弾や発煙弾の使い方も無視できない初歩的な技術である。

武器を作ったり修繕したりすること、火炎ビン、手榴弾、地雷、手製の破壊装置の作り方や橋を破壊したり鉄道を切断したりする方法を覚えることも、都市ゲリラの準備として欠かせないものである。

★都市ゲリラの武器

都市ゲリラの武器は軽火器である。通常、それは敵から奪ったり買ったりしたものである。軽火器は簡単に組み立てられるもので、取り替えが自由自在であるものでなければならない。

今までの経験から、都市ゲリラの基本的な武器は軽機関銃でなければならないことが明らかになった。軽機関銃は市内でも射撃が簡単で威力があり、敵には非常に恐れられている。都市ゲリラにとって理想的な機関銃はイナ四五口径である。

都市ゲリラの各戦闘グループには機関銃を持った射撃の名手がいなければならない。他のメンバーはわれわれの標準装備である三八リボルバーを備えなければならない。三二型も便利だが、一発で敵の行動力を奪う点からは三八型のほうがよい。

手榴弾と普通の発煙弾は、援護や退却用に使われる。銃身の長い武器は人目につきやすく、都市での持ち運びは困難である。散弾銃は近くから小さな標的を狙う場合に有効である。特に夜間、照準が定めにくい場合、下手な射手にも役に立つ。

都市ゲリラは重火器を使用する作戦を立ててはならない。機動性

保存できる。

都市ゲリラ戦争を発展させる技術。それは敵を疲勞させ、士気を奪い、混乱させる。一方、革命戦争のために決定的な役割を果たすことになっている農村ゲリラの出現と持続を可能にする。

★都市ゲリラの緒戦の優位

軍隊と警察側は攻撃されると、はるかに強力な部隊を集めて都市ゲリラを攻撃し、壊滅しようとする。もし都市ゲリラが緒戦の優位を勘定に入れ、それらを自らの火力の弱さや物資の欠乏を補うのに利用するならば取北を避けることができる。

- 1. 敵の意表をつくこと。
- 2. 敵以上に戦場の地理を知ること。
- 3. 警察やその他の抑圧部隊に優る機動性を持つこと。
- 4. 敵を上回る情報網を持つこと。
- 5. 状況を適切に指揮して優れた決断力を示すこと。そうすれば味方は皆勇気づけられ、躊躇などしない。

★地理の知識

地理は都市ゲリラにとって味方のようなものである。袋小路、狭い道、その入り口、工事中の道路、車の検問所、軍隊の近辺、遮断された道路、トンネルの出入り口、その他敵が遮断できる場所、交差点、警察に監視・規制されている曲がり角、信号、道路標識……。問題は包囲網をくぐり抜けることであり、敵を未知の土地に引きずり込み、迷わせることであり、またそこで奇襲や待伏せ、ワナを仕掛けることである。

★情報

敵もわれわれの足どりを知らなくてはならず、われわれを撃破し、活動を妨げようとする。この意味において警告の危険性はつねに存在しており、敵は密告を頼り、組織内にスパイを潜入させようとする。このような敵の戦術に対処する都市ゲリラの技術は、裏切り者、スパイ、通報者、挑発者を公然と摘発することである。

★襲撃

襲撃とは資金を強奪し、囚人を解放し、爆薬、機関銃、その他の武器弾薬を捕獲するための武装攻撃である。日中の襲撃は、目的物が他の時刻では成功しえない時に行なわれ

る。たとえ銀行からの現金輸送の場合で、これは夜には行なうことができない。
夜間の襲撃は一般に都市ゲリラにとってはもつとも有利である。夜間の襲撃は奇襲の場合、好都合であるし暗闇が逃走を容易にし、参加者の身元を隠してくれるからである。攻撃しやすい目標は次の通りである。

- a 金融機関
- b 武器、弾薬の製造を含む商業・工業関係の企業
- c 軍事施設
- d 派出所や警察署
- e 刑務所
- f 政府財産
- g マスコミ機関
- h 北米人の会社、財産
- i 軍隊や警察の車輛、トラック、装甲車、現金輸送車、列車、船舶、飛行機などを含む政府の輸送機関

★典型としての銀行襲撃

銀行襲撃の有力な新しい技術は発達している。逃走を確保すること、現金を引き出すこと、匿名にして他人を連座することなどの技術である。これらの新しい工夫のなかで、追跡を妨害するために車のタイヤを撃ち抜くこと、目撃者を銀行の便所に閉じ込めて床の上に坐らせること、銀行の設備を制止し、武器を取り上げ、金庫や頭文を箱を開けさせること、変装することなどがあつた。

★奇襲と潜入

奇襲と潜入は都市の周辺の施設だけでなく、中心部でさえも急襲することである。すなわち軍の小部隊、派出所、病院などを急襲し、混乱させ、武器を捕獲し、敵に処刑、テロを加え、捕虜にし、警察の監視下にある傷病の囚人や入院中の病人を救出することなどである。奇襲や潜入は車輛を破壊するために車庫や倉庫の設備に対しても行なわれる。

★占拠

占拠はなんらかの宣伝を行なう目的で、敵に一時的に抵抗するために、特殊な施設や場所にゲリラが自ら踏み止まる場合に用いられる一種の攻撃である。
ストライキ中やその他の時に工場や学校を占拠するのは、抗議の

込み愛国者を追跡している政府内部のファシスト、敵のおとり、情報提供者、警察の手先、挑発者などを殺害することである。
自分だけが安全でいたために警察に告げや密告をする者、手がかりや情報を提供している者は、都市ゲリラに捕えられた時、処刑されなければならない。処刑は最少限の人数で行なう都市ゲリラの秘密行動である。多くの場合、一人の狙撃者が根気よくひっそりと完全に隠密に冷静に行なう。

★誘拐

誘拐は、秘密の場所で警察の手先、北米人のスパイ、政治家、革命運動に敵対する札付きの悪党を捕縛しておくことである。誘拐は投獄されている革命家の仲間と交換・解放したり、軍部独裁の独房で拷問されている者を解放するために行なわれる。
政治的に価値がない者を除いて、文化人、スポーツマン、その他の分野で有名な人物を誘拐することは、特殊な環境に規定された都市ゲリラの愛国的正当さと革命性を宣伝するのに有効な形態である。

★破壊工作

破壊工作は、きわめて少数の、時によっては唯一人で目的を遂行するために行なう高度な破壊力をもつ攻撃である。都市ゲリラが行なう破壊工作は、最初のうちは孤立している。しかしほうぼうで破壊工作が起こり始めると、人民自らが行なうようになる。破壊工作によって傷をつけ、不能にし、敵の生産点を破壊する目標は以下の通りである。

- a 国家の経済
- b 農業・工業生産
- c 輸送・通信網
- d 軍隊・警察機構とそれらの施設・倉庫
- e 軍隊・警察の弾圧機構
- f 国内の北米人の会社や財産

★武装宣伝

ハイ・ジャック、あるいはゲリラ兵士によって船舶や列車を襲撃し捕獲すること、それらは非常な宣伝効果がある。しかし都市ゲリラは秘密出版を無視してはならないし、ガリ版、複写機などを用いて反独裁のための宣伝、煽動のために地下新聞、パンフレット、ピラ、スタンプなどを作らねばならない。

意志表示ないしは敵の注意を引きつける方法の一つである。
放送局の占拠は宣伝を目的としている。占拠は非常に有効な行動形態だが、味方の戦列から人的、物質的損失を防ぐために、つねに撤退を可能にしておくほうがよい。そして細心すぎるほどの計画を立て、絶好の機会を選んで実行せねばならない。

★待ち伏せ

待ち伏せは、敵が道路を横切ろうとしてワナにかかると、家屋や敷地を包囲している時における奇襲攻撃である。ニセの連絡を行なうことによって敵をワナにおとし入れ、おびき寄せることができ。待ち伏せ作戦の重要な目的は敵から武器を捕獲することであり、敵を殺すことである。

★市街戦術

市街戦は都市ゲリラの新しい形態として登場した。都市ゲリラは大衆デモにも参加する。その時は彼らははつきりした特定の目的を持って大衆のデモの隊列に入るのである。この狙いは警官めがけての投石、ガソリンでの放火、敵の手先や挑発者の誘拐、偽装ナンバーをつけた特別の車に乗ってくる警察の指揮者や拷問をした手下どもの狙撃などである。
デモが混乱し逃げなければならぬ場合には、デモに参加した都市ゲリラは、必要とあらばグループに分散しなくてはならない。そして地雷を埋め、火炎ビンを投げ、待ち伏せや爆薬を仕掛ける。

★ストライキと作業放棄

ストライキは、作業や営業を中断して敵に損害を与えるために都市ゲリラが工場や学校でとる形態である。それは搾取者や抑圧者をもつとも恐れる武器の一つだからである。敵はストライキに対して非常な弾圧と驚くべき暴力を行使する。ストライキを行なった者は投獄され、拷問を受け、多くの者が虐殺されている。
都市ゲリラは、指導者の身元がわかるような手がかりや形跡を残さぬよう、注意してストライキを準備しなければならぬ。秘密裡に、誰にも知られない方法で慎重に準備し、小さなグループの行動を通じて組織するならば、ストライキは成功する。破壊や攻撃に用いる武器、弾薬、火炎ビン、手製の武器などのすべては、敵と交戦するためにあらかじめ支給されなければならない。

★処刑

処刑とは、北米人のスパイ、独裁者の手先、拷問者、危機に追い

都市ゲリラは秘密出版物によって、膨大な人民を革命運動に参加させることができる。

★ゲリラの安全

ゲリラ全員が互いに知り合うこと、あるいはあらゆることを知ることにはゆるぎがない。各人はただ自分の任務について知っていれば十分である。この鉄則は、都市ゲリラの安全の上でも初歩的な基本事項である。

都市ゲリラにとって危険なことは、不注意に自分を明かしたり、階級的警戒心のために発見されたりすることである。ましてや自分の同志の住所をいふふしたり、しゃべったりすることは、許しがたい行為である。新聞の余白への書き入れ、破れた文書、行方不明になったカード、手紙、ノート、その他のものは警察にとって恰好の手がかりとなり、彼等は決して見過さないであろう。

以上は三書房発行の「都市ゲリラ教程」(カルロス・マリゲラ著、日本・キニーバ文化交流研究所編訳)より抜粋したものです。

〔解説〕カルロス・マリゲラは一九六六年ブラジルの共産党から離れ、ブラジル革命は武装ゲリラ闘争しかありえないとし、都市ゲリラの組織化をはかった。六九年十一月、連邦警察と銃撃戦中に射殺された。五十七歳。「都市ゲリラ教程」のほかにも「ゲリラ戦の作戦と技術」「戦略的諸問題と原則」「ゲリラ戦」ほか、ゲリラ戦についての著書、論文が多い。

る。たとえは銀行からの現金輸送の場合で、これは夜には行なうことができない。
夜間の襲撃は一般に都市ゲリラにとってはおもっても有利である。夜間の襲撃は奇襲の場合、好都合であるし暗闇が逃走を容易にし、参加者の身元を隠してくれるからである。攻撃しやすい目標は次の通りである。

- a 金融機関
- b 武器、弾薬の製造を含む商業・工業関係の企業
- c 軍事施設
- d 派出所や警察署
- e 刑務所
- f 政府財産
- g マスコミ機関
- h 北米人の会社、財産
- i 軍隊や警察の車輛、トラック、装甲車、現金輸送車、列車、船舶、飛行機などを含む政府の輸送機関

★典型としての銀行襲撃

銀行襲撃の有力な新しい技術は発達している。逃走を確保すること、現金を引き出すこと、匿名にして他人を連座することなどの技術である。これらの新しい工夫のなかで、追跡を妨害するために車のタイヤを撃ち抜くこと、目撃者を銀行の便所に閉じ込めて床の上に坐らせること、銀行の護衛を制止し、武器を取り上げ、金庫や頭文な箱を開けさせること、変装することなどがあつた。

★奇襲と潜入

奇襲と潜入は都市の周辺の施設だけでなく、中心部でさえも急襲することである。すなわち軍の小部隊、派出所、病院などを急襲し、混乱させ、武器を捕獲し、敵に処刑、テロを加え、捕虜にし、警察の監視下にある傷病の囚人や入院中の病人を救出することなどである。奇襲や潜入は車輛を破壊するために車庫や倉庫の設備に対しても行なわれる。

★占拠

占拠はなんらかの宣伝を行なう目的で、敵に一時的に抵抗するために、特殊な施設や場所にゲリラが自ら踏み止まる場合に用いられる一種の攻撃である。
ストライキ中やその他の時に工場や学校を占拠するのは、抗議の

意志表示ないしは敵の注意を引きつける方法の一つである。
放送局の占拠は宣伝を目的としている。占拠は非常に有効な行動形態だが、味方の戦列から人的、物質的損失を防ぐために、つねに撤退を可能にしておくほうがよい。そして細心すぎるほどの計画を立て、絶好の機会を選んで実行せねばならない。

★待ち伏せ

待ち伏せは、敵が道路を横切ろうとしてワナにかかる時、家屋や敷地を包圍している時における奇襲攻撃である。ニセの連絡を行なうことによって敵をワナにおとし入れ、おびき寄せることができ、待ち伏せ作戦の重要な目的は敵から武器を捕獲することであり、敵を殺すことである。

★市街戦術

市街戦は都市ゲリラの新しい形態として登場した。都市ゲリラは大衆デモにも参加する。その時は彼らははつきりした特定の目的を持って大衆のデモの隊列に入るのである。この狙いは警官めがけての投石、ガソリンでの放火、敵の手先や挑発者の誘拐、偽装ナンバーをつけた特別の車に乗ってくる警察の指揮者や拷問をした手下どもの狙撃などである。

デモが混乱し逃げなければならぬ場合には、デモに参加した都市ゲリラは、必要とあらばグループに分散しなくてはならない。そして地雷を埋め、火炎ビンや投げ、待ち伏せや爆薬を仕掛ける。

★ストライキと作業放棄

ストライキは、作業や営業を中断して敵に損害を与えるために都市ゲリラが工場や学校でとる形態である。それは搾取者や抑圧者がおもっても恐れる武器の一つだからである。敵はストライキに対して非常な弾圧と驚くべき暴力を行使する。ストライキを行なった者は投獄され、拷問を受け、多くの者が虐殺されている。
都市ゲリラは、指導者の身元がわかるような手がかりや形跡を残さぬよう、注意してストライキを準備しなければならぬ。秘密裡に、誰にも知られない方法で慎重に準備し、小さなグループの行動を通じて組織するならば、ストライキは成功する。破壊や攻撃に用いる武器、弾薬、火炎ビン、手製の武器などのすべては、敵と交戦するためにあらかじめ支給されなければならない。

★処刑

処刑とは、北米人のスパイ、独裁者の手先、拷問者、危機に追い

込み愛国者を追跡している政府内部のファシスト、敵のおとり、情報提供者、警察の手先、挑発者などを殺害することである。
自分だけが安全でいたために警察に告発や密告をする者、手がかりや情報を提供している者は、都市ゲリラに捕えられた時、処刑されなければならない。処刑は最少限の人数で行なう都市ゲリラの秘密行動である。多くの場合、一人の狙撃者が根気よくひっそりと完全に隠密に冷静に行なう。

★誘拐

誘拐は、秘密の場所で警察の手先、北米人のスパイ、政治家、革命運動に敵対する札つきの悪党を捕縛しておくことである。誘拐は投獄されている革命家の仲間と交換・解放したり、軍部独裁の独房で拷問されている者を解放するために行なわれる。
政治的に価値がない者を除いて、文化人、スポーツマン、その他の分野で有名な人物を誘拐することは、特殊な環境に規定された都市ゲリラの愛国的正当さと革命性を宣伝するのに有効な形態である。

★破壊工作

破壊工作は、きわめて少数の、時によっては唯一一人で目的を遂行するために行なう高度な破壊力をもつ攻撃である。都市ゲリラが行なう破壊工作は、最初のうちは孤立している。しかしほうぼうで破壊工作が起り始めると、人民自らが行なうようになる。破壊工作によって傷をつけ、不能にし、敵の生産点を破壊する目標は以下の通りである。

- a 国家の経済
- b 農業・工業生産
- c 輸送・通信網
- d 軍隊・警察機構とそれらの施設・倉庫
- e 軍隊・警察の弾圧機構
- f 国内の北米人の会社や財産

★武装宣伝

ハイ・ジャック、あるいはゲリラ兵士によって船舶や列車を襲撃し捕獲すること、それらは非常な宣伝効果がある。しかし都市ゲリラは秘密出版を無視してはならないし、ガリ版、複写機などを用いて反独裁のための宣伝、煽動のために地下新聞、パンフレット、ビラ、スタンプなどを作らねばならない。

都市ゲリラは秘密出版物によって、龐大な人民を革命運動に参加させることができる。

★ゲリラの安全

ゲリラ全員が互いに知り合うこと、あるいはあらゆることを知ることはゆるぎされない。各人はただ自分の任務について知っていれば十分である。この鉄則は、都市ゲリラの安全の上でも初歩的な基本事項である。

都市ゲリラにとって危険なことは、不注意に自分を明かしたり、階級的警戒心のために発見されたりすることである。ましてや自分の同志の住所をいふふしたり、しゃべったりすることは、許しがたい行為である。新聞の余白への書き入れ、破れた文書、行方不明になったカード、手紙、ノート、その他のものは警察にとって恰好の手がかりとなり、彼等は決して見過さないであろう。

以上は三二書房発行の「都市ゲリラ教程」(カルロス・マリゲラ著、日本・キニーパ文化交流研究所編訳)より抜粋したものです。

〔解説〕カルロス・マリゲラは一九六六年ブラジルの共産党から離れ、ブラジル革命は武装ゲリラ闘争しかありえないとし、都市ゲリラの組織化をはかった。六九年十一月、連邦警察と銃撃戦中に射殺された。五十七歳。「都市ゲリラ教程」のほかにも「ゲリラ戦の作戦と技術」「戦略的諸問題と原則」「ゲリラ戦」ほか、ゲリラ戦についての著書、論文が多い。

サンケイ新聞社出版局
東京・千代田区神田錦町3-15(☎101)/電話(295)0911/振替東京54646
大阪・北区梅田町27(☎530)/電話(343)1221/振替大阪44650

堂々182

100枚以上の写真とイラスト

第二次世界大戦ブックス

バラタイン版・日本語版権独占★各巻500円+110

最新刊

〈28〉ガダルカナル

日米“死闘の島”

ガダルカナルは太平洋戦争の転換点であった。南太平洋の小島の争奪をめぐる、日米両軍の死闘は六ヵ月におよんだ。日本軍はこの島の奪回をめざして兵力を投入したが、ついにこの島は日本陸軍の墓場となった。

グレイム・ケント/柳沢健訳



〈34〉クルスク大戦車戦

独ソ精鋭 史上最大の激突

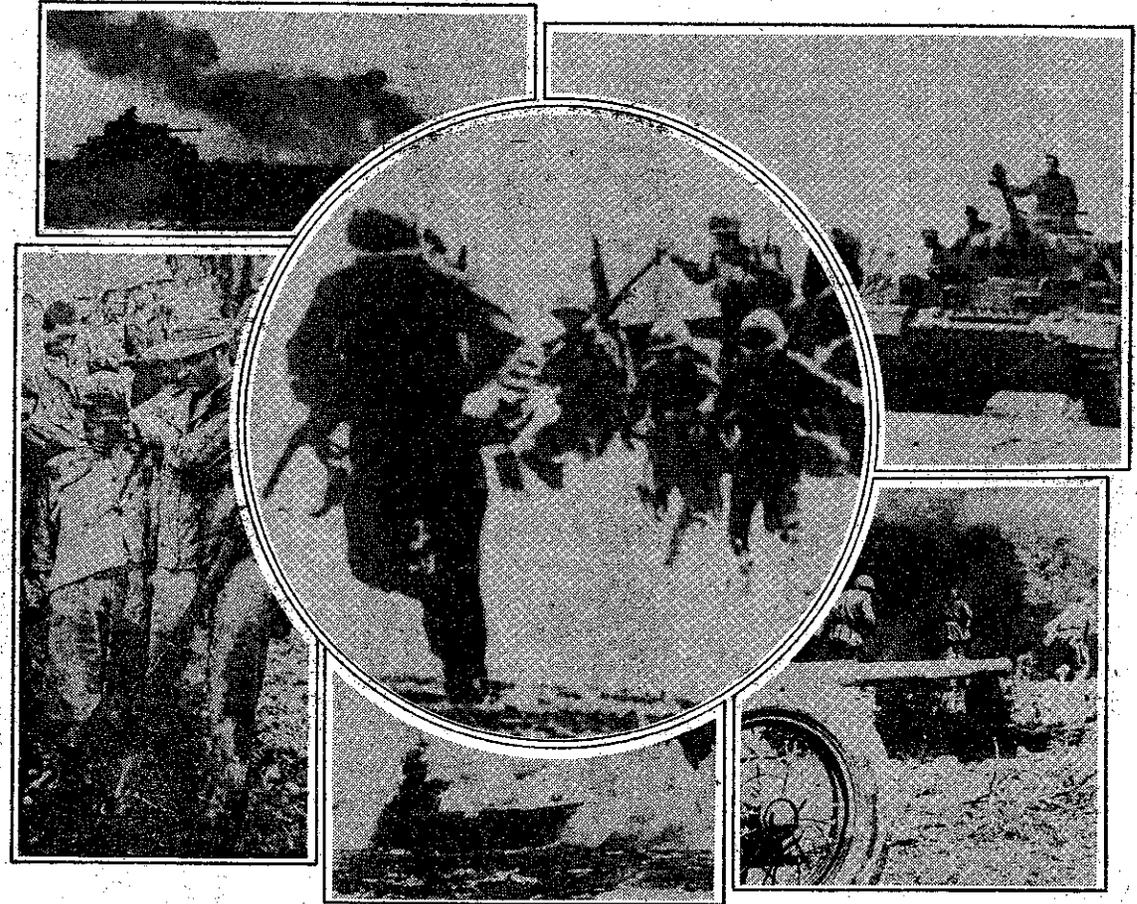
1943年の初夏、ソ連の中央ロシアのクルスクで、ソ連軍は膨大な兵器と兵員を集結していた。ドイツ軍も新鋭戦車を加え、50個師団をこの地方に向けた。ついに7月4日、独ソ精鋭の史上最大の激突の時はきた。

ジェフリー・ジュクス/加登川幸太郎訳



万9千部!

トで再現する世紀の記録!



既刊29冊!
大増刷出来

- 〈1〉パールハーバー
われ奇襲に成功せり
- 〈2〉シンガポール
山下兵団マレー電撃戦
- 〈2〉零戦ロゼン戦
日本海軍の栄光
- 〈4〉B 29
日本本土の大爆撃
- 〈5〉レイテ
カミカゼ出撃
- 〈6〉空くうせん戦
零戦の好敵手P40
- 〈7〉タラワ
米海兵隊と恐怖の島
- 〈8〉空くうほ母
日米機動部隊の激突
- 〈9〉ミッドウエー
運命の三秒間
- 〈10〉沖おきなわ繩
陸・海・空の血戦
- 〈11〉ゲシュタポ
ユダヤ人大虐殺/強制収容所の全貌
- 〈12〉メッサーシュミット
ドイツ空軍のエース
- 〈13〉V1号V2号
恐怖のドイツ秘密兵器
- 〈14〉パリ陥落
ダンケルクへの敗走
- 〈15〉ドイツ機甲師団
電撃戦の立役者
- 〈16〉スピットファイア
英国を救った戦闘機

- 〈17〉スターリングラード
ヒトラー野望に陥る
 - 〈18〉ロンメル戦車軍団
砂漠の狼
 - 〈19〉ドイツ空軍
ヨーロッパ上空、激戦なし
 - 〈20〉Uボート
海の狼あちの船団を追い
 - 〈21〉天皇の決断
昭和20年8月15日
 - 〈22〉ヒトラー
伍長から独裁者へ
 - 〈23〉マッカーサー
東京への長いながい道
 - 〈24〉神風特攻隊
地獄の使者
 - 〈25〉Dデー
ノルマンシー上陸作戦
 - 〈28〉猛将パットン
ガソリンある限り前進せよ
 - 〈31〉ヒトラー暗殺事件
世界を震撼させた陰謀
 - 〈32〉壮烈ドイツ艦隊
戦艦「マールク」の出撃
- ◎オールカラー版
別写真イラスト満載
ナチ独逸
ミリタリー・ルック
制服制帽から数着・ソックス・後軍まで
ONZYKBOOK
- 売り切れの節はお近くの書店か、サンケイ新聞販売店へご予約下さい。



●豊島美名子さん(三) NOA勤務
連合赤軍の総括が、なぜリンチという形をとらなければならなかったのか、理解できませんし、そういった彼らの行動を全面的に否定します。

けれども、私刑を受けた人の中に、進藤さんの名前があったのには驚きました。進藤さんは秋田高校時代の先輩で、私の仲のよかった友人のお兄さんと知り合いだったことから、面識があったのです。進藤さんは当時から生徒会で活躍していましたし、高校時代から左翼的な事柄に興味を示していたように思います。

私が東京に出て来て、以前、渋谷で一度お会いしました。服装は黒いトックリのセーターに黒ジャンパーで、少し病的で異様な感じを受けました。「いま、どこにいらっしゃるのですか」と聞いてみたら、「横浜にいます」と、陰のあるような声で答えました。

進藤さんの「お茶でも飲みたいんだけれども、いまはちょっと」という言葉が最後になってしまいました。こんなことになるのでしたら、もっと話して

おけばよかったですかと思っていました。

リンチをやった人々の存在すら信じられないのだから、進藤さんがこんな形で殺されたしまったことも実感として湧いてきません。

●山口君江さん(三) 『某商社勤務』
「連合赤軍兵士に捧げる詩」
「僕はいつも夢を食べてる
真暗な世の中を明るくしようと
して
連合赤軍も大きな夢をみていた
われわれ先輩の大人どもは信用
ならない
ごまかし、へつらい、うらざり

●直井由紀子さん(三) 『三越本店勤務』
「まさか」と思いましたわ。虫けらのように、総括という革命用語で私刑を執行したこと。なんと理クツをこねようとして、これは、殺人事件なんですわ。むつかしいことはわかりませんが、何人も殺して、なにが革命なのかしら。凄惨な虐殺と聞いて、背筋が寒くなりました。彼女、永田洋子という女性ね。彼女

●荒井ちあ子さん(三) 『日本航空勤務』
まず、あのニュースを聞いて、多くの人が死んだことを知り、胸が苦しい感じがしました。私も学生運動を身近に経験した時思ったのですが、左翼の人々は、思想を自分自身と一体化して考えていたようです。

闘争の方法が間違った方向へいったならば、こうなることも当然と予想していましたが、この事件を知ったとき意外さはあまりありませんでした。彼らが馬鹿というのではなく、加害者、被害者が、既に判ら



OLザブローマンは赤軍事件

総括をどう受け止めたか

連合赤軍「リンチ事件」の主役は、ほとんどが十九歳から二十四、五歳までの男女であった。マジメに就職すれば、あるいはこんな事件は起こさなかっただろう。そこで彼らと同年輩の、OL、ビジネスマンに、その心情をこくと聞いてみた。

理想と行動があまりに違う

●目黒純子さん(三) 国際アクテレス勤務
ふだん彼らが口にしてる理想と、実際にやっていることがあまりにも違うので驚きました。それとも、人間は追い込ま

でも、犯人たちを憎んでも、その人の家族などへ脅迫電話をかけたあたりにはいけないと思えます。親に責任があるという説もありますが、思想は親子、兄弟でも別々で自由ですから、家族に全く関係ありません。

●松田陽子さん(三) 『朝日火災勤務』

次から次へとはいって、二エースを見聞して、たまらない恐怖心を覚えました。同じ世代の同性が、あの仲間にはいったことが信じられません。せっぱつまった状態では、いくら異常になるとはいえ、もはや彼らの主張は何もなく、単なる暴力団と変わりがありません。

●山口君江さん(三) 『某商社勤務』
「僕はいつも夢を食べてる
真暗な世の中を明るくしようと
して
連合赤軍も大きな夢をみていた
われわれ先輩の大人どもは信用
ならない
ごまかし、へつらい、うらざり

●荒井ちあ子さん(三) 『日本航空勤務』
まず、あのニュースを聞いて、多くの人が死んだことを知り、胸が苦しい感じがしました。私も学生運動を身近に経験した時思ったのですが、左翼の人々は、思想を自分自身と一体化して考

闘争と自己が一体化している
と強がりも言っている。本当
は平凡な生活に對して、憧れを
もっていたのではないでしょう
か。

リンチには反撥を感じていて
も、闘争という名目のために、
その気持ちを押し殺していたの
でしょう。

このニュースを聞いた時、私
は、NHKのテレビドラマ『黒
い群像』に類似点を見出しま
した。

学生運動で、やはり些細なこ
とで仲間の男を殺し、その後、
残りの人々は平凡な市民となる
のです。何年後か、過去をその
ままにして生活してゆくことに
耐えられず、再び仲間を呼び出
して総括するという筋なので
す。

このドラマを思い出すと、何
か今回の事件が、そのフィク
ションの裏付けのような気がしま
す。

水田という女の人について
は、やはり理性的ではなく、感
情的なものが根底にあったと思
います。

自殺する時と同じ気持ちで行
動したのではないかと想像しま
すが、単に気遣いざたとして言
い切れない何かが存在するよう
な気がします。



変わり果てたわが子の姿をみて悲しむ肉親

●大田八重子さん(三)

「川崎重工」勤務

このまえなんかも、ある評論
家がテレビでもって、世の中の
ひずみがうんだ落とし子だなん
かいつていました。ぜんぜん
関係ないと思うんです。あとい
う、世の中のすべてのひとの驚
愕をかうような殺人鬼、みた
いなことをやる人は、学生であ
ろうが、白人、黒人であろうが、

もう人間として完全に失格だと
思います。だから女性の立場か
らいっても、彼らみたいな残酷
な人間を処刑しなければ、だれ
が処刑になるんですか。

昔だったら獄門台のさらし首
ってことでしょう。弁護の余地
ぜんぜんありません。世の中を
「騒然」とさせるだけで、革命
だなんて叫んでいるのがおこが
ましいわ。
自分たちのエゴだけで、突っ

走る自己満足のみですもの。で
も私たち同じ世代のものから、
ああいう精神的な破綻者がた
ことを思うと、さびしい気がし
ますし、世の中の違う世代のか
たがたには、すまない気がしま
す。

いまからいっても遅いんですし
ようが、例の東大の安田講堂く
らいまで、学生運動はブレレ
キをかけておいたらと、悔まれ
てなりません。

●高橋元女さん(三)

「マスケン」勤務

あの人たちのやったこと、問
違っていると思います。どこが
どう違っているか、うまくはい
えませんが、とにかく間違っ
ています。

あんな残酷な殺し方をしなく
ては革命がでないのなら、私
はすべての革命を否定します。
ヒューマンイズムのカケラもな
いじゃありませんか。ヒューマニ
ズムがなくて、なにが革命です
か。

それに同志愛というものもな
い。あの人たちの心は、みなバ
ラバラだったのじゃないでしょ
うか。

あさま山荘事件が起こったは
じめのうちは、あの人たちに同
情する気持ちがまだ少しは残っ
ていたけれど、あの大衆殺人の

ことやリンチのようすを知って
からは、理解しようという気も
なくなりました。
おそろしいというより、思い
出すのもイヤな事件ですね。

●星 恵美子さん(三)

「丸善」勤務

連合赤軍の私刑事件を知った
時、真っ先に去年見た近親相姦
のギリシャ悲劇を思い出しまし
た。

兄と妹が互いに愛し合ひ、結
ばれぬ恋の故に、妹を殺してし
まうのです。そして彼女のお腹
を剣で切り裂いて、宿していた
赤ちゃんを取り出して、剣の先に
赤ちゃんを刺して父の顔へ、行
き、二人が結ばれるのを反対し
た父親を殺してしまう話です。
連合赤軍の私刑とは、その残
虐性、殺し方がとても似てい
るように思えます。

あさま山荘事件までは、彼ら
を全面的に否定出来ない、彼ら
には彼らなりの思想があると思
っていました。この世の中で
は、何が一番正しいか、一概に
言えませんから……。

でも、虐殺の理由が思想的な
ものではなく、些細なことであ
ったと知り、とても話にならな
いという印象を受けました。彼
らの行動があのような結果に終
わったのは、首謀者の中に女性

がはいっていったからではないで
しょうか。
最初は他人事のように思えた
けれど、殺した人々の中に女性
が多かったことから、女性の
中には、感情が一つの対象に向
かって尖鋭化してゆく要素が強
いかもしれないと思いまし
た。連合赤軍の中に、あのリン
チに加わり、赤ちゃんを捨てて
逃げた女性がいたけれど、私な
ら、最後まで夫と生活をいっし
よにします。

●池田泰子さん(三)

「帯人」勤務

大変なショックでした。あさ
ま山荘くらいまでは、彼らの思
想というものが、女性としてな
んとなくわかったような気もあ
りましたけれど、身重である金
子みちよさんが、ラーメン一杯
か二杯多く食べたとかで、グサ
リ心臓ひたさしてしよう。すご
いというか、常人としての領域
を完全に脱している異常人の行
動という感じ。わかりません。
女性のリーダー格であったと
いうより、連合赤軍の頭領でも
あった水田洋子の行動なんか、
同じ女性としてみても、到底理
解しがたいですね。自分が、色
黒で、ギョロ目、土歯がやや出
た感じのコンプレックスがあっ
たとしても、あのひとなんかよ

り、もっと醜女の人間だって女
の中には、たくさんいるでしょ
う。「もっとやれ、つよくつき
させ」なんて、思っただけでも
ゾーとしますね。
いくら女の業といったって、
これほどすごい女の業はありま
せんよね。日本女性史の悪女伝
にのこるナンバーワンじゃあり
ませんこと。

●天川久美子さん(三)

「オクノ商事勤務

水田洋子って精神的に病気が
あるんじゃないでしょうか。写
真で見た感じでは美しいないか
ら、しつとが心の底にあり、ま
た革命への運い歩みが欲求不満
の形として、同志へ八つ当たり
し、殺人となつたとも思えま
す。

暴力を使わないで論理とか説
得で、相手を屈服させる力が洋
子にはなかったたのせいでしょ
うか。
戦争を知らない人たちが、戦
争に反対し、銃で戦うという心
理が私にはわかりません。殺さ
れた家族のかたが気の毒でなり
ません。昨日まで苦勞を共にし
てきた同志たちになぶり殺しに
されたなんて……。
森、洋子は死刑にしてやっ
たほうが良いと思います。いいえ
報復という意味でなく、何十年
か先に処刑しても、彼らへの憎

しみが消えていないでしょうか
ら……。

●芝崎素子さん(三)

「キノプロ」勤務

あの人たちがやったことは、
あまりにも過激すぎて理解でき
ません。「紙を取ってくれ」と
いっただけで、「革命的なS」
とリンチされたり、同志を疑っ
て次々に殺したりする、仲間同
士を信じ合えないようでは最後
には自分一人になってしまうの

もはや暴力団と変わりない

サラリーマン編

●吉田憲二さん(三)

「名鉄観光サービス勤務

連合赤軍のリンチは、彼らの
組織内部の分裂、意見の対立等
によって、さまざまの意味で憎
しみ合った結果だと思えます。
異常な組織の中にいたからこ
そ、あんなことが行ない得たの
です。
これは想像ですが、人を殺す
のは、ある快感が伴うのではな
いでしょうか。彼らは一度犯し
た殺人の快感で、たてつづけに
仲間を殺していったのかもしれ
ません。
彼らの行動の発端は、左翼思

ではないでしょうか。こんなこ
とでは革命なんかとでもできま
せんわ。
これからはしっかりと教育
で、彼らのような異常人間がで
ないようにしたいのです。あ
れだけ多くの人を殺したのです
から、自分もあの人たちと同様
(死刑)になるべきでしょうね。
思想的にはわかると思ってい
たのですが、こんどのごとで全
く彼らの真実を知り、がっかり
しました。

もはや暴力団と変わりない

サラリーマン編

●高橋元女さん(三)

「マスケン」勤務

あの人たちのやったこと、問
違っていると思います。どこが
どう違っているか、うまくはい
えませんが、とにかく間違っ
ています。

あんな残酷な殺し方をしなく
ては革命がでないのなら、私
はすべての革命を否定します。
ヒューマンイズムのカケラもな
いじゃありませんか。ヒューマニ
ズムがなくて、なにが革命です
か。

もはや暴力団と変わりない

サラリーマン編

●高橋元女さん(三)

「マスケン」勤務

あの人たちのやったこと、問
違っていると思います。どこが
どう違っているか、うまくはい
えませんが、とにかく間違っ
ています。

あんな残酷な殺し方をしなく
ては革命がでないのなら、私
はすべての革命を否定します。
ヒューマンイズムのカケラもな
いじゃありませんか。ヒューマニ
ズムがなくて、なにが革命です
か。

●浜中 勝さん(三)

「ゼロックス」勤務

連合赤軍の一連のリンチ事件
のニュースを聞いたとき、確か
にその異常な残酷性に驚きまし

●佐藤吉弥さん(三)

「マックス」勤務

彼らは、一般民衆の捨て石、

になつたつもりだろうが、被害妄想もいところだね。囲碁の捨て石でも、あんな捨て石、への役にもたないよ。迷惑至極です。政治をもて遊んでる気がします。相当ズレている頭腦の持ち主ですよ。どうみたら最高学府をでた人間のやることではありません。

日本人に大きな課題を……

小山田弘さん(三) 「ミサワホーム」勤務
心の中では、ショッキングな大畜生におとることを平つちやらでやった連合赤軍なんて、じつにくだらぬ奴らだとおもいながらも、考えさせられるなにかがあるって感じがする。
現代の世の中ってものは、これ以上にくだらぬことが多すぎる。
いい年をしたおとなが、やれボルノ解禁は日本ではまだ早すぎるなんて、長時間かけてテレビで論じているし、われわれ若

きちらして、市民は本当に困っている。そこで彼ら赤軍派が先頭になって、本当の意味での市民運動をおおびしめたら、日本の国民すべてが感謝感激されますよ。情しい気がします。
だから、いまの京浜安保や赤軍派の残党は、ここで心をあらたにして、本当の市民運動をやつたらいい。赤軍派のイメージは悪いから、青軍派か、黄軍派に名前をかえて出なすべきですよ。もうこれ以上、彼らが過激な行動にでたら、変な意味の刑法改正がおこって、暗いムードがいっぱいになる。

彼らみずからが、週刊誌が好む「男女の相姦図」とやらを、無料で提供するハメとなった。彼ら赤軍派の幹部も、一度はサラリーマン生活をやってたら考えもずいぶん変わったかもしれません。しかしそんな考えは甘いかもしれない。彼らとしては学生時代の、純な気持ちで、ある目標に向かって「奮進」し、自爆してしまつた。きれいな生きかたかもしれない。管理社会にはない生きかたをした。そんな意味では、バツと散る。桜、みえない、いさぎよさも感じるなあ。

れたあの事件の異常さには、嘔然としました。極限状況では、こんなことも起こり得ると考えられますが、やはり彼らの感覚は、私のそれとは、ハッキリ違ふと思ひます。
私は連合赤軍の女性たちを個人的には知りません。マスコミからは情報を得るだけですが、やはりあの事件には女性の体質からくるヒステリックな面が、強く出ているように思ひます。
本当に女性(水田洋子)が、あの組織の中で権力を握っていたとは、いまもって信じられません。

という気がするうえでは、わかりませんよ。
サラリーマン生活をやってると身にしてみても、わかりますよ。赤軍派の彼らが、われわれのストレスを代弁して、バカとやつたとすれば、カワイソウではあります。われわれの犠牲者として、尊敬するというおかしですが、わかるんだなあ。まあ、しかし行動は過激すぎました。

●小牧弘幸さん(三)

「日商岩井」勤務
あの事件の印象を述べるならば、言語道断であり、嫌悪感を催す。人を殺したことは、何といおうと誤りである。ある新聞で読んだのだが、誤りは誤りとして認めようという意見があった。実にその通りで、彼らに対する弁解の余地はないであらう。

私が学生時代にも、学生運動はあつたし、理論の相違による内ゲバも知っていたから、理論的には予想がついたが、現実には考えられなかった。
西欧、ロシア等には歴史的にリンチの類は多かったが、日本にはまれだと思ふ。
あの事件には、女性のヒステリックな面がかなり出ているのは確かだと思ふが、あの集団を



横山山麓一帯に広がった死体はついに十二体に

支配していたものは、恐怖心の集合体であつたよな気がする。
彼らが逮捕された後で泣いたのは、一種の酔いがさめたよな状態ではないだろうか。

●朝日奈雅二さん(三)

「株式会社」北斗勤務

彼らがあさま山荘にたてこもつたとき、「お前は昔から頭がよかつたし間違っていない」と呼びかけたお母さんがいたが、あのお母さん、いまでも自分の息子が、間違っていない、頭がいいと思つているかな。
本当に頭がよかつたら、あんなこととするのか。自分の息子を信じるのはいいが、なんでもかんでも信じるのは盲愛だよ。

●鈴木俊明さん(三)

「日本石油」勤務

カワイソウな敗北者の姿ですね。それも追いつめられた人間の最後のアガキをみましたね。彼らにとっては、あさま山荘にしても、リンチ殺人事件にしても、すべて生き残りつて法の裁きをうけるのが、勝利なのではないか。

●森善治さん(三)

「昭和コーリア」勤務

「あさま山荘」にしろ、一連のリンチ事件にしろ、マスコミが表面的なとらえ方しかしてないことに反撥をおぼえます。リンチ事件は、彼らにしてみれば、起こるべくして起こつたのだと思ひます。しかし、マスコミはそれを単にリンチとしてとらえるのではなく、もっと根本的な原因を探るべきではないでしょうか。彼らをあのような行動に走らせた原因の一つに、私は政治の悪さも数えることができると思ひます。
しかし、仲間同士で殺し合つた死体が、次から次へと発見さ

●時田重雄さん(三)

「帝人」勤務

彼らスコイことをやつたなという感じですね。僕なんか学生時代、ノンセクトだつたから、肌身でもって学生運動の最前線はわかりませんが、でもね、新聞が報ずるあの一連の事件後報告をみていて思うんだけど、心情的にはわかる気もするんです。
というのは、彼らという薄情総括は、分派行動を起していく者に対しては、徹底的にこれを備み、片づけていかなければ、まともがらつきませんからね。いつてみれば、組立作業をやつていくうえの手段でしょう。これ以上の方法がなかった

●革命の論理は崩壊した

●一戸哲夫さん(三)

「銀行時評社」勤務

まったく狂気のさたというべきだ。彼らの行為には何ら同情の余地はない。かつて彼らが主張していた日和見主義者に対する糾弾は、問題意識に欠けるくらいがあつた日本人への警告として、あるていど評価していいのだが、彼らの主張する革命の論理は、ここにきて、ハッキリ崩壊したと見るべきだ。金融機関への襲撃、そして集団虐

が親というものだ。そうでなければ親の資格はない。また「頭がいい」といつたって、学校の成績だけで判断しちゃうの。学校の成績がよくおとなしければ、それで「いい子だ」と思つて親が多いけど、そんなものじゃなと思うな。そんなことだからあんなキチガイができてしまうんだ。あいつらのやつたこと、あれはキチガイとしかいえないよ。正気のさたじゃないよ。兵士が間違つていたら、それを矯正してやるのが指揮者だ。なのにいきなり殺しちゃうんだからヒドイよな。彼らには愛とか革命を説く資格はまったくないといえるな。

●内藤明さん(三)

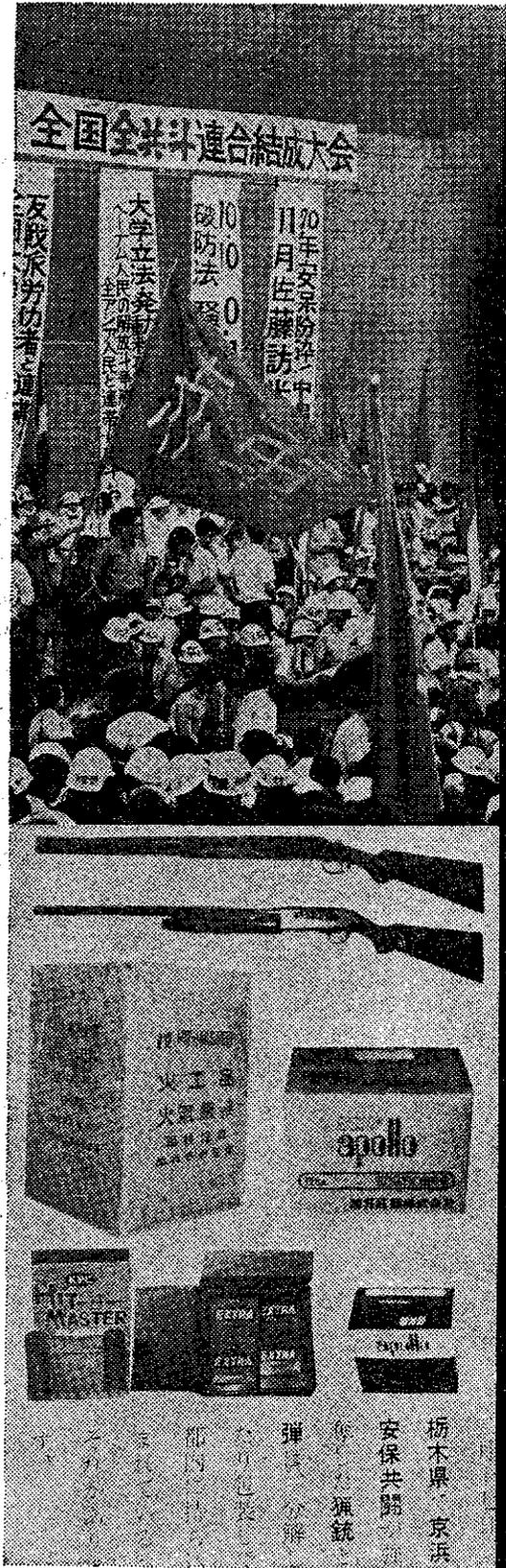
「関口商事」勤務

彼らが考えていること、やつたこと、アマイの通り越してキチガイだよ。ま、水田洋子一人にかきまわされ、引っぱられたのだから、男たちもなげない野郎たちだ。
しかし、女つてこわいな。あんな残酷なことを平気で指図できるんだからな。
あれは革命だとか現在の政治に対する抵抗だなんて考えたら間違つてるよ。あれは要するに、ダダっ子だよ。手当たり次第に当たり散らしているだけだよ。そして水田洋子はキチガイ番長というところだな。
普通ならもっと早くグレて、もう足を洗つちゃう時分なんだけど、なまじつか大学なんかいって、マルクス主義なんか聞きかじつてからグレたんだから始末が悪いよ。それにヒステリーが加わつてくるからどうしようもない。ところがそれに引っぱり回されちゃうのだから、連合赤軍っていうのもたいしたことないな。結局はアタマが悪いんだよ。

早くも現われた

連鎖反応と革命の条件

3・15集会を機に武装蜂起もエスカレートか



連合赤軍の「あさま山荘」銃撃事件、つづいて大量リンチ殺人事件と、世間はショックを受けたが、新左翼各派がどう受けとめたか、その反応ぶりは、まことに興味深い。警視庁当局でも、

「目下、各派の反応、こんどどう出るかを、鋭意分析中なんです。まだとても公表できる段階ではありませんが……」(広報担当の斎藤幸一郎管理官)

と慎重な態度だ。

こんどの事件については、いち早く反応をよめたのは、連合赤軍の救済組織である日本赤色救済会だ。

「連合赤軍の統率戦を断固支持する。また、党内闘争」が明らかになったが、人民内部の矛盾は、人民の手によって解決され

改むるに遅きはなし 赤軍派

連合赤軍の「あさま山荘」銃撃事件、つづいて大量リンチ殺人事件と、世間はショックを受けたが、新左翼各派がどう受けとめたか、その反応ぶりは、まことに興味深い。警視庁当局でも、

「目下、各派の反応、こんどどう出るかを、鋭意分析中なんです。まだとても公表できる段階ではありませんが……」(広報担当の斎藤幸一郎管理官)

と慎重な態度だ。

こんどの事件については、いち早く反応をよめたのは、連合赤軍の救済組織である日本赤色救済会だ。

「連合赤軍の統率戦を断固支持する。また、党内闘争」が明らかになったが、人民内部の矛盾は、人民の手によって解決され

誤りをなくす方向で真剣に努力すると結んでいる。

威勢のいい『もっぶる通信』としては、異例中の異例の反省調。ショックがいかに大きかったかが、ありありとわかる。

身内にして、このショック。ましてや、新左翼各派ともなるとショックの現われ方は、複雑微妙で、なかなかつかみにくいのが実情だ。

各派とも、しばらく鳴りをひそめていたが、三月十五日の夜に「沖縄返還協定批准書交換粉砕集会」が、東京各地で一斉に開かれ、デモ行進が行われた。

この3・15集会で、新左翼各派の反応ぶりが、はじめて表面化した。

どの集会場も参加者が少なく、気勢のあがらないことおびただしい。デモ集会参加の申請人数と参加者実数とのズレをみれば、一目瞭然だ。

警視庁調べによると、日比谷野外音楽堂に集まった革マル派は六百二十人だが、申請したのは八百人。芝公園で集会した中核派は五百六十人(申請は千人)、フロント(中央区の常盤公園)は申請三百人の半分、百五十人しか集まらなかった。

また、渋谷・神宮通り公園に集まったフロントさき派も、申請五十人に対して、実数は二十九人と、これもさびしい限り。

ただ、連合赤軍に対して終始批判的だった反帝学評(千代田区の水谷公園)は、申請五百人に実数も五百人と出席率一〇〇%、ショックが意外に少なかったことがうかがえる。

なかでも不気味なのは、六本木・三河台公園で集会したブント叛旗派で、申請百人に対して

実数は九十人。人数は少ないが、もともと赤軍系で、一連の事件を評価しているだけに、打率九割は注目に値する。

3・15集会で、やっと各派とも勢ぞろいした格好だが、それにしても、いままでの沈黙ぶりは、異常に長かったのも確か。

この間の事情を、学生問題評論家の中島誠氏は、つぎのように解説する。

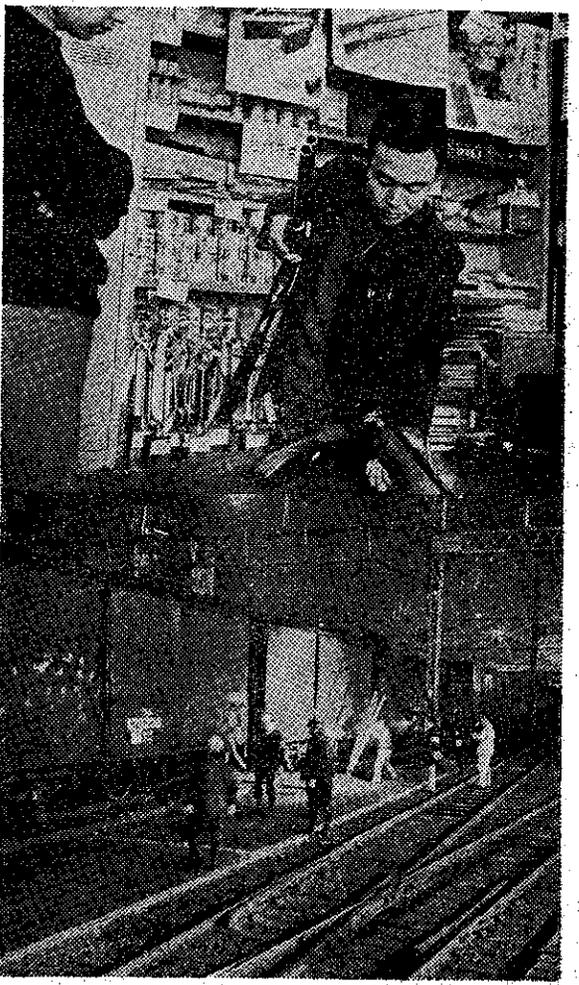
「三月末までは、各派とも『礼讃』一色でした。赤軍の『資金』と京浜安保共闘の『銃』とが合体して、爆弾ブラス銃撃戦時代への突入の進路を切り開いた、という評価ですね。しかも、たった五人の小部隊で、人質はあったとはいえ、あれだけ『あさま山荘』をもちこたえさせたからね。

ところが、そのあとの大量リンチ殺人の発覚で、各派とも、とまどってしまったわけですね。聞くところによると、京浜安保共闘の創設者の川島豪三(横濱拘置所で拘留中)も、話を聞いてあわてふためいたそうですから、各派とも混乱したのは当然といえは当然ですね」

3・15集会で、やっと立ち直りのキザンを見せはじめた、といっているのだらう。



過激派と機動隊の衝突はまだつづく……



「奪われた銃はこれと同じ」と愛い顔の真岡の塚田元成・銃砲店主(京浜安保の火災ビン攻撃をうけた米軍爆撃列車)

権力も最後の段階と強がり

ところで、3・15をキッカケに表面化した各派の反応だが、「ザマアミロ」といいたげなのが革マル派。もともと連合赤軍のハネツ返りの行動には批判的で、最初から赤軍派と京浜安保共闘の合体を「野合」ときめつけて、「孤立し、追いつめられた状況の中で、反代々木系左翼運動史上、反マルクス主義の本質が悲劇的な形態で爆発したものには

かならない」と、わかたつような、わからないような見解を出している。上部団体の朝倉文夫書記長は胸をはって、「一連の事件は、まさに連合赤軍の妄想的な行動で、醜悪な結末しかもたらさなかつた。武装蜂起妄想集団の行きつく先を自己暴露したものであり、支持する一片の余地すら存在しない」とクソミソにやつつた。

しかし、武闘については否定していない。情勢が熱し、権力との闘争が白熱点に達したときには、武闘に踏み切ることになるだろう。最近、過激派グループ内部で穏健集団とからかわれていることへの牽制ともみられる。

第二、第三の連合赤軍誕生か

もちろん、評価するグループもある。赤軍派とは派生的に兄弟分のブントさざき派は、「あさま山荘」事件とリンチ殺人とを区別

粉砕一本ヤリに取り組んでいるのだから、一連の事件については、目的外のことなので、いっさいノーコメント」

「機関紙」解放「三月一日号には、『あさま山荘事件』だけにふれてはいるのですが、この事件すら評価してないんです」(中島誠氏)

その「あさま山荘事件」について、「連合赤軍の活動は、ブチブチ急進主義の破産と敗北、その戦略、戦術の目に見える公然たる破綻である」ときめつけており、まして大量リンチ殺人は論評する価値もない、といった見方。ノーコメント派というよりは、無視派とつたほうが、適切かもしれな

トで通し、苦しい胸のうちをかたくして、「ノーコメントを貫くことが、いまの段階では、もっともハッキリした意思表示だ」とリキんだあと、「ヤツら(革マル派)がしゃべればしゃべるほど、K・K連合(警察と革マルはグルだという意味)の本質が暴露される」とニクニクしただ。ノーコメントとはいいなから、「銃撃戦は弁護できないが、それ以後のことは、大衆路線をはずれた当然の帰結、それよりも注目すべきなのは、追いつめられた権力が、中核派の松尾真委員長への破防法適用など、すさまじい弾圧をかけてきている。権力も最後の段階だ」と問題のすりかえ、強がりとも



連合赤軍のアジトには武器品が隠されていた。過激派グループの「あさま山荘」での銃撃戦は評価できるが、大量リンチ事件には批判的、とみてよいかもしれない。

権に引き上げたものとして、われわれは、その正当性を高く評価し、断固として支持を表明する。現在、連合赤軍に対しては、権力による狂乱の反革命が吹き荒れているが、われわれは連合赤軍の戦いを引き継ぎ、いまこそ先進国武装闘争のノロシをあげなければならぬ」(さらざ徳二議長)

銃撃闘争ありえずと公安当局

過激派各グループの反応は千差万別だが、大ざっぱにいうと「あさま山荘」での銃撃戦は評価できるが、大量リンチ事件には批判的、とみてよいかもしれない。銃撃戦を各派が評価するのは、武闘の形態として、いままで行なわれなかつた画期的な手段だからだ。このことは、過激派グループの武闘の歴史をさかのぼってみれば一目瞭然なのである。

武闘の形式にもパターンがある。まず、ベンチやハンマーを持った特殊工作隊がバリケードを破壊すると、投石隊が投石する。つづいて、突撃隊が角材を振り回して突入し、さらに「ゲバ棒隊」が突っ込んでいくという形だ。四十三年代の武器も、原始的なものが多かった。成田や王子闘争で使われたのは、ふん尿をビニール袋に入れた「ふん尿弾」、とうがらしを入れた薄ビニールか砂袋などの「目つぶし」、直径一・五センチから三センチ、長さ六センチから十センチの「角鉄片」、「竹槍」といった武器が中心で、ありあわせ兵器という感じだった。それが、四十四年二月の東大安田講堂での闘争敗北以来、街頭ゲリラに戦術転換し、主武器は火炎ビンに変わった。前年十月、日大郡山校舎で使

われた火炎ビンは、ビールビンにガソリンをつめ、布切れに火をつけて投げるといふ原始的なものだったが、四十四年代には、揮発性のものに変わってきた。そのほか、凶器も、ありあわせのものから、硝酸、塩酸、硫酸、塩化ベンゾールなど、化学薬品中心へとエスカレートしていった。四十四年の後半からは、火炎ビンのほか、ピースカン爆弾、ナトリウム爆弾、鉄パイプ爆弾、時限ダイナマイト爆弾などが、アルベルト・パヨの『ゲリラ戦教程』、『栄養分析表』、『藩旗の詩』などを教科書にして、やがて火炎ビンに変わって、武器の主役として登場してきた。四十五年から四十六年にかけては、手製爆弾時代となり、横田基地、立川基地などの基地のほか、日比谷公園、小金井市、賈井などの派出所、大阪、曾根崎、千葉、成田の警察署、警視庁宿舎などに、手製爆弾を仕掛け、さらに、土田警務部長宅での夫人爆殺事件、新宿のクリスマスツリー事件などにエスカレートしてきた。つまり、ゲバ棒、火炎ビン、手製爆弾と、武器ははだいに尖鋭化して、手製爆弾による武闘が行きつまったと思われたころ

「あさま山荘」の銃撃戦へ、一気に飛躍してしまつたのである。武闘の形態が、銃撃戦となれば、こと穏やかではない。もし過激派グループの主武器が、銃になつたら、？ 思っただけでも背スジがゾッとするが、その可能性はあるのか。『あさま山荘』事件にも立ち合

い、山岳アジトにも出向いた東管区警察局長の樋口公安部長によると、「確かに、過激派グループのなかには、銃撃闘争がエポックメイキングだとして、今後、遠からず普遍化するだろう、なんていっているようだが、そうやすやすと手にはいるものではない。銃撃闘争へ移行することは考えられない。また、威力のあるダイナマイト爆弾も、アメリカのように荒物屋でも売っているような国はともかく、わが国では、これも入手しにくい」

要するに、過激派グループが指向する銃撃闘争はおろか、ダイナマイト闘争すらおぼつかまい、という見通しなのだ。しかし、現実には、京浜安保共闘のメンバーにより、石炭岩の採掘現場から、ダイナマイト約百二十本、雷管百八十本が盗まれたり、銃砲店が襲われたりし

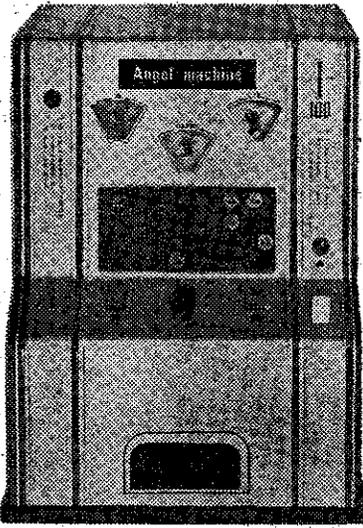
儲かる新製品

ロータリーは、パタ法にふれるので、隠しながら置かなくては「ゲーム」エンゼルマシンは、同じゲーム機

投資金は、たったの十万円から。各種の大人の娯楽機械を製造販売している東京は新橋の大洋興産が、今年一月から新発売している「エンゼルマシン」は現在、色々リース機械が発売されているが、このエンゼルマシンに勝てる物はないでしょう。

ロータリーは、パタ法にふれるので、隠しながら置かなくては「ゲーム」エンゼルマシンは、同じゲーム機より故障が少なく、万一故障してもアフターサービスの良い会社

売価 ¥106,000



●高さ... 294mm ●幅... 232mm ●奥行... 254mm
●重量... 7.8kg ●電動式... 100V-100W

- 赤・赤・赤 (青チップ1枚)

明書を無料で送ってくれます。次にリース機械の絶対必要三条件を紹介しよう

第三にアフターサービス。機械には故障がつきものです。より故障が少なく、万一故障してもアフターサービスの良い会社

電話東京〇三二一 (四三三二)七五八六(代)

社を渡すべきものです。大体以上の三条件を頭に入れてからリース業(サイドビジネス)をお始め下さい。

ご自身でお店を運営なさっている方は、この限りではありません。

九州地区の方

当地方は今年四月より百円札から百円硬貨に変わるので、特に引き合いが多くこの度、九州地区に営業所を設けましたので、直接お問い合わせ下さい。

大洋興産株式会社(熊本営業所)
熊本市水前寺三ノ十ノ三十
電話〇九六三二一
(六四)二八九一

サイドビジネス情報

どうです、あなたもオーナー になってみませんか?

第一に設置場所
どんな良い機械でも場所に依って、かなりの違いがでてきます。

第二に商品の選択
やはり現在流行しているもの、又これから流行しそうな物を選ぶべきです。

社を渡すべきものです。大体以上の三条件を頭に入れてからリース業(サイドビジネス)をお始め下さい。

ご自身でお店を運営なさっている方は、この限りではありません。

九州地区の方

当地方は今年四月より百円札から百円硬貨に変わるので、特に引き合いが多くこの度、九州地区に営業所を設けましたので、直接お問い合わせ下さい。

大洋興産株式会社(熊本営業所)
熊本市水前寺三ノ十ノ三十
電話〇九六三二一
(六四)二八九一

尖鋭化する過激小グループ

ところで、こんどの連合赤軍の一連の事件に、とまどい、黙殺、支持、批判...と、さまざまの反応をみせた各派は、こんど、どのような動きをみせることが予想されるか。

中島誠氏は、

「各派とも、赤軍は絶対に消えないという見通しをもってます。塩見孝也(赤軍派議長)が釈放されることなく、また田宮高唐(赤軍政治局長)が北朝鮮から帰国しなくても、新規加入者が、あとを断たないので、再建は可能だとみています。これを前提にして、各派とも動くでしょう」

まず考えられるのは、中核派を筆頭に、ブントさらぎ派、叛旗派、第四インターなどが、

「このさい、赤軍が再建される前に、革命グループのイニシアティブをとってリーダーになる」と

と動きだし、ことに小グループの過激化が一段と尖鋭化する可能性があるという。

「ですから、連合赤軍の壊滅で銃撃闘争が終幕したとはいえない



過激派学生が使用したダイナマイトと火炎ビン

なしには、市民が枕を高くして寝るわけにはいかない、というのが実情であろう。

い。少なくとも、まだまだ爆弾事件はつづくと思えますよ」

「どうやら楽観は許さないようだが、当面の各派の動きは、静かになるはずだともいう。

「まだ各種の爆弾事件のあと始末がついていませんからね。たとえ、明治公園で警官三十七人が重軽傷を負った事件、後藤田警察局長官らにあてた郵送小包事件、都内の警察署、交番の連続爆破事件、それから土田警務部長宅の夫人爆殺事件、新宿のクリスマスツリー事件など、いままでも連合赤軍の仕わざとされてきたが、この取り調べの結果いかんでは、他派への追及がきびしくなります。

確論はできないが、時間的にみて、連合赤軍ではないほうの可能性が強い事件もありますからねえ」

と中島氏は、思いきった推論を展開する。

事実とすれば、各派とも、ヘタに動けばヤブヘビになる恐れがある。当然、首をすくめて静観する可能性も強い。

しかし、意外な波紋を指摘する声もある。学生運動に精通するある評論家によると、

「多くのセクトが衝撃を受けているのは、長野県長野署に自首した岩田平治の自供ではないだろうか。岩田は単なる兵士にすぎないのだが...」

岩田は、森恒夫ら連合赤軍の中央委員メンバーのことを「おそろしいお上」といっている。

「幹部と一般兵士との関係は、徳川将軍と水飲み百姓の関係とまったく同じだった。兵士ら水飲み百姓がお上のいうことに逆らうと、すぐ処刑されてしまうんだ」と語ったことが、まず各セクトのリーダーや幹部に衝撃を与えた。

「幹部たちは、強い指導者になろうとして、理論で共鳴者を引きずっていき、理論の共通性は、封建性ナンセンス、帝国主義打倒、人民のための共産主義国家建設」というウタイ文句だ。これは、どのセクトもそうだし、連合赤軍にしてもそうだった。

また、連合赤軍が、RG(エル・ゲー)がつくった十二ページ三節十七章からなる服務規律をマネたが、鉄の規律が必要なのは、各セクトとも同じ。

だから、圧制と搾取の封建性」に陥った連合赤軍は、他人ごとではないはずだ」

また兵士の立場のものも、いつ連合赤軍の兵士の二の舞になるかもしれない、という恐れをもちはじめている。

大げさにいえば、公安当局の追及の手よりも恐ろしいのは、セクト自体の内部崩壊で、まさに、学生運動の危機に直面しているという見方もあるのだ。

最後に、警察庁関東管区警察局長の樋口俊長公安部長は、過激派の暴走の可能性について、

「ぼんの教人の小グループのテロ活動に監視の目を光らせている。把握しにくいところから、自衛隊朝霞基地事件のようところがポカッと出るのが要注意。関東ではRGあたりはキャッチされているが、各セクトの脱走者の動きには注意しなくてはならないだろう」

そういえば、数多くの爆破事件で、どこがやったのか解明されていないものも多い。まだ爆弾を温存している小グループもないとはいえない。

こんどの連合赤軍の事件を契機に、しばらく各セクトの静観がつづき、小グループの突発的な暴走が火を吹く、というのが当面の見通しといったところらしい。

いづれにせよ、過激派戦線は波瀾づくみといえそうだ。

★連合赤軍 外国では

連合赤軍のリンチ事件に対する海外の反響はことだった。その論評の中で、西欧諸国で指摘である。一方、共産主義国では、ソ連が中国非



事件を どう見たか

一口でいうと「やっぱり日本人は……」という
されているのは「日本人の残酷さ、不可解さ」
難の材料に利用しているのが注目される。

●英・仏の反響 集団心理から 起こった残酷性

まずフランスでは、この事件は最初非常に簡単に報じられただけだったが、十三日夜のテレビでは、死体発掘の様子を流し、「一昨年、日航機のハイジャックをした日本の赤軍派が、また恐ろしい暴力事件を起こした」と報道した。

新聞では「フイガロ」「フランス・ソワール」など著名紙も伝えたが、事件の概要ばかりでなく、その背景について、日本国内の反響の紹介と合わせて、日本人の残酷性に言及した記事が目立った。

とくに十四日付け「ルモンド」紙は、著名な知日記者ロベール・ギラン特派員の東京電報で要旨次のように詳しく報道した。「日本の新聞は事件の背景として、急激な高度成長のカゲにひそむひそみを指摘している。しかし外国人が、これだけでこれらの事件を理解するのは不可能だ。これまで日本人は軍国主義時代の残酷事件について、徹底的な検討なしに反省をせず、ほつかりで通してきた。

しかも外国人から見ると、日本人が毎日テレビやマンガなどの中で、事件が一段落したところで、詳しい解説が流される見こみのようだ。だからこれまでのところ、目立った扱いといえば、十二日付け大衆紙「ニューズ」の日曜版が「日本のギャング、血の海の中で末路をとげる」と東京発特電を載せ、「過激派共産分子同士が、理論とセックスとマネットをめぐる紛争で、妊娠している女を含む裏切り者を人民裁判にかけ、リンチした。これはシャロントート事件の日本版だ」と述べた。

ただ親日米国人たちにとってショックだったのは、戦後、おとなしく礼儀正しい日本人」というイメージが定着しかけてきたところに、こんな大規模なリンチ事件が起こったことだ。先頃来日したリンゼー・ニューヨーク市長も「東京はニューヨークに比べ、何と犯罪の少ない平和なところか。この秘密を知りたい」と真剣に聞き回ったほどで、米国の代表的な週刊紙も「日本は実に平和なところ」という記事を載せたばかりだった。そこへ、いかに犯罪なれしているとはいえず、米国でも例を見ない大規模な虐殺事件の発生だから、米国の特派員たちが日本人のどこに、こんな犯罪性がひ

の中で暴力を助長していることに無関心なのは驚くばかりだ。マンガ雑誌の暴力やサディズムの強調よりはものすごい。またテレビでは、たとえばある日曜日の午後八時から九時までの一時間をとると、東京の七テレビ局で、合計八十一人のサムライが刀で残酷に切り殺される場面が出てくる。

しかし同時に、日本は世界で最も治安のよい、また一番礼儀正しいとされている国の一つである。ところがこんどの事件のように、ときどきの仮面が引きはがされ、内にあるものが姿をのぞかせるのだ」

ロンドンでは十日の夕刊が外電を使ってこの事件を報じたほか、日曜高級紙「サンデー・タイムズ」が「恐怖の墓に十二人の遺体」という東京電を載せたのが目立つ程度である。

英国人の反応が比較的にぶいのは、目と鼻の先の北アイルランドで、性格はまったく異なるが、毎日のように虐殺や爆破、リンチが起こっているためだろう。だからといって、この事件を知った英国人がまったく無関心というのではない。とくに知日派の英国人に感想を求めると、何人かが即座に「三島由紀夫のハラキリを連想する。その連想

はまた、カミカゼ・パイロット「連なる」という。こどもも、「日本人は、極左、極右を問わず、何をかわからない連中だ、ときとしてその残酷性は目をおおらうものがある」というのだ。

また妊娠中の若い女性までが殺されたことに対しては「まったく西欧の人間の常識を越えたもの」とする意見が強く、日本人の「狂気性」はますますながらすすまじいと身をふるわす戦争体験者もある。

ある有力紙で滞日三年の経験を持つ記者は「個というものが確立されず、集団心理で動く日本人社会特有の事件だ。その意味ではお上という絶対的権威に戦後三十年近くも自主的に立ち向かえなかつたミスター・ヨコイのケースと根を同じくするものだ」と指摘している。

●米国の反響

シャロントート事件の日本版

自分の国内に血なまぐさい事件をたえず持つ米国の場合も、この事件にとくに立ち入った反響を示していない。

しかしこれは、東京にいる特派員たちが、むしろ分析にとまどっているためだ、という見方

をむか、その分析に手間どるのも無理はないかもしれない。それに米国人の対日観に変化をもたらすという意味では、この事件はいかにタイミンがが悪かった。

というのは、米国ではニクソン大統領の訪中をキッカケに親中ムードが盛り上がり、中国紹介の記事や番組が米国中のジャーナリズムに氾濫した。なかには戦時中、日本軍が中国で行なつた残酷ぶりを示す記録もずいぶんあり、単純な米国人たちに「中国人は案外グッド・ガイだが、日本人はバッド・ガイかもしれぬ」という印象を与えた。そこへ横井さんの「異常な忠誠ぶり」につづいての連合赤軍事件「やはり日本人は……」ということになる危険は大いにあるわけだ。

●共産国の反響

気違い集団との 同一視を避ける

一方共産圏では、ソ連が十五日になってモスクワ放送で、この事件を初めて論評した。ただし、西欧側と違って、対中国非難に連合赤軍を全面的に利用した形。東京のタス通信特派員が打電した内容は次のようだ。



こんどの事件は、ハイジャック事件以上に外国人をとまどわせ、ふるえあがらせた

一、日本共産党中央機関紙「赤旗」は、毛主義者の組織である「連合赤軍」の行動を非難した。昨年来、東京をはじめ日本のいくつかの通りや映画館、その他の公共の場所で一連の爆発事件が起こった。警察はすぐ犯人の手がかりをつかんだ。犯人は「連合赤軍」のメンバーだった。彼らのアジトでは、武器

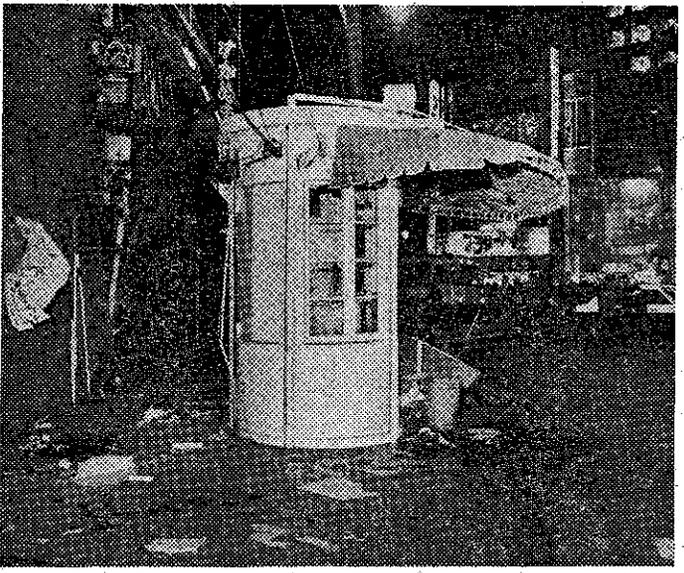
と、北京で出版された「革命的な」文獻——毛語録が発見された。

一、逮捕されたあと犯人たちが語ったことは、日本中を震かした。彼らは北京が実行するよう呼びかけている方針に従ったことをかくさなかった。毛主義者のグループのメンバーは北京に招かれ、盛大なものでなしを受けた。彼らは日本国内でこのような方針に同意しない人々を自ら裁判にかけた。

一、毛主義分子たちは、日本の民主勢力が催したあらゆるデモや集会を、ならずもののか、警察との血なまぐさい乱闘にかえ、自分たちの行動を闘争の最高形態にみせかけようとした。彼らは中国の文化大革命の時期に、自分たちの行動を多くに活発化させた。

一、北京から鼓舞されている「連合赤軍」の挑発行動は、日本国民の怒りと憤りを招いている。多くの日本人は「連合赤軍」の実例によって、エセ革命理論と北京からの挑発的な呼びかけがどういふものであるか、またどういふ結果に導くかを納得するに至った。

このようなグループのテロ行為は、中国の路線への盲従が、究極的には国民に対する重大な犯罪につながっていることを立証している。



文番襲撃は英国では重罪の一つだといわれる(赤軍クリスマス・ツリー事件)

なおこの報道は「連合赤軍」の「赤軍」を、ロシア語で赤軍を意味する「クラースナヤ・アルミヤ」(一九一八年に創設されたソビエト国家の軍隊・労働軍)の呼称で、一九四六年以後ソビエト軍と改められた、という言葉に訳さずに、日本語をそのまま用い「レンゴ・ゼキヤン」と述べている。

米えある伝統の赤軍と、気運い集団を同一視されてはたまたらんとしうことらしい。なおこの報道は、毛路線への盲従が重大な犯罪を生んだことを強調するだけで、アジトでのせいさんなリンチや「あさま山荘」の銃撃戦などには具体的にふれていない。

一方「連合赤軍」の「本家」として、ソ連に攻撃された中国は、まだ何の反論も加えていないが、いずれ「こんな連中が毛主義者などとは、片腹痛い」という痛烈な反論があることだろう。

共産圏諸国といえども「こんな連中に親類扱いされてはやりきれない」というのが本音だろう。

●アジア諸国の反響

家庭における世代の断絶見せる

アジアでは、過去に東パキスタンのベンガル人の虐殺、カンボジアのベトナム人虐殺、あるいはインドネシアの共産党員の大虐殺などがあつた。それぞれ特殊な事情下の事件だが、やはり西欧とは違った「アジア的土壌」といふものがこれらの事件には共通しているようだ。それだけに、こんどの連合赤軍事件も「日本人特有の残虐さ」という視点はあまりみられなかつた。たとえばインドネシア。日本との関係がますます緊密なこの国としては、意外なほど冷淡だ。有力紙は、一応通信社電などで事件そのものは伝えているものの、背景の分析までには手をつけていない。

香港でもこんどの事件はたいした反響を呼んでいない。ただ権威ある週刊誌「フリー・イースタン・エコノミックレビュー」が最近の日本特集号で、過激な学生集団を生む背景として、家庭における世代の断絶を分析している。

★群馬県警「大久保」捜査員が大活躍!

落ちてしすのテクニク全公開

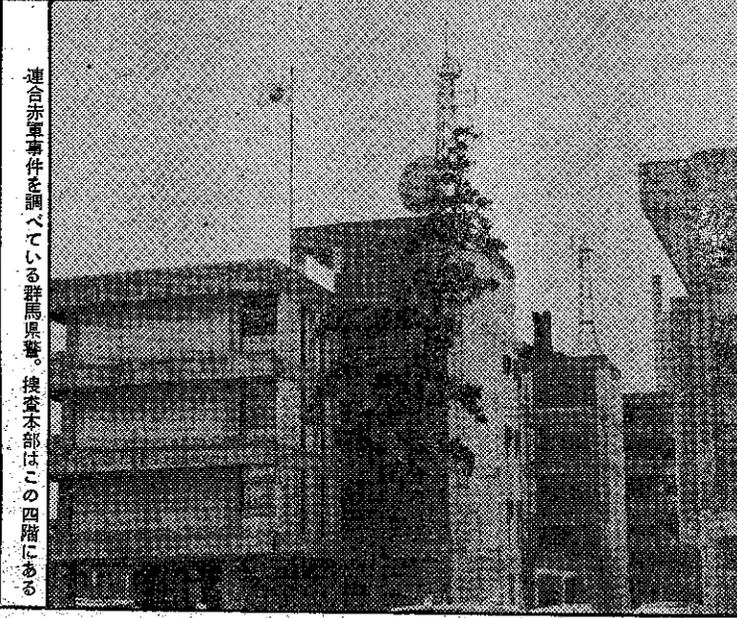
「鉄の規律」を誇った連合赤軍生き残りも、捜査のベテラン刑事には勝てなかつた。わずか四十日、森、永田ら大物の「完黙」がくずれたのは、大久保清事件以来、落ちてしすのテクニクにかけては超一流の、群馬県警「捜査員」の努力があつた。

「白追及に」しばらく待て

完全黙秘、無感情、無私——連合赤軍が逮捕されたときの鉄則である。山岳アジトを転々と逃げ回った一味は、万一を考慮して、もし逮捕されるようなことがあれば、この「三大鉄則」を守り切ることを誓ひ合つたといわれる。反対者はだれもいなかつた。反対、反感、私利は、総括につながらず。

警備課のベテラン捜査員だつた。古びたシャツ、ズボンなどは継ぎ目ばかりを切つてあり、一見赤ちゃんのオシメ風だが、これらには脱糞がついていた。「これは硬直した死体からはぎとつたものでは」

とピンときたという。この鑑識課員は、確か二十一日ごろだつたという。ただちに県警刑事部長に報告された。



連合赤軍事件を調べている群馬県警。捜査本部はこの四階にある

罪警戒本部は二月十七日、妙義山麓のほら穴アジトから押収した「不審な衣類」を発端

に、連統十二人のリンチ殺人事件をつぎつぎに白に追い込んでしまつた。

なぜかもうはやく連合赤軍の「鉄の規律」は破れ去つたのか、その裏を追ってみると——

二月十六日、奥沢修一と杉崎ミサ子が、翌十七日、森恒夫と永田洋子の計四人が逮捕された妙義山麓のほら穴アジトからは、なんと六千点にも及ぶリュック、毛布、衣類、食糧などの遺留品が押収された。



妙義山で逮捕されたさしもの鬼検事永田も森の上申書を見て落城した

二月二十八日、「あさま山荘」は落城した。それを待ちかねたかのように、二十九日から本格的な追及が始まる。十日以上もあずけ、をくった捜査員は、当時の心境を、

「何としてもつらかった。ガ、ガを押しながら、本格的に調べられないのは、目の前に殺人犯を見ていながら手錠をかけることも、追いかけることもできないのと同じだ」

「これはどういうわけなんだ、森らにどなりつける夢ばかり見た」と口ぐちに話す。

二十九日、その夢がようやく実現した。この、引き裂かれた衣類は効果満点だった。つきつぎにこれらの衣類をつきつけられると、森林法違反、殺人未遂などの逮捕事実が完全黙秘をつづけていた四人が声を上げて驚いたという。奥沢などはわなわなとふるえ出し、錯乱状態になった。

「思わぬところで効を奏しました」——ある捜査員がいう。

「あの衣類を隠していたことですよ。ヤツらは一番恐れていた殺人の証拠を見せられもしないし、話にも出ないので、殺人は

ばれない」と自信を深めたところへ、突然、現物をぶつけられてびっくりしたのです。これでやったな、という感がビタリとれたんです」

しかし、本当の闘いはこれからだった。森らはいったん、衣類を見せられてひるんだが、四人とも、申し合わせたように、また三大鉄則を守りはじめたのだ。

とくに森、永田はひどく、森

この会議では、各逮捕者に対して、三人ずつの調べ官がチームをつくり、計十四人の県警警備一、二課、捜査一、二課からえりすぐった「精鋭」が選ばれた。大久保事件で活躍した、落としの黒、こと黒沢治雄警部や田中久雄警部補らの顔も見られた。

結局、この警備クラス刑事両部による強力調べ班プロジェクトが成功したのだ。また、編成にあたって「調べは直撃型に、単純明快にいけ。チンピラの殺しやタタキと同じと思え。連中はプロレタリアートがどうの革

命がどうのというだろうが、そんな議論は無視して、あくまで殺人事件として事実だけを追っつけていけ」という作戦も図に当たった。

根岸五郎群馬県警警備部長が「この事件は犯人の自供が主眼だった。スマートな警備事件ではなく、執拗なデカの根性が必要な殺人事件、その点をふまえて各取り調べ班は全力をあげてほしい」と要望しました」

自供の先端を切ったのは、やはり、連合赤軍としての経験と「革命」の意識が薄かった奥沢だった。

妙義山中で逮捕されて以来、完全黙秘をつづけ、反権力思想をむき出しにして反抗的だった

ほかの三人に比べて、奥沢修一の態度は柔らかいほうだった。捜査本部にとっては、落ちる、確率の高い男。

奥沢は活動家といっても昨年十一月、森が五日間、彼の下宿に泊まり込んで「洗脳」して連れ出しただけの「運び屋」。慶応大学三年に在籍しており、警視庁のリストにもなかった完全な「シンパ」だった。

奥沢の調べ官は「引き裂かれた衣類」の持ち主は妙義山中に埋められているとの見方を強め「お前はただ一人、車の免許を持つているだけあって、妙義の地理にはくわいそうだな。いっさい、どの辺まではいったんだい」

とグイグイ押す一方、捜査が行きつると、奥沢がいまだに未練を示す慶大の校章のいわれなどに話を移して攻められた。

また、奥沢は森のレボだけあって、森の態度には非常に敏感。半日、完全にほした（わざと調べをせずに相手の気持ちを動揺させる）四日夜、調べ官が「森が落ちたよ」とさりげなくいうと、奥沢の緊張がきつて気が持たせやわらげたのが、同日深夜、ついに、甘栗郡下仁田町西野牧の杉林、山田孝赤軍元政治局長（三）の遺体埋め場所を自供した。

チンピラの殺しと同じ扱い

オレはコロシのデカだ!!

オヤジ、森恒の態度は、逮捕当初から一貫してごう慢そのもの。留置場へはいつてからも、「オレはいまでも連合赤軍のリーダーなのだ。同胞は近いうち必ず決起し、三十年後にはわれわれの時代が来るだろう」

などとうそぶいていた。捜査員も、初めは崩れかけた自分の心を、何とかしてたてなおそうと、必死になっていたと思っただろうが、雑談にも応ぜず、余りにも真剣に「同志」や「革命」のことばかり口にするので、すでに逮捕されている元赤軍議長塩見孝也のように、獄中からの指令をやっているのではないかと一時期、本気で考えたという。

捜査本部の予想した通り、森らは調べに対し「君は警察官でありながら、資本主義の矛盾を感じないかね。いまや世界はトロツキズムと毛思想の沈潜から融合へ動いているんだ。われわれ共産同の選民は革命戦争の党建設を止揚する闘いを……」

得々として「革命理論」をしやべりはじめた。

「うるせえ、オレはコロシのデカだ。そんなガキのリクツを聞きたくあねーんだ。いなくなつたオメエの仲間はどうしたんだ」



女騎士杉崎(右)の教唆もむなく、トップをきいて自供した奥沢(左)

さらけだす。山の中は夜マイナス十五度と越えるんだ。マイナス十五度とはどんな寒さか知っているか」「ナチのゴーマンに女の髪を切る手があったな」

などと矢つぎ早やに殺人事件一本槍でグイグイ攻めた。森は「厭だつたな。そういう方針とはいえ、ヤツらの話を無視するのは、被疑者の話を引き出そうとする、普通の調べとは逆だからね」

森の調べ官は全面自供のあと苦笑してこういった。

森のガン固さ、傍若無人な態度がくずれたのは二月二十九日夜だ。山田孝の着衣をつきつけられた森は一瞬、目を疑うようにしげしげと見つめたままだった。「これはどういうわけだ」という鋭い追及に森は真つ青になり顔をそむけてしまった。

このとき、森の敗北は決まった。「オレはリーダーだ」とつぶやき、しきりに考え込むようになった。「ペンと紙をくれ」と言ってみたりするが、警察側はペンで首でも突かれたらと警戒、渡さなかった。

このころから、森は、自分と

闘っているように見えたという(淡川署直轄部)

自分の頭をたいたたり、天井を長時間にらみつめていたり、

森の調べ班チームはグラグラ

弱みを突き書かせた上申書

それは長い赤軍の闘いの研究から始まった。調べてみると森の弱味はいくらでもあった。田

宮高磨の腰ぎんちゃくだったこと。行動に計画性と緻密さがなく、田宮、塩見らから「二流」

揺れはじめた彼の「心」を崩す方策を練った。それは、これまで永田との関係や坂東軍団による親衛隊によって保たれてきた闘將、森の自信と誇りを打ち砕くことだった。

のレタテルを張られ、大菩薩峠事件、ハイジャックなど一連の「騒起」からはずされた落第生だった事実、山岳アジト生活でも永田に引き回されて完全な一軍の将として働けなかったことなど、ネタに不足はなかった。

「いやー、苦労しましたよ。何しろ、群馬県内には昨年二月、京浜安保共闘のアジトらしいものが、館林市と太田市で見つかった以外、セキグンのセの字も知らない一課の刑事が、赤軍結成当時のメンバーをソラで言えるようになったんですからね」

森の調べ官は苦笑する。

こうした過去の事実や、山岳アジトでの闘將らしからぬ「弱者の実態」をチクリ、チクリ突つき、しだいに鉄の闘將の仮面を剥いでいった。

三月にはいつてからは「元同志……」「やむなく死刑となつた……」などともらはじめ、八日、「山田孝の遺体発見」の大見出しの新聞を突きつけられるとガクガクと首を落とし、机に頭を打ちつけて泣きわめいた。

「私は我々の闘いの中で死亡した十名の元同志達、我々が死刑にせざるを得なかった二名の元同志の死について指導者として私自身の責任を明らかにするとともに……」と同夜遅く前橋地裁宛ての「上申書」を書き、全面

降伏してしまつた。
この上申書は、「尾崎充男、進藤隆三郎、小嶋和子……」と「死のリンチ裁判」の犠牲者十二人の名前をあげたあと、「元同志たちの死について私は他の同志の先頭に立ってそれらの闘いのすべてを法廷において明らかにしようと考えています」「……この闘いの中で彼らの死は決して反革命や個人の卑俗な人間性の問題として片付けられるものではなく、文字通り生死をかけた革命戦争の主體的構架の闘いのなかに刻み込まなければならぬ……」

「今は逮捕された同志の団結を軸に、この十二名の同志の死を決して無駄にせず……」
で終わっている。

「狂っている」この上申書を

森の自白を聞き落した永田

こうした苦勞の末、落ちた男性軍に比べて、『女闘士』は意外に固く調べ官を手こずらせた。
奥沢が妙義山の中木スーパール道でライオパンの中ころう城したとき、松井田警の警備係員は連合赤軍の一味であるとの裏がとれず、八時間にもわたって車から出てくるよう、「説得」した。執ような「説得」のくり返したにたまりかねた奥沢が、少し

でも反応を示すと助手席に坐っているアカだけの女が、男のシリをつねっていた。これが杉崎ミサ子だった。
杉崎は松井田警に逮捕されてからも「インテリナショナル」を大声でうたい、ほかの留置人をびっくりさせた。
奥沢などより地下活動の経験がはるかに長いだけあって、前橋署に移されてからの調べにも

徹底抗戦の構えだった。山田の衣類を見せられたときには、一瞬顔色を変えたが、肝心な点になると「ドイレに行きたい」「甘いものがほしい」などと追及をかわしていた。山田の遺体が発見されてからも「知らない」とガンとして口を割ろうとしなかった。
杉崎の調べはしみじみと述懐する。
「長い警察官生活でも、女のホシでこんなのははじめてだ。罪の意識は完全にマヒしてしまっている。女らしい羞恥心はカケラもない」
しかし、この杉崎も十二遺体発見を知らされると、さすがに観念したか、人間関係がつかないはじめた調べに「申し訳ありませんでした」と頭を下げて「こんな残虐な行為をした自分が恐ろしい。今後は両親のもとで暮らしたい」と悔悽の情と生への執着をみせた。

一方、永田洋子は久保事件で活躍した調べ官を最後まで手こずらせた。
何しろ「ナガタ・ヒロコ」と大声で呼んでも返事もしない。係員をにらみつけるといふ反応すらないのだ。たまりかねて、オイ、ナガタ、と大声を出すと、ナガタヒロコってだれ、とそらとぼける。調べ官が「いっ

とわめきたてる始末だった。永田の調べ班チームは臆うつ病にも似た永田の態度から、感情の起伏を刻々と観察、「永田用時間表」をつくった。これを担当の調べ官が何回もつづいて頭にたたき込み、「おとなしい、いい子」「勉強家のまじめな人」といわれた永田の中、高生当時の「こころ」を呼びさまそうとした。しかし、これもなかなか効果がなかった。肝心な点になると「黙秘します」……
ところが、「鉄の心」を持つ永田にも弱点があった。森のことを大変気にするのだ。初めのうちは調べ官も気がつかなかったが、話が森の点にふれると大きな目玉をよけいに見ひらいて反応することがわかった。調べのなかに森の話が多くなったのは三月十日ごろからだ。
最初、森の上申書を見せられたとき、「ウツだ」といい張りつづけた永田も、十二人の遺体が発掘された同月十三日、調べ官の質問に対し「その通りです」と素直な返事をした。このとき、逆に調べ官のほうに耳を疑い、あわててしまつたという。
十四日には十二人の仲間をリンチ殺人したことを認めればか神奈川県西丹沢での二人の殺害を一部自供、あの「鬼検事」永田はついに落城した。

徹底取材 連合赤軍全幹部の身上調査 その理論と行動と実績 赤軍はこの革命書で勉強した

★緊急座談会
ブント幹部大いに語る

★独占対談／きき手・戸川猪佐武
後藤田警察庁長官にきく
過激派学生への具体的対策
カラー 長編劇画 ゲバルトみよこ・子連れ女豹

★綴じ込み 毛沢東語録抄
★★★ 若者はなぜ赤軍に走ったか
ドキュメント 人質物語／邦光史郎

あさま事件「血と涙」の人間ドラマ
前線指揮官長野県警本部長の24時間／野中廣義 監
永久に消えない悪夢の記憶／牟田都男さん
夫と息子を失った痛恨／坂東芳子さん



「連合赤軍事件」第2弾(本誌)とあわせてお読みください。

週刊サンケイ臨時増刊 好評発売中！ 特価200円

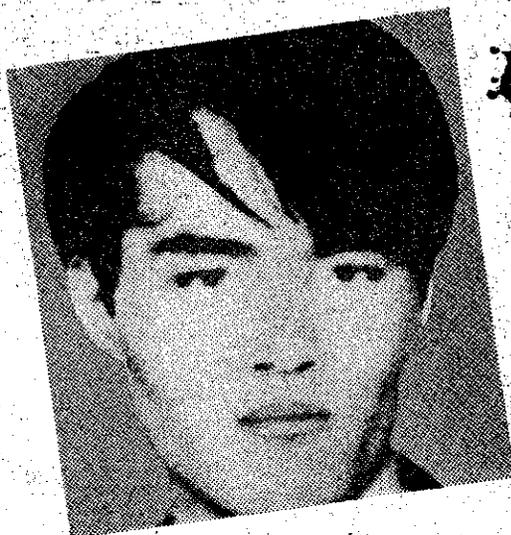
連合赤軍全調査

臨場感あふれる音と活字とイラストの立体編集！

特別付録 6インチ両面シート
トツプシン完全録音盤
あさま山荘

●徹底調査

あらゆる角度から中心人物2人を分析した



森永田洋

恒夫と子の正体



〈グラビア参照〉

「身長一六七センチ、やせ型、面長、色黒、目が鋭い」——警察庁の指名手配被疑者名簿によれば森恒夫は、どこにでもいるいわば特徴のない男だ。昭和十九年十二月六日に生まれた。場所は大阪市大淀区长柄中通二丁目十七番地「デンデン公舎」と地元の人がいう、大阪市交通局の職員住宅。

色の青白い泣き虫母親っ子

「長柄」ことは国鉄大阪駅から北東に四キロ、淀川が二本に分かれたノド首のあたりの地盤の低い土地である。三共製菓、本州製紙、東洋紡績といった工場にまじって、中小の工場、住宅が密集した一画。数年前のガス爆発では、この辺の住人にもかなりの犠牲者が出た。
交通局公舎、いまでは鉄筋四階の建て物に変わったが、恒夫が生まれた当時はまだ、二階木造の上下を別の世帯が住む、いまでいう「文化住宅」みたいな住まい。裏手に市営の火葬場があり、通りをへだてた向かいには墓地。
昭和二十三年四月、公舎敷き地内にあった交通局長柄保育園

だ。父親は旧姓「井上」、二十歳のとき森家に養子にきた。といっても財産があったわけではなく、敗戦直後の混乱期に父親は一家を食わせるのに精一杯、勢いこどもの教育は母親まかせであった。
「一号館の一階でしたから、すぐ近所で、上の坊ちゃんばかり記憶ないんですけど、恒ちゃんはいつもお母さんがかわいそがって拾ってくる捨てネコの世話をしたりして、お母さんにくつつきっぱなしでしたわ」
当時、同じ公舎に住んでいた主婦で、現在は茶道の先生をしているIさん(仮名)の話だ。
公舎の間取りは六畳に四畳半、それに玄関口の二畳と小さな台所に便所。
「どちらも子どもたちには二段ベッドを作って、いま考えますと狭かったですねえ」(Iさん)
恒夫もこれでは、ネコの相手か、妻の墓地に行つて遊んだのだろう。墓地のそのまを向こうに、大阪市立豊崎東小学校がある。

水漬に流れる大淀のほとりに立ちし学び舎に
清く明るくのびゆかん
平和をにのり豊東
戦前からそのまま残る建て物だ。恒夫は二十六年四月に入學した。
「うちの卒業生と知って、びっくりぎょうてん」
という井谷勲教頭は、その当時を知らない。
「お茶目で、先生、漫才きかせるからきてよ」なんて教員室に呼びにきたり……(三年生当時の担任をした坂田きみ子先生)
「頭はよかったですけど、そのわりに友だちはいなかったみたい」(小学校の同級生T・K子さん)
「印象がこれといって残らない行儀のいい子でした。よくできた子で、確かずっと学級委員をやつたはずですよ」(五、六年担任だったN・S子先生)
六年間の評価はこう記録されている。
——思考力、理解力、記憶力をきわめて良。
卒業のときの成績は音楽と家庭科の「4」を除いて、残りオール「5」。

陰気で冷たい感じの高校生

小学校とは京阪神急行千里線「ガード」をはさんで反対側に、豊崎中学がある。「心をあわせ明るく社会を」

白い布地に緑の文字が校門に掲げている。

三十二年四月入学。「驚きましてね。まいにち、新聞の切り抜きをノートに張りまして……」

ところが、教頭先生大あわてであるが、棚瀬秀俊先生という、この人も当時は知らない。そして、担任だった北野カヨ子先生もまた、「クラスではトップでしただけで、とくに活動的ではありませぬし、スポーツマンでもなかつたし」

印象はあまり残っていない。「あんまり明るい人じゃなかつたんですけど、頭がよくって、おとなしい、修学旅行で羽田とか鎌倉に行ったときだつて、ゴキウ(5たす)もしなかつたみたいだ。」

と、これは中学三年九組で一緒だったN子さん、嫁入り先の池田市の花屋の店先での思い出話だ。もっぱら高校進学めざして勉強一本やり。ここでも「保健体育」「技術家庭」の二科目だけが「4」で、残り七科目すべて「5」。四百五十人中男子では十番以内という成績で、望み通り府立の名門校、北野高校へ。大淀区からは阪急電車で淀川を渡った先が十三。北野高校は

広々とした公園の真向かいにある清潔な校舎だ。昭和三十五年四月、小、中学のトップという成績もここではズラリいただろう。恒夫は剣道部にはいった。恒夫は剣道部にはいった。

「二段でしただが、これというほど強かつたわけじゃない」「剣道部を指導していた伏谷勝彦教諭。二年生の終わりにキャプテン。このあたりから成績も中のクラス。幼稚園から高校までずっと」

一年生を六年やって大学中退

三十八年四月、浪人してでも東大、京大か阪大をという仲間とは別に、恒夫は現役で大阪府立大学文学部にはいった。「大阪商大」といつた昔から急進的な学生の多い大学である。国鉄阪和線「杉本町」駅に接した大学校舎はいまも正門前には工学部生徒の坐り込みやら、「新入生歓迎・大学民主化、四次防粉砕」

とつた例によってタタミ三枚分ぐらいのアジ看板が並ぶ。三十八年といえはちょうど六十年安保のあった翌年である。墓場裏の静かすぎるような一面から出てきた森にとっては、相当刺激が強かつた大学生活第一年だつたらう。

緒に進んだK・巨子さんも、「わたしはバレー部でしただけど、ほかの男子生徒みたいに、練習が終わると一緒に話したりするなんてところ、あの人の場合見たこともないです。冷たい感じの人だつたわ」

この人も森が指名手配になつて「アツ」と驚いた。高校では二年生の学期末に女子は九州へ旅行したが男子は、「勉強したい」という生徒が多くて中止した。

八百八人中六十二番で入学した森、それでもはじめての半年は授業もきちんと出ていたらしい。「語学の講義ぐらいしか一緒にありませんでしたけど、よく出席してましたね。もともと、語学を落とす上に行けないせいもあつただろうけど」同じ年に文学部に入學したYさん

だまもなく自治会活動から授業も放てます。結果は、「森って生徒ですか、覚えてないですなあ」当時の担当教授、講師たちも「大学生、森恒夫の記憶はゼロに近い。」

点優、法学65点可、社会学77点良、生物60点可、体育実技60点可、中国語一80点優、中国語二80点優、英語一60点可、英語二61点可、英語三三不合格。必修課目の「英語」を一課目落として森は二年に進めなかつた。

「八年間在籍することはできませんが、彼は一年を六年間やって結局、退学届を送ってきたんです」(大阪市大文学部教務課)

四十四年一月十九日、東大落城、この前日付けでヘルメットをかぶって、城にたてこもつていた森から退学届が学校宛てに送られてきた。消し印は千葉。その文面は、「経済的に自立する必要があり、東京で就職が決まった。自らの思想と信条を労働運動に役立てたい」といった内容。

その年、四十四年春、社会学同分裂。森は対立派に中央大学構内に連れ込まれた。このときの話では、森は助かりたい一心で、「ボクが間違っていました」とあつさり自己批判。四十四年七月、赤軍派結成。大学時代の二年上で自治会委員長をやつた田宮高層にぶら下がつた格好で「政治局員」

アルバイトでもぐり込み、軍需工場粉砕。とやったり、東京千代田区の出版会社を闘争拠点に仕立て上げようとはかつたりした。十一月、大菩薩峠で赤軍幹部の大量逮捕。森はこの中にはいってゐない。

四十五年四月、日航機「よど号」ハイジャックで田宮以下九人が北朝鮮行き。続いて委員長塩原孝也逮捕。頭が素つ飛んで、にわかには恒夫がナンバリー・ワンにおどりをしたのはこのとき。「党はいらない、全員、中央軍に結果せよ」

四十五年十月、中央軍キャブ兼政治局員の身が、拡大中央委員会を開催、いっきに「赤軍派議長」を呼称した。四十五年十一月十五日午後一時、母親ヨシ子さん死亡。しかし葬式にも家に帰らない。四十六年二月末から三月、森の下に組織された五つの「戦闘団」が相つぎ金融機関を襲つた。千葉県辰巳、高師、夏見は

いずれも特定郵便局、神奈川県横浜市の横浜銀行妙蓮寺支店、宮城県仙台市とんで振興相互銀行黒松支店と計七か所。森自身はいつも影にいて犯行現場には現われていない。奪った金額ざつと六百万円。

気の強い母の教育で優等生に

昭和二十六年四月、森が大淀区の小学校にはいった同じころ、五〇〇離れた横浜市の綱島小学校に永田洋子もランドセルを背負って入学した。中・高・大学とこちらはしかし、きちんと卒業はしたが、さて、片や赤軍幹部になるころは永田も京浜安保共闘の女ボス。そこにたどりつくまで彼女はどんな学生時代を送つたのだろうか。

洋子が生まれたのは東京の本郷。昭和二十年二月八日は両親が結婚届を出した昭和十九年六月十日からちょうど八か月。といて月足らずでひ弱というわけではなかつた。小学校にはいったときはもう色の黒い、ところどころとした女の子に育つてた。父親は綱島のN電機の社員。母親は現在も私立の大病院で婦人科の主任看護婦だ。「わたしは看護婦になつてから

に逮捕された。大阪府摂津市正雀の森の家、父親は堅く門を閉ざして人に会わない。妹も勤め先の銀行を依頼退社。そして、もちろん二十九人中十二人という大量虐殺。不幸を

もう三十年近い。その間に娘が二人生まれ、それでも夜勤だろうと厭といわずにやつてきた。いまは消費社会よ。いくらお金取つても取りすぎつてことはないの。あたしなんか自分の力で頑張つて家まで建てたんです」

と部下の若い看護婦たちに言つたそう、要は、「あなたたちもしっかりしなさいよ」と言いながらそのあとには、やはりこういつたとか。

日本中にふりまいて、いま森恒夫、前橋の留置場でなにを考えているのか。「自らの思想と信条を労働運動に役立てたい」と書いたのは退学届の文面であつたが……

「こんどのようなことがあつても、あたしは諦めませんよ。たとえ、ひとになんといわれようとケンカしたつて諦めるもんですか」この母親に、洋子は小学校のときから相当きびしく育てられた。「そう、成績はよかつた。女子ではトップクラスです。頭がよかつたかどうか別として、小学校のころは勉強さえすれば成績は良くなる。お母さんが熱心な人でした。PTAには必ず出てきたといえますからね」

綱島小学校、当時の話は引き継ぎのときの報告で聞いたという現在の校長先生談がこれ。事実、その当時から綱島の隣組、いまもこの土地に在るある主婦の報告で、「洋子ちゃんはお小學校のころから、参考書のような本はたくさんあるし、お習字も小さい

ときから習つてましたね、お部屋に額にはいつた賞状がズラリと並べてありましたわ。それにソロバンでしょ。でもお母さんにいわせると、洋子は何も言わなくても自分からよく勉強するのよ、なんてね。本当にそうなの」

「お習字をくつたのが隣に住んでいた同級生のSくん。学校から帰つてくると復習は必ずやる。それはともかく、夏休みなんか、勉強の時間よ、一緒にやらない、なんて誘われて終われば自分もうさつたことなどは、お昼寝の時間だからわたし寝なくちゃ、とこうです」Sくんにしてみれば近所の川でひと泳ぎしてから昼寝、という自分本来のスケジュールぶちこわしたつたらう。

「なんだあんなヤツ」といささか鼻つまみ。こんなこともあつた。男の生徒が木製の大きな三角定規を、前に坐つた女生徒の頭にコソソと落とす。よくあるイタズラ、悪気はない。ところが、永田は黙つていない。「どうしてそんなことすんのよ。どうしてしなればいけないの」

薔薇族

写真集 脱いだ男たち

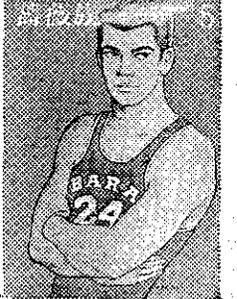
●5月号・いよいよ発売！
¥300 千70

●1年分購読料・¥2,000 千共

●日本唯一のホモ・マガジン

〈仁科 勝編〉4月20日発売！
A5判/上製豪華本/¥2,300 千200

●〒155 東京都世田谷区代沢5-2-11・振替東京8957・第二書房



すごい剣幕でかみついでくる。結果は男子全員が廊下に立たされた。背が低くてそつ歯というの色の黒と同様にこどものときから。ホームルームでどんなにハキハキ手を上げて発言しても、選挙によるクラス委員に当選したことはない。おまけに運動会など走らせれば本人懸命でも、「その背の低い、走りかたがおつかしくて」(同級生の一人)腕白どもの笑いをそそったという話もある。

国立大など四校 受けて三校合格

三十二年四月、こちらは近所に公立の中学があったが、東京世田谷の私立調布学園へ。そのまま、同学園の高校まで、ずっと一緒であったという。現在和菓子店を切り回しているI・H子さんは、「洋子さんは、中学も三年の初めくらいまでは、成績も中くらいで、バツとしかかったみたい。でも卒業のときは良かった。頭張り屋なのね」相変わらず細とびやおぼしきの類は、「負けず嫌いでいうのか、そりゃ、一生懸命やるんですけど、ダメなのね」とは、にべもなし。ニックネー

ムは「おイモちゃん。中二、三年といえ、やれ、」
「スカートはもつと短くなくらっちゃ」
とか、
「髪の毛、少しカットしたほうがいいんじゃない」
などとかしつとところだが永田洋子だけはブリーツ・スカートがしわくちやでも平然としていた。
中学一年で地理、二年で歴史、それに高校二年で世界史、三年で日本史を永田に教え、おまけに高校二、三年ではクラス担任だったというS先生はこういう。

「社会科について申しますと、中学ではかなり上のほうにいたのに高校では中ぐらいい。高校三年のときにはようやく合格点という状態でした。もっとも、これは大学の受験科目ではないですからやむをえなかったかもしれません。でも、総合的にやや落ちました。大学の志望も、初めはお茶の水とか学芸の国立校を狙っていたんです。それが東京女子大になり、結局はお母さんのお仕事の関係もあってでしょう、薬科大になった」
四校受けて三校合格。
このころには数学を教えたいた校長の部屋まで押しかけて、「わからないところがあるんで

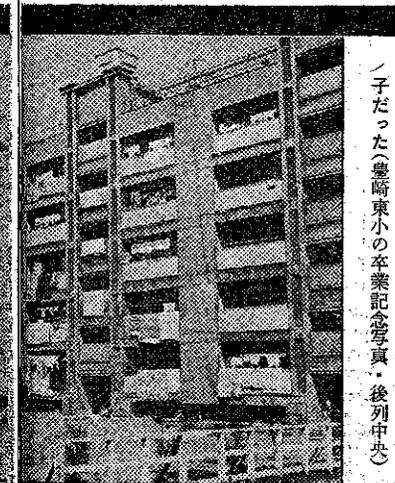
す。教えてください」
勉強熱心なのか、それとも、わたしはやってます。
という自己顕示欲の現われなのか、同級生たちにも意見の分れるところだ。

「感情的に非常に複雑になってる」
担任の先生が高校三年のとき洋子について記録したメモにこうある。
押しつぶしたようなガラガラ

声はもうこのころから。
「みなさんはなんのために勉強するのですか」
とか、
「みんな外に出ましよう」
ホーム・ルームで発言して担



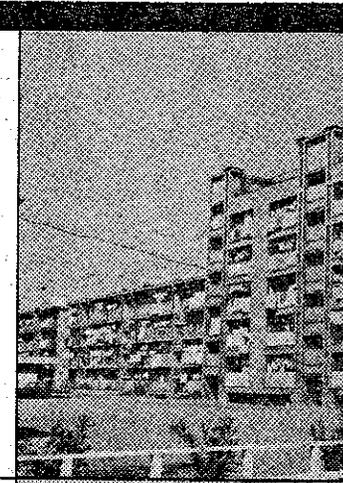
小学生時代の森恒夫はおとなしい勉強のできる子だった(豊崎東小の卒業記念写真、後列中央)



森が生まれた大阪市交通局公舎。いまはこの通り鉄筋に建て変えた(長柄中道)



長柄墓地の向こうに見えるのが大阪市立豊崎東小学校



森が通った豊崎中学(大阪市大淀区正面木造の校舎が当時の教室)



森が通った豊崎中学(大阪市大淀区正面木造の校舎が当時の教室)



中学の卒業アルバムから。この写真には「大志を抱いて」と書かれていた(後列左端)

色白だったら変わった？女の道

「うちの娘は三つ受けてみんな通ったんですよ」
母親は隣近所に、四つから落ちた一つを差し引いてこう自慢していたそうである。こうして昭和三十八年、共立薬科大学入学。五〇〇*余り西のほうでは森も大阪市大に通い始めた。

「いまの社会はこれでいいのかな。医療問題どう思う。同じ仕事をしても、一方じゃ大金とってるのに、もう一方はちよびと。割り切れないと思わない。わたしは共産主義のほうがいいと思うんだけどキミ、どう思う。ねえ、どう思う？」
通学の途中に小学校時代の同級生つかまえては、長々とこれやる。
「参るんだなあ」
と前出のSくん。
もっとも、
「彼女は、そういう難かしい話題を通して、異性とつき合いたかったのかもしれない」

なくならなかった。
負けず嫌いで理屈をこね、議論が出尽くしても、
「ごめんさい、さつきは」
などと、きれいなさつきばりするわけじゃない。以後はその相手と口もきかなくなる。

という見方も同じSくんから飛び出すところは、まだまだ、色黒、そつ歯でも可愛いげはあったようだ。事実、共立薬科大にはいった当座は口紅少々、パーマもかけていたというのだが。
Sくんの結論、
「彼女の背が、もうちょっと高くして色が白かったら、女闘士にならなかつたかも知れないな」
そのうえに、バセドー氏病である。

「ええと、あれは確か昭和四十一年の二月でしたな。永田が大前三年だっけいいますか。その前から症状はあったが、薬を飲んではずっとよくなり、飲むのをやめるとまた悪くなるというくり返したたとか。前にかかっていた病院の担当医がすすめてわたしのところへやって来た」
とは、東京、代々木の伊藤病院。バセドー氏病の權威といわれる伊藤国彦院長だ。

その年の春休み、四月に手術。一か月入院。
「経過も順調だった、軽症じゃなかったが、さほどの重症じゃない。術後ちょうど一年たって診察を受けに来たときは、ほとんど完治した、とわたしは判断しましたがね。ただし、ここで断わつたときなのだが、バセドー氏病は決して不治の病ではないこと。第二にこの病気の兆候が精神不安定といっても、それがそのまま水田に見られるような残酷性に結びつくと考えるのは重大な誤りです」
日本に数万人というバセドー氏病患者、それも圧倒的に多い適齢期女性や若奥さんの患者の

動揺は深刻であると伊藤院長は心配している。

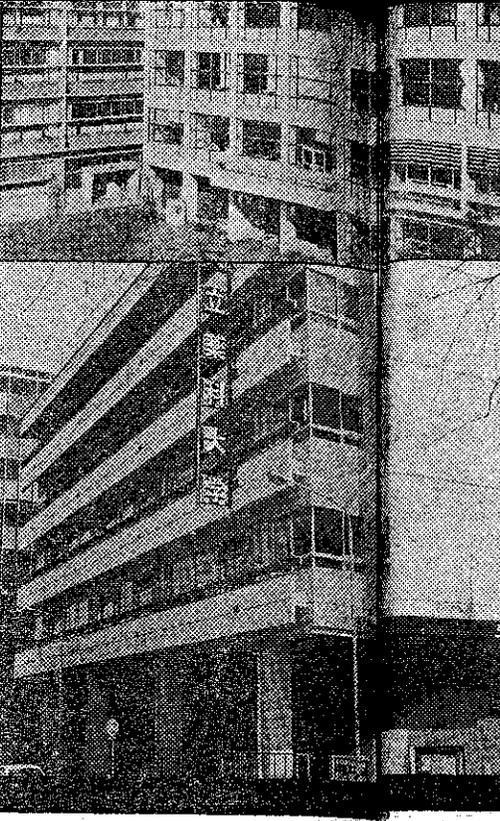
卒論のテーマは「医薬品の吸収と排泄」。同級生三人の共同研究だったが、「わたしの専門が薬理学なので



高校三年のクラスメイトと教室内で（左端）

共立薬科大の卒論共同研究グループと（左端）

五か月ほど指導しましたけど、休み、遅刻、それに早退が多すぎるんです。無責任じゃないのってしかりましたら、あの病気のことをいいます。それで、早くきちんとおこなって



永田が昭和38年に卒業した調布学園

永田洋子の行状で一躍スポットライトを浴びた共立薬科大学



病院の同僚たちと水上へ行ったときのオスマン写真（42年夏）

であるの止まらない第二人のごう

とにかく尋常とは思えない場面、これをどうみたらいいのだろうか。

リーダーとしての森、永田の

さい」といったんですよ」

とこれは共立薬大の今岡キク子助教の記憶。

ともあれ一年後、四十二年三月卒業。一月だけ慶応大学付属病院で薬局の無給医局員。ここから紹介をうけて東京・品川の三木会病院へ。

「四月から十か月いましたか。人手不足で、大学病院の紹介もあって雇うことにした。しかし明るさがなかったな。どうも意固地で……。給料は三万五、六千円だったと思う。しゃべりかたはネチネチしているし、協調性に欠け、自我がおそろしく強い娘だという印象だけが残っている」

加藤英治・三木会病院院長

その年の夏、三木会病院の職員全体で旅行に行った。コース

二人の「攻撃性」の組み合わせ

去年の暮れ、鉄砲を手にした永田洋子、札束をにぎった森恒夫が、ともに配下をひきつけて山岳アジトで手打ち式。このときが二十九人。年が明け春がきたときには十二人が「総括」という名で殺されていた。

ここではボス二人の犯罪心理を、法務省総合研究所第二部長の樋口幸吉氏に徹底分析してもらった。

ってさらに大きなひとつの組織ができる。その過程で組織としてのパーソナリティーも形成されていく。それがきわめて特異な方向にエスカレートするのはいつの場合でもリーダー自身の個性によるところ大なのです。

実例をあげましょう。

「シャロン・テート事件」これは主犯が明らかに分裂症的傾向を示しています。結果はあの通りグループ全体が残酷な犯罪に走った。

「聖バレンタイン・デーの虐殺」これもそう。シカゴで指導権をにぎったアル・カポネも、自分の対抗者をガレージに集めて撃ち殺した。明らかにカポネ個人の性格に由来しています。

もう一つ、フランス革命後のジャコバン党ロベスピエールによる大量のギロチン刑。現在でもこれは精神病理の研究課題になっています。さらに日本でもある。「寺田屋騒動」。

高津藩主の命で、穏健派が最過激分子を殺した。これも、藩主の命令という「大義名分」のもとに虐殺が敢行されている事実があります。

つまり、これらはいずれも一種の「集団暗示」とみていいでしょう。グループサウンズと同じ。なかでも一番性格の激しいものに全員が引きずられる。

は沼田から水上付近の山登り。このときばかりはニコニコと笑顔がたえなかったという永田。それもしかし、

「いま考えると、例の山岳アジトってやつは、ちょうど、あのあたりになりますなあ」

加藤院長、いまさらのようにギクリと思いきすのだ。

四十四年八月、京浜安保共闘結成。永田の女ボスへの道が始まった。以下、森と野合、するまでの道程は――。

十一月、反戦平和婦人の会を結成、議長になった。

四十五年四月に家出。川崎市中島のアパート「新緑荘」で坂口弘と同棲。屋は寝ていて夜活動という生活。

四十六年一月、赤軍派と京浜

安保共闘が東京・千代田公会堂で「蜂起戦争・武装闘争勝利政治集会」を開いた。共同闘争を宣言。

二月十七日、永田の京浜安保共闘が栃木県真岡市の塚田銃砲店に押し入った。銃十一丁、実弾二千発を強奪。

五日後、赤軍派の「M作戦」こちらは金あての強奪スケジュールがスタート。

八月、両派西丹沢アジトに集結、革命理論やら爆弾づくりの勉強会。

十一月、連合赤軍武闘訓練。南アルプスのこれも山岳アジトで。

十二月下旬、榛名山アジトで連合赤軍二十九人が勢揃い。委員長が森、副委員長に永田。総括、処刑の始まりである。

問題は「過激性」の中身です。連合赤軍は政治結社。それがイデオロギーの過激性にとどまらずに森と永田、とくに永田個人のアグレッション、つまり「本来の意味での攻撃性」であったことです。

つまり、理論や理性を越え、あるいはそれ以前にある、非常に原始的な攻撃性です。それは人間関係や容姿といった個人的特徴にさかのぼっての欲求不満や劣等感がしつととなって外に向かって爆発する。

この永田についていけば、それは当然脱落します。そこで、社会に向けられるべき攻撃性とは

問題はその「過激性」の中身です。連合赤軍は政治結社。それがイデオロギーの過激性にとどまらずに森と永田、とくに永田個人のアグレッション、つまり「本来の意味での攻撃性」であったことです。

つまり、理論や理性を越え、あるいはそれ以前にある、非常に原始的な攻撃性です。それは人間関係や容姿といった個人的特徴にさかのぼっての欲求不満や劣等感がしつととなって外に向かって爆発する。

この永田についていけば、それは当然脱落します。そこで、社会に向けられるべき攻撃性とは

陶酔状態の中で惨殺リンチ

★①眼球突出、交感神経を冒し異様な光をもち瞳孔が拡大する②眼が早くなり動悸、発汗、新陳代謝が激しくなるため③甲状腺腫瘍ができる――これがバセドウィ氏病の主要な三つの兆候。ほかに、

「感情が不安定となり、喜怒哀楽の変化が激しく、おしゃべりになる。ちょっととした刺激にも大きく反応する」というのが専門医の解説。

バセドウィ氏病の患者すべてが攻撃的になるとは申しませんが永田の場合は不幸にも病状と生

思われていたものが、実は「本来的な攻撃性」であったので、仲間に向かって攻撃の手をふるう。それも「人民裁判」という儀式を伴う。このこともこの種の事件の共通点です。

シャロン・テート事件でも原始的な儀式が虐殺の前に行なわれている。つまり「大義名分」のもとに犯罪の本質を隠すわけで、今回のリンチもそう。思想的行動として事件の人間の犯行という本質をおおっている。女性がイニシアティブをもった本来的攻撃集団の凶行。これだけの例は日本の犯罪史上でも類がないことは確かですね。

来的要素が結びついた。つまり基本的に人間関係が欠陥していたのに加えて青春、青年期という人間形成の一番たいせつな時期にこの病状です。コンプレックスは当然でできますし、生来の協調性欠除に拍車をかける。ただし、事件以前はそれはまだナマの形では出ていなかったはず。

彼女自身のプライドもあったでしょうし、激しさも思想性や政治的革命的といった方向には出ても、本来の攻撃性はそこに埋めていたのです。これはま



徹底分析した樋口幸吉氏

まったく新しい女性のタイプです。昔はこの種の女性はいなかったが、いまでは、ツウマン・リブに共通した要素で、永田は一つの典型といえるでしょう。この思想で隠され、武装された本来の攻撃性が、あの山岳アジトにおける追いつめられた極

同情心や愛情に鈍感な森恒夫

★もう一人の森はどうだろう。高校時代、クラス全員で神戸の六甲山にハイキングに行った。そのとき級友たちが一羽のニワトリを締め殺し、ダンボール箱に入れてマル焼きにしたそうだ。森はどうしていたか。身動きできないように、ただじっとこの場面に立ちすくんでいた。

愛情といった人間的要素に鈍感です。このタイプは自我にたいする防御性に心をくたく。自分を必死に理論武装しようとし、これも究極でうまくいかない、その小心さをカバーしようとするために、逆に激しい行動にでる。リーダーの地位にあればなおのことでしょう。その意味では森も、狂信性を持った人間だ、といえます。永田と違うのはより理論化された攻撃性ですか。

限状態のもとで、いっしょに表面におどりで来たのです。突き殺す。裸にして埋める。男女関係を極度に嫌い、腹の子を取り出せ、とわめく。こうしたとき、永田はもう一種の陶酔状態に陥っていたはず。もちろん自分に歯止めがきかなくなっていた。

つまり、永田は精神病者ではない。神経症、正確にはヒステリー症だったと理解されます。理性がきかなくなると自己のアグレッション、攻撃性だけが外に突出する。神経症はこれが自分の内側に向かっていきますからね。

しかし、二人の性格、永田のむきだしな攻撃性と、森の計算された攻撃性が異様に組み合っ、今回の最悪事態をよんだ。これは森一人でもあるいは永田一人ならば、こうまでならなかったはず。森のこの性格と永田のヒステリーがお互いを補填しあったという点です。

と、今度の事件が異常なひとにぎりの過激分子だけに生ずる可能性がない、などと考えるのは重大な誤りです。過去数年間だけでも、自己本来の攻撃性を露呈させる青少年の犯罪が増えています。

世田谷通り「通り魔事件」、新幹線「ひかり号爆破未遂」、これなども犯人の高校生はふだん目立たないおとなしい子どもでしたから、両親や教師たちは一様に「信じられない」と感じていました。こうした下地は現実にあるのです。

もう一つ重大なことは、事件発生源が安定した一般中流家庭の、はた目には「理想的」と見られている環境から出てきていることです。これは従来の貧困あるいは片親といった問題家庭から出た事件とは対照的です。つまり、一般的、平均的な家

庭環境から、過激学生が輩出している。その原因はなんでしょう。第一に戦後民主主義教育の情緒面からの教育の不徹底が、考えられます。人間の成長時に一番たいせつな幼児期に、「攻撃性」の処理を忘れていく。これも本来

複雑な環境に傷つく幼児期

★「私は我々の戦いの中で死亡した十名の元同志達、我々が死刑にせざるを得なかった二名の元同志の死について、指導者として私自身の責任を明らかにすると共に、彼等のなきがらを一日でも早く、その家族に



「狂った心」の被害者は多かった

が、原始性をもって生活します。チャンバラ、残酷な童話が好きです。これを忘れ、見落として、きれいごとのしつけばかり教えるのだけに、情熱を傾けてはいないだろうか。結果は幼児の攻撃性は解消されず、そのままの形で残存するので。

手渡したいと考える。群馬県警渋川署の留置場で、森恒夫は「上申書」なるものの冒頭にこう書き出している。反省の色などつゆもない。物質化、中産階級化が進むにつれて、こどもの家庭に対する心理的比重が増大しています。こどもをとりまく環境は複雑になり、幼児期のほんのちよつとしたゆがみが想像もつかないほど大きな傷となって表面化することを忘れてはなりません。

物質化、中産階級化が進むにつれて、こどもの家庭に対する心理的比重が増大しています。こどもをとりまく環境は複雑になり、幼児期のほんのちよつとしたゆがみが想像もつかないほど大きな傷となって表面化することを忘れてはなりません。

「訂正」週刊サンデー臨時増刊三月二十七日号の「連合赤軍全幹部の身上調査」と「連合赤軍スターの理論と行動と実績」の記事と系統一覽表のなかで、川島家および共産同、京浜安保共闘が日本共産党と関係があるような表現がありました。これらは日本共産党とは無関係なので訂正します。



永田洋子

調布学園高等部を三十八年に卒業したときの記念アルバム。女高生らしいロマンチックな言葉が多いなかで、永田の決意、が目立った

森恒夫 永田洋子 27年間のアルバム

永田洋子

井出詔子

踏まけ 雑草のよう 学生時代の純粋さに!! 失わぬように!! 樋口 幸子

Winter comes, can Spring be far behind? Y. Higuchi

S. Tomita

大きな社会に入っても人間という機械になりたくない 永田洋子



永田にもこんな平和な時代があった。調布学園に在学中、横浜市港北区の自宅の近くで、左から二人目の腰掛けているのが永田。その右が母のそねさん



横浜市港北区の綱島小学校六年の永田。右は前から三列目の左端、上は最後列の中央で、このころはお茶目な子だった



共立薬科大にはいった永田は、やがて難病のバセドウ氏病にとりつかれた。背も低く、コンプレックスに悩まされたようだった。後列右端が永田で、台に乗っている





今日も

新しい情報の 分析と提供……

日本経済をとりまくきびしい国際環境——その変転する諸情勢を、どう受けとり、どう分析するか。そして、明るいきざし、きびしい事情が、どう市場に反映するのか。

さまざまなニュースを、総力をあげて検討、分析しながら、つねに最新の情報の提供と的確なアドバイスを、つづけてきたダイワは、国内はもちろん、充実した海外支店網を駆使して、みなさまのご愛顧に大きくお応えしてきました。お客さまの自主的な投資判断を十分に生かすお手伝いが、コンサルタントのダイワの使命です。

株式市場や投資顧問室と瞬時に結ばれるダイワのオンラインサービスをはじめ、投資相談コーナーが、どこでもダイワの窓口でも、ご利用いただけます。

調査部、投資顧問室の幅広いメンバーで、みなさまとともに考えるダイワは、証券投資をリードする羅針盤です。

証券貯蓄のコンサルタントへダイワをさらにご活用ください。

大和証券

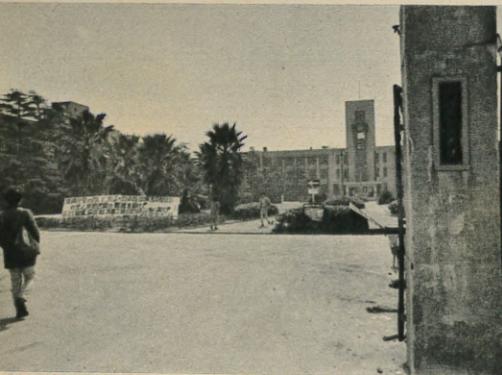
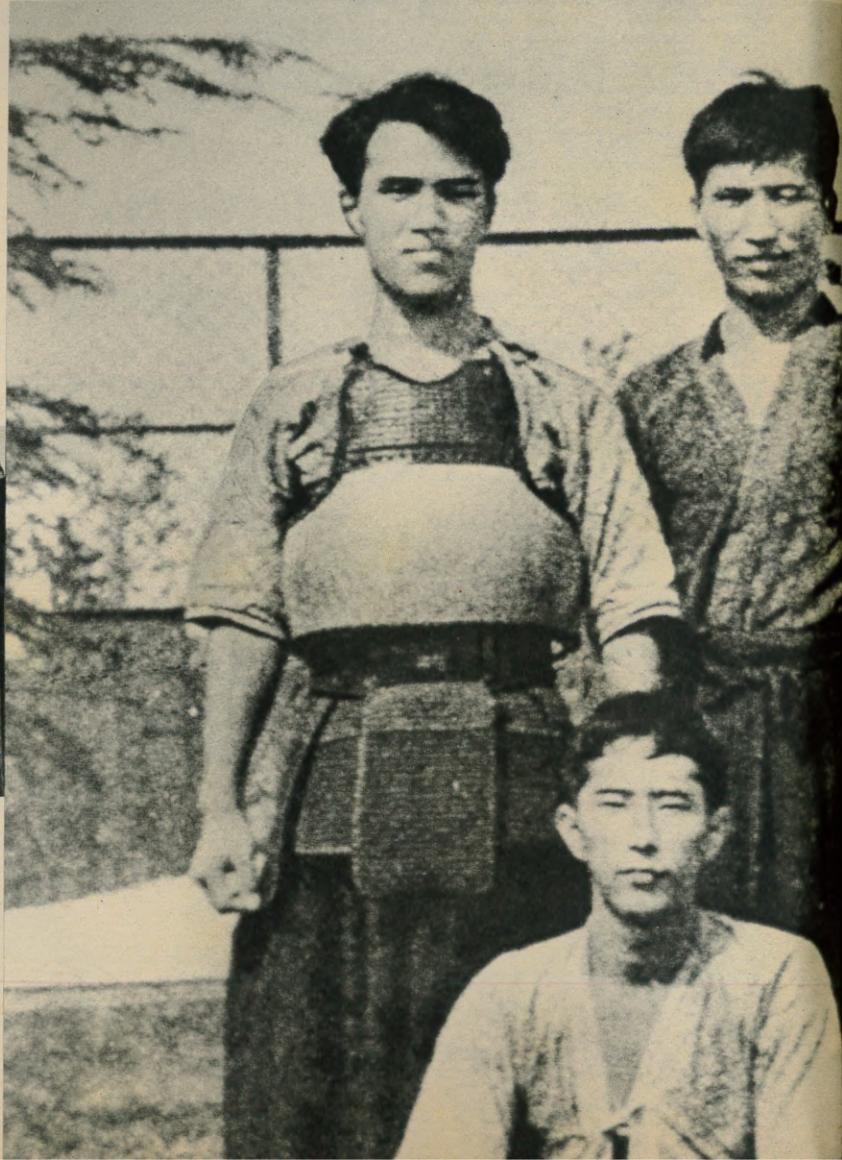
東京・千代田区大手町2の6(〒100)電話(243)2111

27歳の永田。手記書人相は「身長150センチぐらい、丸顔、色が黒くギョロ目。上歯がやや突き出た感じ」となっていた



豊崎小学校の卒業写真。最後列左から四人目

大阪市の名門、北野高校で二年の後半まで剣道部において二段、キャプテンもつとめた森恒夫（左端）。スポーツをやりながら大阪市立大に現役でパスした



同じ組になったのも何かの縁だろう

三年九組の一員として今度会う時
元気を顔を見せ下さい

健康で

明郎に

誠をフクし

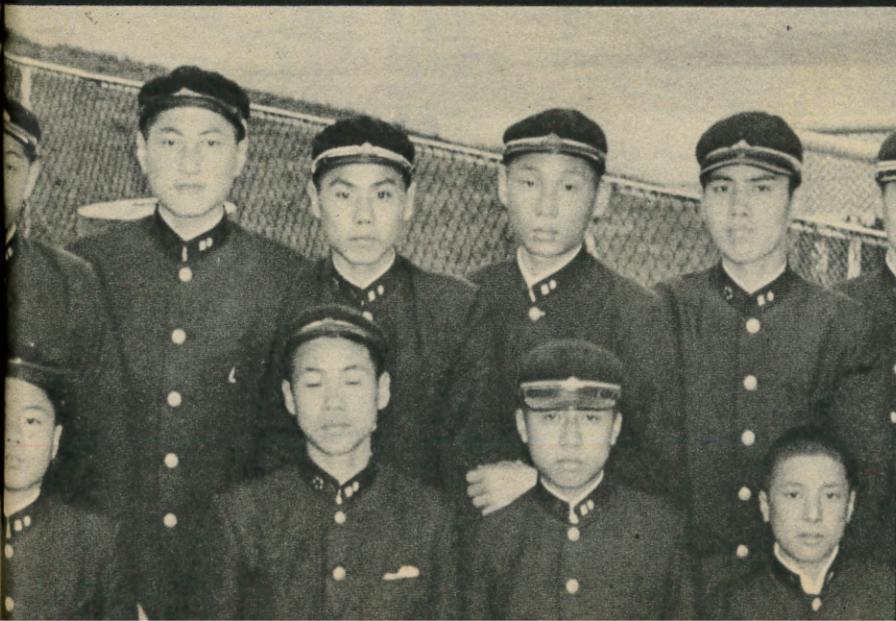
自己と妥協するな

5. 三五. 三十一

森 恒夫

木次 茂

豊崎中学時代に修学旅行で上京したときの森（後列右端）と、卒業のときの寄せ書



すべすべのびのび設計

赤井物産のダイヤモンドシリーズ



ダイヤモンド
バス

埋込型2人用2方半エプロン
ブルーグリーン
記号 AD-W-H₂-BG
寸法 外寸950×710×660
内寸840×600×600
定価 ¥37,500

日本で初めての本格的鋼板製高級ホーロー



水あるところ ダイヤモンドトリオあり
洗面化粧台

普及型 SB74-2型
間口740mm×奥行550mm×高さ720mm
●美しいパステルカラー単色の
ホワイト・ブルーの2色
(水栓2コ付)
定価 ¥29,800
ほかに高級型・実用型あり



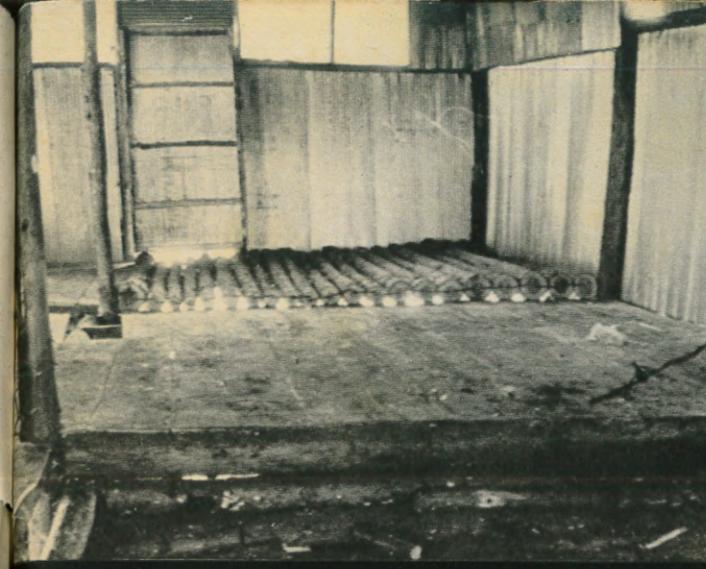
才色兼備です。ダイヤモンドシリーズ
(つかやくて美しい)
流し台

流し台 N-120
定価 ¥38,800
隅調理台 NC-72
定価 ¥28,800
調理台 NT-60
定価 ¥19,800
ガス台 NG-60
定価 ¥15,800

◆ダイヤモンドバス製造元
赤井物産株式会社

本社 大阪市西区北堀江上通り1丁目10番地(大阪中央ビル) TEL 06(538)3621-3
東京支店 東京都港区麻布飯倉片町12(飯倉セントラルビル4F) TEL 03(582)9591-3
静岡工場 静岡県浜名郡新居町新居2808 TEL 05459(4)1525-1

週サン
47.3.27
別冊



リンチの行なわれた様名山アジ
ト(右)と迦葉山アジト



12人の仲間をリンチで殺害し、逃走中に妙義山で逮捕された
森も永田と同じ27歳



傷害・入院給付金つき大型保障 明日を約束する 男の責任!!



100万円のご契約で保険金200万円と最高1,900万円の家族年金

家族年金保険 ワイド

日産生命保険相互会社

東京都目黒区青葉台3丁目153
電話東京(03)463-1101(大代表)

大きな保障があると心にゆとりが持てます。日産の「家族年金保険ワイド」は、100万円のご契約で、災害による万一の場合、200万円の保険金と最高1,900万円の年金をお支払いします。

「必要なとき」、「必要な額」をお約束する「家族年金保険ワイド」をぜひおすすめします。詳しい資料は下記住所の広報SS係宛ご請求ください。すぐにお送りします。